

第5回みえ県民意識調査

集計結果 報告書

平成28年3月

三重県戦略企画部

目 次

調査の概要.....	1
1 . 調査の目的.....	1
2 . 調査の概要.....	1
3 . 調査の内容.....	1
4 . 回収結果.....	1
5 . 報告書の見方.....	2
6 . 回答者の属性.....	3
集計結果.....	5
1 . 幸福感.....	5
2 . 地域や社会の状況についての実感.....	13
3 . 県民の皆さんの実感や状況.....	47
4 . ご家族に関すること	65
5 . 「新しい豊かさ」を享受できる三重づくり.....	79
その他.....	97

調査の概要

1. 調査の目的

県では、「みえ県民力ビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第5回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成27年11月～平成27年12月
- (7) 調査主体 三重県戦略企画部企画課
- (8) 調査委託機関 株式会社スクエア三重事業所
(調査対象者の抽出、調査票等発送、調査票のデータ入力及び集計業務)

3. 調査の内容

下記の6つの調査項目により構成しています。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況についての実感
- (3) 家族に関すること
- (4) 「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりに関すること
- (5) 「伊勢志摩サミット」に関すること
- (6) 自由意見 (質問総数49問)

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,246人(回収率 52.5%)
- (3) 有効回答数 5,236人(有効回答率 52.4%)
- (4) 無効回答数 10人

図表1-4-1 有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率
第5回(今回)	平成27年11月～12月	52.4%
第4回(前回)	平成27年1月～2月	54.4%
第3回	平成26年1月～2月	54.6%
第2回	平成25年1月～2月	54.3%
第1回	平成24年1月～2月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率(%)	構成比(%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,503	2,338	51.9	44.7
伊賀地域	名張市、伊賀市	956	510	53.3	9.7
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,700	1,460	54.1	27.9
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,411	698	49.5	13.3
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	430	230	53.5	4.4
合計		10,000	5,236	52.4	100.0

5 . 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数(= 有効回答数) を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数(n)で割った比率となっており、比率の合計は通常 100% を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) スペースの関係で、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られない属性や前回調査から大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (7) サンプル数(n)が 50 未満の属性項目、ならびに主な職業の「その他の職業」、世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」の 3 つの属性項目については、原則として記述を省略しています。

6. 回答者の属性

- (1) 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢（10歳階級）、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の7つとしています。
- (2) 世帯類型について、前回調査では同居家族の組み合わせにより判断しましたが、今回調査では直接世帯類型を質問していることから、前回調査との比較は行いません。
- (3) 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次のとおりです。
- ・地域別では、「北勢」、「伊賀地域」、「東紀州」の割合が前回調査より高く、「中南勢」と「伊勢志摩」は低くなっています。
 - ・性別では、「女性」の割合が前回調査より高く、「男性」が低くなっています。
 - ・年齢別では、「40歳代」の割合が前回調査より高く、「20歳代」と「50歳代以上」は低くなっています。
 - ・主な職業別では、「パート・アルバイト・派遣社員など」と「専業主婦・主夫」の割合が前回調査より高く、「農林水産業」、「自営業・自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「学生」、「無職」が低くなっています。
 - ・配偶関係別では、「有配偶」の割合が前回調査より高く、「離別・死別」が低くなっています。
 - ・世帯収入別では、「0～200万円未満」と「300～600万円未満」の割合が前回調査より高く、「200～300万円未満」と「600万円以上」が前回調査より低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比(%)		(前回差)
			今回	前回	
地域	北勢	2,338	44.7	43.9	(0.8)
	伊賀	510	9.7	9.5	(0.2)
	中南勢	1,460	27.9	28.3	(-0.4)
	伊勢志摩	698	13.3	13.9	(-0.6)
	東紀州	230	4.4	4.3	(0.1)
性別	男性	2,140	40.9	43.7	(-2.8)
	女性	2,967	56.7	54.4	(2.3)
	不明	129	2.5	1.9	(0.6)
年齢	20歳代	369	7.0	7.4	(-0.4)
	30歳代	629	12.0	12.0	(0.0)
	40歳代	853	16.3	15.3	(1.0)
	50歳代	879	16.8	16.9	(-0.1)
	60歳代	1,214	23.2	23.8	(-0.6)
	70歳以上	1,141	21.8	22.4	(-0.6)
	不明	151	2.9	2.2	(0.7)
主な職業	農林水産業	131	2.5	3.1	(-0.6)
	自営業・自由業	461	8.8	8.9	(-0.1)
	正規職員	1,253	23.9	24.1	(-0.2)
	パート・アルバイト・派遣	1,009	19.3	18.7	(0.6)
	その他の職業	246	4.7	5.5	(-0.8)
	学生	60	1.1	1.5	(-0.4)
	専業主婦・主夫	819	15.6	13.9	(1.7)
	無職	1,108	21.2	21.6	(-0.4)
	不明	149	2.9	2.7	(0.2)
配偶関係	未婚	702	13.4	13.4	(0.0)
	有配偶	3,729	71.2	71.0	(0.2)
	離別・死別	631	12.1	13.1	(-1.0)
	不明	174	3.3	2.5	(0.8)
世帯類型	単独世帯	426	8.1	8.4	-
	一世代世帯	1,557	29.7	26.3	-
	二世帯世帯	2,359	45.1	42.9	-
	三世帯世帯	655	12.5	10.4	-
	その他世帯	98	1.9	7.4	-
	不明	141	2.7	4.6	-
世帯収入	～100万円未満	252	4.8	3.9	(0.9)
	～200万円未満	533	10.2	9.4	(0.8)
	～300万円未満	776	14.8	15.0	(-0.2)
	～400万円未満	722	13.8	13.0	(0.8)
	～500万円未満	584	11.2	10.4	(0.8)
	～600万円未満	552	10.5	9.9	(0.6)
	～800万円未満	660	12.6	12.7	(-0.1)
	～1,000万円未満	350	6.7	7.7	(-1.0)
	1,000万円以上	357	6.8	7.2	(-0.4)
	わからない	333	6.4	7.2	(-0.8)
	不明	117	2.2	3.5	(-1.3)
有効回答数		5,236	100.0	100.0	

集計結果

1. 幸福感

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけで囲んでください。
(は1つだけ)

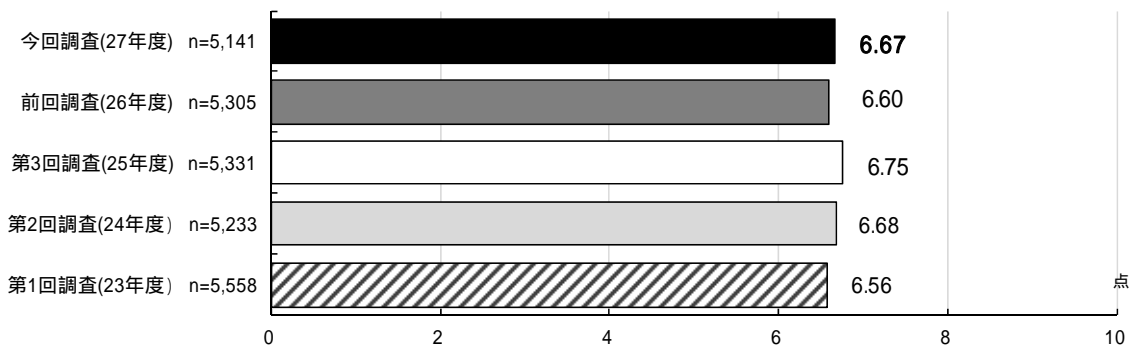
➤ 日ごろ感じている幸福感

県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下、「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.67点で、第1回調査より0.11点、前回調査より0.07点それぞれ高くなっています。

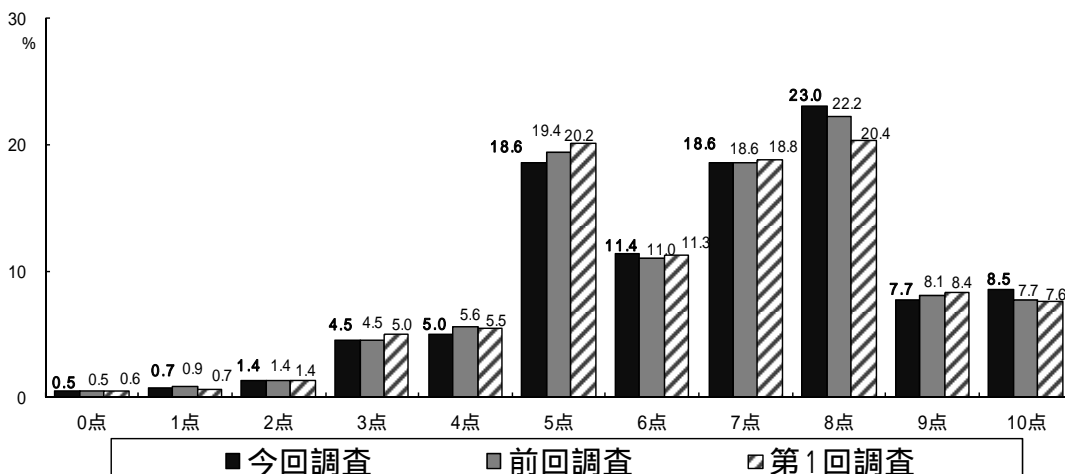
点数の分布をみると、「8点」の割合が23.0%と最も高く、次いで「7点」と「5点」が18.6%となっており、M字型となっています。

前回調査と比べると、「10点」と「8点」の割合がそれぞれ0.8ポイント高く、「5点」の割合が0.8ポイント、「4点」の割合が0.6ポイントそれぞれ低くなっています。第1回調査と比べると、「8点」の割合が2.6ポイント高く、「5点」の割合が1.6ポイント低くなっています。

図表 2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が6.76点で最も高く、次いで中南勢、伊勢志摩の順となっています。前回調査と比較すると、東紀州で0.29点、伊勢志摩で0.19点それぞれ高く、中南勢で0.02点低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が6.86点で男性の6.42点より0.44点高くなっています。前回調査と比較すると、男性で0.11点、女性で0.01点それぞれ高くなっています。第1回調査と比較すると、男性は0.10点、女性は0.06点それぞれ高くなっています。

年齢（10歳階級）別で幸福感平均値を見ると、30歳代と40歳代がそれぞれ6.78点で最も高く、次いで60歳代、20歳代の順となっています。前回調査と比較すると、30歳代を除く全ての年齢階級で高くなっており、60歳代で0.15点、20歳代で0.13点、40歳代で0.10点それぞれ高くなっています。第1回調査と比較しても、30歳代を除く全ての年齢階級で高くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、学生が7.24点で最も高く、次いで専業主婦・主夫、正規職員の順となっています。前回調査と比較すると、農林水産業とパート・バイト・派遣を除く全ての職業で高くなっており、学生で0.20点、専業主婦・主夫で0.19点それぞれ高くなっています。第1回調査と比較すると、農林水産業とその他の職業を除く全ての職業で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が6.91点で最も高く、次いで離別・死別が6.21点、未婚が5.84点となっています。前回調査と比較すると、有配偶で0.08点、離別・死別で0.04点それぞれ高く、未婚で0.03点低くなっています。第1回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、一世代世帯が6.87点で最も高く、次いで三世代世帯が6.81点、二世代世帯が6.67点、単独世帯が5.88点となっています。第1回調査と比較すると、一世代世帯と二世代世帯で高く、単独世帯と三世代世帯で低くなっています。

世帯収入別では、400～500万円未満の世帯収入の階層を除き、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100万円未満と100～200万円未満で0.21点それぞれ高くなっています。

図表 2-1-3 日ごろ感じている幸福度の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.67	(0.07)	<0.11>
地域			
北勢	6.76	(0.07)	<0.12>
伊賀	6.48	(0.06)	<-0.03>
中南勢	6.65	(-0.02)	<0.11>
伊勢志摩	6.62	(0.19)	<0.21>
東紀州	6.48	(0.29)	<0.01>
性別			
男性	6.42	(0.11)	<0.10>
女性	6.86	(0.01)	<0.06>
年齢			
20歳代	6.64	(0.13)	<0.10>
30歳代	6.78	(-0.03)	<-0.07>
40歳代	6.78	(0.10)	<0.21>
50歳代	6.63	(0.03)	<0.13>
60歳代	6.69	(0.15)	<0.20>
70歳以上	6.60	(0.02)	<0.05>
主な職業			
農林水産業	6.21	(-0.40)	<-0.29>
自営業・自由業	6.67	(0.03)	<0.02>
正規職員	6.85	(0.06)	<0.16>
パート・アルバイト派遣	6.49	(-0.04)	<0.10>
その他の職業	6.35	(0.08)	<-0.32>
学生	7.24	(0.20)	<0.66>
専業主婦・主夫	7.22	(0.19)	<0.18>
無職	6.34	(0.08)	<0.11>
配偶関係			
未婚	5.84	(-0.03)	<0.07>
有配偶	6.91	(0.08)	<0.13>
離別・死別	6.21	(0.04)	<0.11>
世帯類型			
単独世帯	5.88	(-)	<-0.11>
一世代世帯	6.87	(-)	<0.13>
二世代世帯	6.67	(-)	<0.17>
三世代世帯	6.81	(-)	<-0.01>
世帯収入			
~100万円未満	5.53	(0.21)	<->
~200万円未満	5.96	(0.21)	<->
~300万円未満	6.38	(0.11)	<->
~400万円未満	6.73	(0.18)	<->
~500万円未満	6.70	(0.08)	<->
~600万円未満	6.85	(-0.13)	<->
~800万円未満	7.08	(0.11)	<->
~1,000万円未満	7.27	(0.07)	<->
1,000万円以上	7.63	(-0.07)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

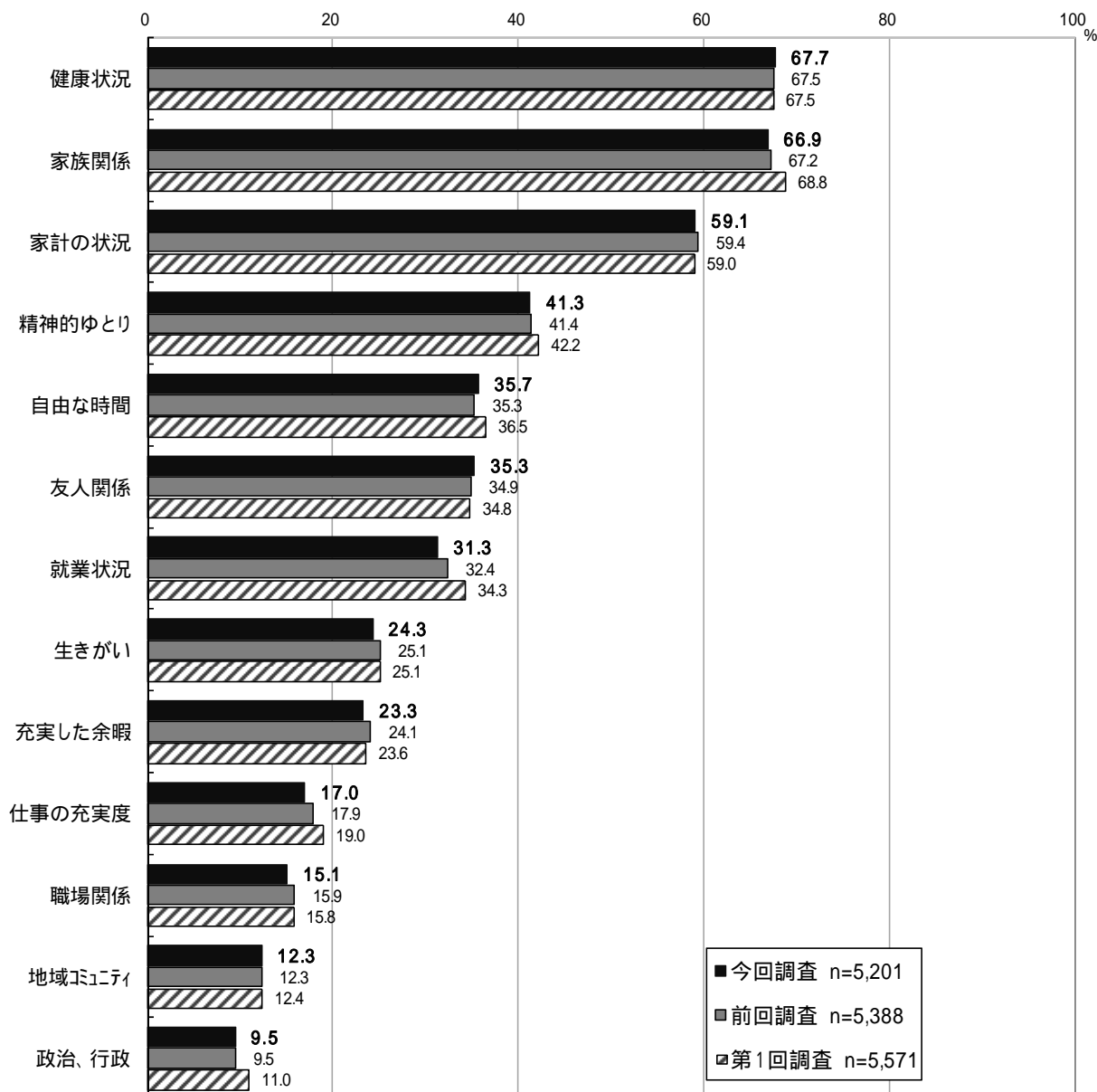
問1 - 2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいくつでも)

➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は「健康状況」の割合が67.7%で最も高く、次いで「家族関係」(66.9%)次いで、「家計の状況(所得・消費)」(59.1%)となっています。

第1回調査から第3回調査は「家族関係」が最も高くなっていましたが、今回調査も前回調査に引き続き「健康状況」が最も高くなりました。他の項目についても、前回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-4 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項
(全体の上位6項目の属性別)

地域別では、北勢、伊賀、中南勢では「健康状況」が、伊勢志摩と東紀州では「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

性別では、男性は「健康状況」が、女性は「家族関係」が最も高くなっています。

年齢（10歳階級）別では、50歳代以上は「健康状況」が、40歳代以下は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。30歳代は「家計の状況」が2番目に高く、20歳代は「友人関係」が3番目に高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、自営業・自由業、パート・バイト・派遣、無職は「健康状況」が最も高く、正規職員、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高くなっています。

学生は「友人関係」が最も高くなっています。

配偶関係別では、未婚と離別・死別では「健康状況」が、有配偶は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯は「健康状況」が、一世代世帯、二世帯世帯、三世帯世帯は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、400万円未満の層は「健康状況」が最も高く、500万円以上の層では「家族関係」が最も高くなっています。

	健康状況	家族関係	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	友人関係	
全体	67.7	66.9	59.1	41.3	35.7	35.3	
地域	北勢	67.2	66.4	59.0	40.7	37.0	34.6
	伊賀	68.3	63.3	60.4	43.2	35.5	33.9
	中南勢	69.2	69.1	59.7	42.1	33.2	36.4
	伊勢志摩	67.1	67.6	57.9	41.9	37.6	37.2
	東紀州	64.3	64.8	55.9	37.0	32.2	32.6
性別	男性	65.5	61.2	60.2	39.1	33.3	27.9
	女性	69.4	71.1	58.4	43.0	37.0	40.5
年齢	20歳代	54.9	62.5	52.4	46.5	44.8	53.8
	30歳代	59.5	72.1	62.5	41.8	31.9	37.0
	40歳代	65.2	71.5	64.7	42.1	28.3	30.0
	50歳代	72.4	67.7	66.9	42.0	27.2	29.9
	60歳代	72.9	66.8	59.8	43.0	37.8	32.4
	70歳以上	69.5	62.0	48.8	36.6	44.1	39.7
主な職業	農林水産業	73.6	66.7	59.7	36.4	30.2	31.0
	自営業・自由業	69.1	64.1	63.7	42.4	30.2	37.0
	正規職員	64.3	69.7	63.0	40.4	29.7	32.5
	パート・バイト・派遣	67.2	66.5	61.8	43.2	29.3	33.1
	その他の職業	64.3	62.7	61.1	38.5	28.7	32.0
	学生	61.7	66.7	41.7	46.7	56.7	75.0
	専業主婦・主夫	72.1	76.5	58.2	44.0	44.1	41.6
配偶関係	無職	69.1	59.4	52.0	39.6	44.6	34.0
	未婚	61.0	48.8	55.5	44.6	42.6	41.2
	有配偶	69.8	72.5	61.7	41.1	33.5	33.8
	離別・死別	64.5	56.5	50.6	41.1	39.5	37.2
世帯類型	単独世帯	64.3	39.2	50.6	43.7	43.7	37.6
	一世代世帯	69.4	69.6	56.9	41.1	38.2	35.1
	二世帯世帯	67.5	68.6	62.8	41.3	33.1	34.4
	三世帯世帯	68.0	72.7	57.7	39.4	31.7	38.3
世帯収入	100万円未満	60.6	46.3	46.7	41.9	40.2	31.3
	～200万円未満	64.9	55.4	47.7	36.0	39.1	34.7
	～300万円未満	67.7	62.5	54.6	38.6	39.9	32.8
	～400万円未満	68.3	65.5	59.7	43.7	36.3	33.8
	～500万円未満	68.6	72.2	61.4	44.8	34.1	32.6
	～600万円未満	66.8	68.4	63.3	39.6	30.1	34.8
	～800万円未満	68.3	73.9	68.3	41.9	31.9	38.1
	～1,000万円未満	74.9	75.1	70.3	46.3	31.1	34.6
	1,000万円以上	74.1	81.4	71.8	43.1	30.1	40.3

凡例： 第1位 第2位 第3位

問1 - 3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで をつけてください。(は2つまで)

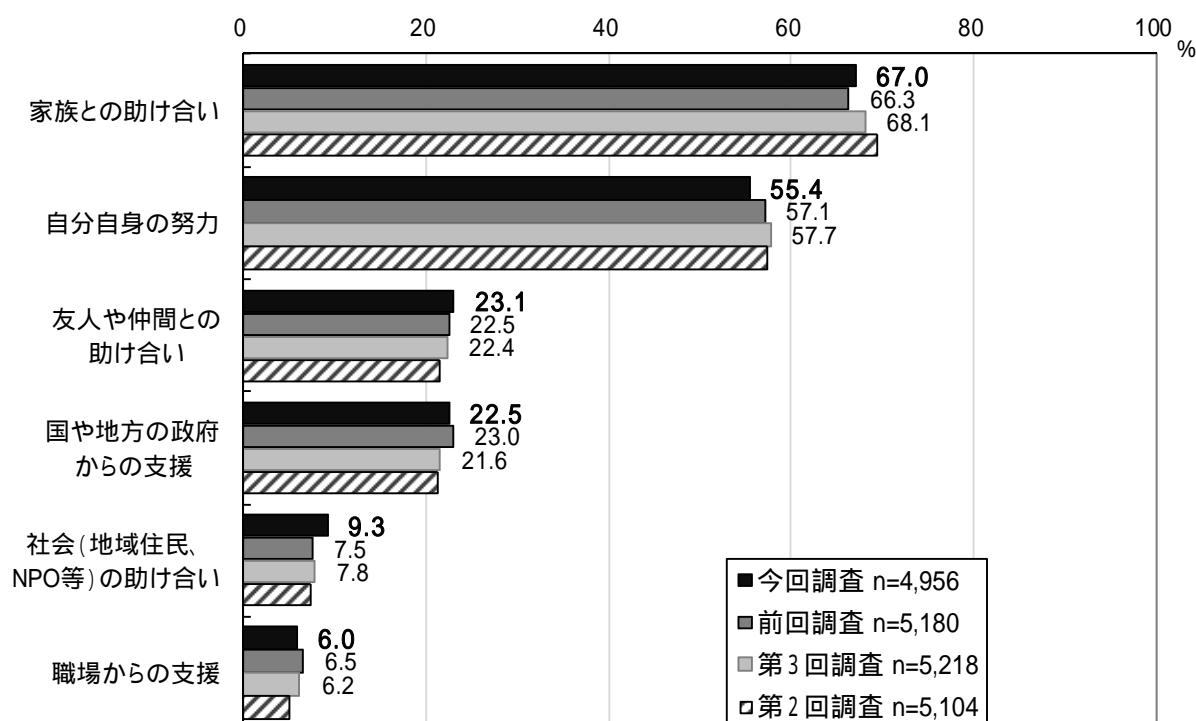
➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が 67.0%と最も高く、次いで「自分自身の努力」(55.4%)、「友人や仲間との助け合い」(23.1%)となっています。

前回調査との比較では、「家族との助け合い」が0.7ポイント、「友人や仲間との助け合い」が0.6ポイントそれぞれ高くなった一方、「自分自身の努力」が1.7ポイント、「国や地方の政府からの支援」が0.5ポイントそれぞれ低くなりました。

「友人や仲間との助け合い」が「国や地方の政府からの支援」と入れ替わり、3番目に高くなったことを除くと、前回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-6 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」の順となっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高く、3位は男性が「国や地方の政府からの支援」、女性は「友人や仲間との助け合い」となっています。

年齢（10歳階級）別でも、全ての年代で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。3位は20歳代と70歳以上が「友人や仲間との助け合い」、30歳代から60歳代が「国や地方の政府からの支援」となっています。

主な職業別に見ると、学生を除く全ての職業で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。学生は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族との助け合い」が最も高く、未婚と離別・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、全ての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て（属性別）

	い家族との助け合い	自分自身の努力	助友け人含いや仲間との	か国らの地方の政府	の民、社会、NPO等（地域住）	職場からの支援	
全体	67.0	55.4	23.1	22.5	9.3	6.0	
地域	北勢	67.0	56.6	22.0	21.3	8.4	6.4
	伊賀	65.4	52.2	23.6	26.5	11.7	5.9
	中南勢	67.0	55.2	25.0	23.6	10.0	5.0
	伊勢志摩	68.0	55.1	22.8	20.9	10.1	6.9
	東紀州	67.3	51.4	23.4	23.8	6.5	6.5
性別	男性	62.2	57.8	19.9	23.7	10.7	6.9
	女性	70.6	53.7	25.5	21.4	8.1	5.5
年齢	20歳代	55.4	49.6	38.2	20.7	4.4	12.8
	30歳代	65.8	49.2	23.2	24.1	6.7	12.1
	40歳代	65.9	54.9	20.9	24.1	6.4	11.0
	50歳代	66.6	56.4	18.3	27.4	8.1	5.9
	60歳代	69.6	58.6	20.7	20.9	12.1	2.8
	70歳以上	70.0	57.0	26.6	18.0	11.7	0.8
主な職業	農林水産業	62.2	59.8	16.5	26.8	18.1	3.1
	自営業・自由業	69.2	62.9	20.3	19.2	8.4	2.8
	正規職員	65.9	55.1	23.4	20.8	5.9	12.3
	パート・アルバイト派遣	64.0	52.6	23.4	26.5	8.9	8.8
	その他の職業	58.0	52.8	22.1	24.7	10.4	10.0
	学生	51.8	69.6	53.6	10.7	1.8	3.6
	専業主婦・主夫	77.0	52.0	25.1	20.2	8.9	1.8
配偶関係	無職	66.0	57.3	22.1	23.0	12.8	0.9
	未婚	43.6	60.2	33.2	22.6	9.2	11.5
	有配偶	73.3	54.5	19.8	21.8	9.3	5.2
世帯類型	離別・死別	55.1	56.1	32.1	26.5	10.0	5.0
	単独世帯	37.7	63.3	36.4	23.6	12.3	6.3
	一世代世帯	71.6	56.0	20.9	20.5	9.7	4.1
	二世帯世帯	68.3	53.7	22.5	23.3	8.5	7.2
世帯収入	三世帯世帯	72.1	56.5	22.5	20.7	8.1	7.3
	100万円未満	53.1	46.5	25.9	38.6	12.7	1.8
	～200万円未満	62.6	51.2	27.6	25.2	10.2	3.9
	～300万円未満	62.4	53.5	24.6	24.0	12.2	6.8
	～400万円未満	67.5	57.4	21.4	25.4	8.7	5.8
	～500万円未満	69.0	57.8	18.2	22.6	9.4	7.0
	～600万円未満	68.8	53.7	20.8	18.9	10.9	7.8
	～800万円未満	70.2	58.8	21.0	21.3	6.7	7.6
	～1,000万円未満	73.3	57.4	21.3	16.4	7.3	6.1
1,000万円以上	78.9	59.3	22.6	15.4	5.7	3.9	

凡例： 第1位 第2位 第3位

2. 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成24年度に策定した「みえ県民カビジョン」で政策分野ごとに設定した15の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。今回調査で質問を一部変更

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」と関連する県の政策分野は以下のとおりです。

問2	幸福実感指標	関連する県の政策分野
(1)	災害の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	防災・減災
(2)	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
(3)	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
(4)	犯罪や事故が少なく、安全に暮らしていると感じる県民の割合	暮らしの安全を守る
(5)	身近な自然や環境が守られていると感じる県民の割合 (今回調査で質問を変更)	環境を守る
(6)	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合 (今回調査で質問を変更)	人権の尊重と多様性を認め合う社会
(7)	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	学びの充実
(8)	結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じる県民の割合 (今回調査で質問を変更)	希望がかなう少子化対策の推進
(9)	スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じる県民の割合 (今回調査で質問を変更)	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域の活力の向上
(11)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(12)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんて多様な産業
(13)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保と多様な働き方
(15)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問2 次の(1)から(15)までの15の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

➤ 地域や社会の状況についての実感(15項目全体の集計結果)

項目毎の集計結果は16ページから45ページに記載

『実感している層』の割合

地域や社会の状況についての実感を聞いたところ、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した『実感している層』の割合は、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」が85.5%で最も高くなっています。次いで「(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」(73.1%)、「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(60.2%)の順で、これまでの5回の調査を通じて同順位となっています。

『実感していない層』の割合

「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した『実感していない層』の割合は「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が65.5%で、第1回調査以降、継続して最も高くなっています。次いで「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(56.3%)、「(6)性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている(今回調査で設問を変更)」(55.5%)の順となっています。

前回調査との比較

今回調査で設問を変更していない11項目のうち、前回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは7項目で、増加幅が最も大きかったのは「(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+5.2ポイント)、次いで「(7)子どものためになる教育が行われている」(+2.1ポイント)、「(12)県内の産業活動が活発である」(+1.5ポイント)となっています。また、低くなったのは4項目で、減少幅が最も大きかったのは「(3)必要な福祉サービスが利用できている」(-3.3ポイント)、次いで「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(-2.6ポイント)、「(15)道路や公共交通機関等が整っている」(-2.1ポイント)となっています。

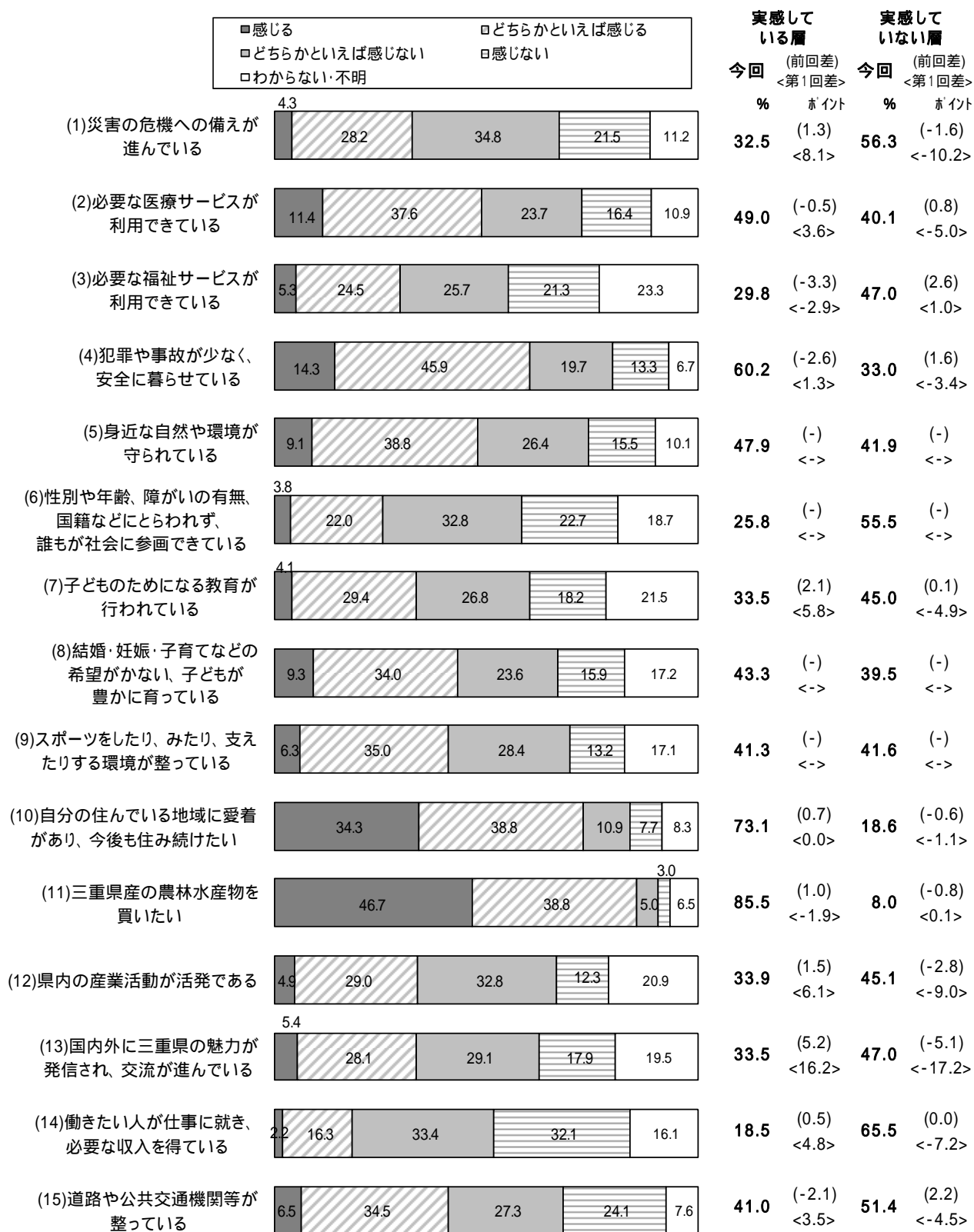
一方、『実感していない層』の割合が低くなったのは11項目のうち5項目で、「(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(-5.1ポイント)の減少幅が最も大きくなっています。また、高くなったのも5項目で、「(3)必要な福祉サービスが利用できている」(+2.6ポイント)の増加幅が最も大きくなっています。

第1回調査との比較

今回調査で設問を変更していない11項目のうち、第1回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは8項目で、増加幅が最も大きかったのは「(13)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+16.2ポイント)、次いで「(1)災害の危機への備えが進んでいる」(+8.1ポイント)、「(12)県内の産業活動が活発である」(+6.1ポイント)となっています。

一方、『実感していない層』の割合は、「(3)必要な福祉サービスが利用できている」(+1.0ポイント)及び「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」(+0.1ポイント)を除く9項目で第1回調査より低くなっています。

図表 2-2-1 地域や社会の状況についての実感（一覧）



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➤ 地域や社会の状況についての実感（項目毎の集計結果）

問2 - (1) 災害の危機への備えが進んでいると感じますか。

（関連の政策分野：防災・減災）

災害の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が32.5%で、『実感していない層』の割合（56.3%）より23.8ポイント低くなっています。

問2の15項目の中では、『実感していない層』の割合が2番目に高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント高く、『実感していない層』が1.6ポイント低くなっています。

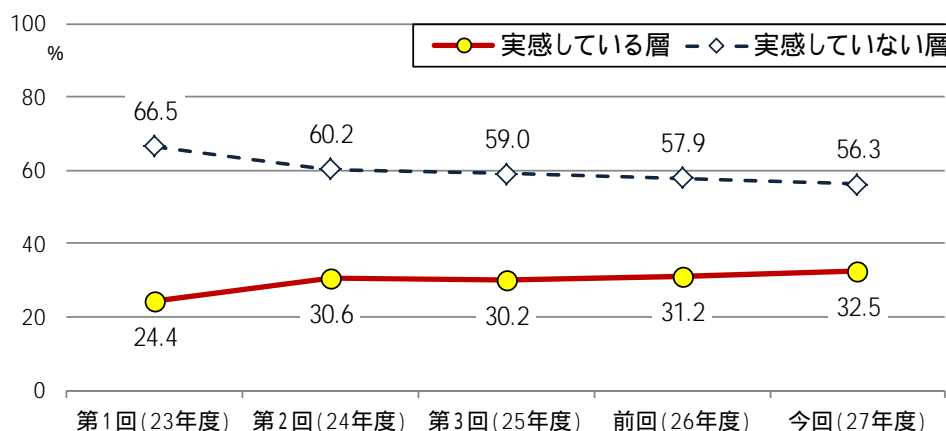
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が8.1ポイント高く、『実感していない層』は10.2ポイント低くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ2番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・東紀州の『実感していない層』は全体より9.4ポイント低く、また第1回調査より12.5ポイント低くなっています。
- ・40歳代の『実感していない層』は前回調査より4.3ポイント、第1回調査より15.8ポイントそれぞれ低くなっています。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より3.4ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より4.0ポイント低い。

図表 2-2-2 災害の危機への備えが進んでいる（第1回調査からの推移）



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-3 災害の危機への備えが進んでいる(属性別)

	<input type="checkbox"/> 感じる <input type="checkbox"/> どちらかといえば感じる <input type="checkbox"/> どちらかといえば感じない <input type="checkbox"/> 感じない <input type="checkbox"/> わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント					
全体	4.3	28.2	34.8	21.5	11.2	32.5	(1.3)	<8.1>	56.3	(-1.6)	<-10.2>
地域											
北勢	4.1	26.9	36.4	22.3	10.3	31.0	(0.9)	<8.1>	58.7	(-1.3)	<-10.4>
伊賀	3.3	29.8	36.1	20.2	10.5	33.1	(2.8)	<8.6>	56.3	(-2.8)	<-8.2>
中南勢	3.9	27.1	35.5	21.5	12.0	31.0	(0.9)	<6.2>	57.0	(-1.0)	<-8.0>
伊勢志摩	5.3	31.5	28.9	20.9	13.3	36.8	(1.4)	<10.9>	49.8	(-3.4)	<-14.4>
東紀州	8.3	35.7	29.1	17.8	9.1	44.0	(4.9)	<11.8>	46.9	(-0.3)	<-12.5>
性別											
男性	4.7	27.4	35.2	23.5	9.1	32.1	(1.4)	<9.2>	58.7	(-1.6)	<-11.7>
女性	4.0	29.1	34.7	20.2	12.0	33.1	(1.5)	<7.2>	54.9	(-1.8)	<-8.3>
年齢											
20歳代	3.3	21.7	34.7	28.7	11.6	25.0	(-3.6)	<4.3>	63.4	(1.8)	<-8.0>
30歳代	2.4	30.4	33.4	23.8	10.0	32.8	(3.5)	<10.5>	57.2	(-5.7)	<-13.2>
40歳代	4.9	32.2	32.7	20.3	9.8	37.1	(4.3)	<11.2>	53.0	(-4.3)	<-15.8>
50歳代	3.0	28.3	38.7	21.8	8.1	31.3	(2.4)	<8.5>	60.5	(-1.9)	<-10.1>
60歳代	4.2	27.5	36.8	21.7	9.7	31.7	(-0.9)	<8.7>	58.5	(-1.0)	<-8.4>
70歳以上	6.1	27.8	33.0	18.2	14.8	33.9	(1.8)	<5.0>	51.2	(-0.2)	<-6.5>
主な職業											
農林水産業	4.6	31.3	33.6	24.4	6.1	35.9	(7.3)	<5.8>	58.0	(2.1)	<-1.2>
自営業・自由業	5.6	26.2	36.2	23.6	8.2	31.8	(-3.1)	<6.1>	59.8	(5.1)	<-7.7>
正規職員	3.2	30.2	34.9	24.5	7.2	33.4	(4.2)	<11.4>	59.4	(-3.6)	<-12.8>
パート・アルバイト・派遣	3.6	27.6	37.4	20.7	10.8	31.2	(0.4)	<7.5>	58.1	(-1.8)	<-10.9>
その他の職業	4.1	31.7	29.7	26.4	8.1	35.8	(8.8)	<10.1>	56.1	(-4.7)	<-9.0>
学生	1.7	25.0	40.0	23.3	10.0	26.7	(-10.8)	<0.7>	63.3	(13.3)	<-1.7>
専業主婦・主夫	3.5	31.6	35.4	17.2	12.2	35.1	(1.2)	<10.4>	52.6	(-3.6)	<-11.0>
無職	6.3	25.0	33.2	19.8	15.7	31.3	(-0.9)	<5.3>	53.0	(-0.7)	<-8.5>
配偶関係											
未婚	3.0	25.5	33.0	26.1	12.4	28.5	(-0.4)	<9.6>	59.1	(0.4)	<-13.4>
有配偶	4.4	29.4	35.7	21.0	9.5	33.8	(1.6)	<8.6>	56.7	(-2.5)	<-10.0>
離別・死別	4.6	26.8	33.1	20.6	14.9	31.4	(2.7)	<5.3>	53.7	(-0.7)	<-7.0>
世帯類型											
単独世帯	4.5	25.4	31.5	24.4	14.4	29.9	(-)	<5.4>	55.9	(-)	<-7.0>
一世帯世帯	4.2	27.9	34.4	21.3	12.2	32.1	(-)	<7.6>	55.7	(-)	<-11.4>
二世帯世帯	4.5	28.7	36.6	20.4	9.7	33.2	(-)	<9.1>	57.0	(-)	<-10.5>
三世帯世帯	3.4	30.5	33.6	24.0	8.5	33.9	(-)	<8.0>	57.6	(-)	<-7.8>
世帯収入											
~100万円未満	7.9	19.8	29.0	21.4	21.8	27.7	(2.8)	<->	50.4	(-3.1)	<->
~200万円未満	5.6	24.8	30.2	25.1	14.2	30.4	(-1.0)	<->	55.3	(1.4)	<->
~300万円未満	4.4	26.7	37.6	19.8	11.5	31.1	(-0.8)	<->	57.4	(0.7)	<->
~400万円未満	3.5	31.3	34.9	20.8	9.5	34.8	(5.0)	<->	55.7	(-4.8)	<->
~500万円未満	4.5	27.6	37.7	20.5	9.7	32.1	(1.5)	<->	58.2	(-4.7)	<->
~600万円未満	3.4	29.2	37.3	23.6	6.5	32.6	(4.3)	<->	60.9	(-1.7)	<->
~800万円未満	3.8	33.5	33.3	21.4	8.0	37.3	(2.5)	<->	54.7	(-3.2)	<->
~1,000万円未満	2.5	33.4	33.7	22.0	8.2	36.0	(4.2)	<->	55.7	(-5.1)	<->
1,000万円以上	2.5	29.4	39.5	18.2	10.4	31.9	(-1.7)	<->	57.7	(-2.0)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (2) 必要な医療サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：命を守る)

必要な医療サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が49.0%で、『実感していない層』の割合(40.1%)より8.9ポイント高くなっています。

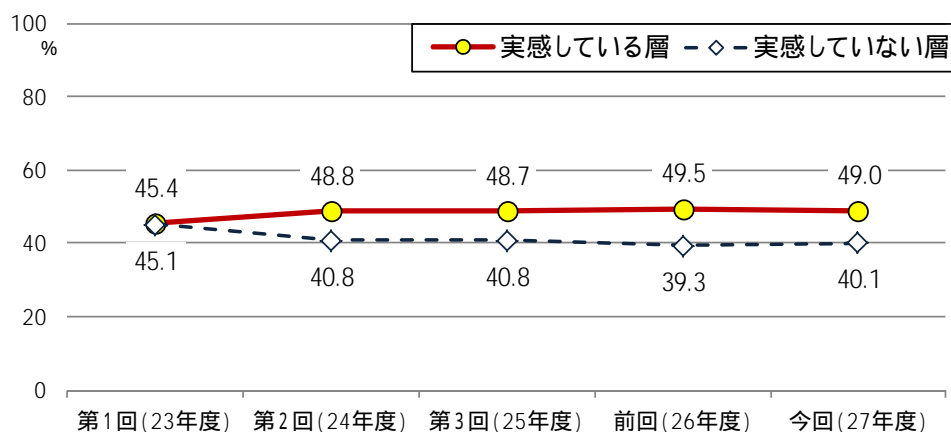
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.5ポイント低く、『実感していない層』は0.8ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.6ポイント高く、『実感していない層』は5.0ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は全体より15.1ポイント低く、前回調査より2.1ポイント低い。
- ・伊賀の『実感していない層』は全体より9.7ポイント高く、前回調査より6.4ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より9.2ポイント高い。
- ・パート・バイト・派遣の『実感している層』は全体より6.3ポイント低い。

図表 2-2-4 必要な医療サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-5 必要な医療サービスが利用できている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層			
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント			
全体	11.4		37.6	23.7	16.4	10.9	49.0	(-0.5)	<3.6>	40.1	(0.8)	<-5.0>
地域												
北勢	12.0		39.3	24.3	14.4	9.9	51.3	(0.1)	<3.2>	38.7	(-0.4)	<-4.2>
伊賀	6.7		34.1	28.8	21.0	9.5	40.8	(-4.3)	<11.4>	49.8	(6.4)	<-12.4>
中南勢	12.3		38.8	22.3	14.7	12.0	51.1	(-1.5)	<1.6>	37.0	(1.2)	<-3.4>
伊勢志摩	11.9		36.2	18.9	20.6	12.3	48.1	(2.4)	<6.4>	39.5	(-3.2)	<-9.3>
東紀州	9.6		24.3	30.4	24.8	10.9	33.9	(-2.1)	<-3.1>	55.2	(9.3)	<3.9>
性別												
男性	12.1		37.2	23.6	17.8	9.4	49.3	(-1.6)	<2.3>	41.4	(2.0)	<-3.4>
女性	10.9		38.0	24.1	15.6	11.4	48.9	(0.1)	<4.9>	39.7	(-)	<-6.2>
年齢												
20歳代	11.9		40.9	21.1	14.1	12.0	52.8	(1.7)	<4.5>	35.2	(-1.0)	<-7.2>
30歳代	9.2		38.6	23.2	18.9	10.0	47.8	(-1.2)	<6.0>	42.1	(0.4)	<-6.8>
40歳代	8.6		36.2	24.4	20.8	10.1	44.8	(-1.1)	<4.9>	45.2	(2.1)	<-6.8>
50歳代	6.5		33.9	30.4	19.6	9.7	40.4	(-0.4)	<1.1>	50.0	(0.6)	<-2.9>
60歳代	10.7		39.0	24.3	15.0	11.0	49.7	(0.4)	<6.1>	39.3	(-1.2)	<-7.1>
70歳以上	19.0		39.2	19.2	11.7	10.9	58.2	(-1.3)	<0.4>	30.9	(2.4)	<-1.1>
主な職業												
農林水産業	20.6		33.6	22.9	14.5	8.4	54.2	(-7.2)	<1.6>	37.4	(11.2)	<-2.9>
自営業・自由業	11.7		37.5	20.8	20.8	9.1	49.2	(0.4)	<3.8>	41.6	(1.8)	<-4.5>
正規職員	8.9		37.3	26.1	19.2	8.6	46.2	(-1.2)	<1.8>	45.3	(2.1)	<-2.7>
パート・アルバイト派遣	8.1		34.6	28.3	17.7	11.2	42.7	(-1.1)	<5.7>	46.0	(1.0)	<-6.4>
その他の職業	8.9		33.3	28.0	19.9	9.7	42.2	(2.7)	<2.7>	47.9	(0.7)	<-4.7>
学生	13.3		45.0	21.7	6.7	13.4	58.3	(-7.9)	<2.4>	28.4	(3.3)	<-9.3>
専業主婦・主夫	10.9		43.7	20.6	13.1	11.7	54.6	(2.1)	<8.5>	33.7	(-2.7)	<-10.5>
無職	16.6		38.4	20.0	13.0	12.0	55.0	(-0.6)	<2.7>	33.0	(-0.5)	<-4.3>
配偶関係												
未婚	10.1		36.8	23.9	17.4	11.9	46.9	(1.3)	<5.8>	41.3	(1.5)	<-6.8>
有配偶	11.1		38.3	24.1	16.4	10.0	49.4	(-1.5)	<3.3>	40.5	(0.7)	<-4.9>
離別・死別	13.8		37.1	23.0	15.8	10.3	50.9	(2.7)	<3.3>	38.8	(0.8)	<-3.4>
世帯類型												
単独世帯	13.1		33.1	21.8	18.5	13.4	46.2	(-)	<0.4>	40.3	(-)	<-0.1>
一世帯世帯	11.3		37.6	24.2	15.9	11.0	48.9	(-)	<3.0>	40.1	(-)	<-4.8>
二世帯世帯	10.6		38.2	23.6	17.5	10.1	48.8	(-)	<5.9>	41.1	(-)	<-7.2>
三世帯世帯	12.4		40.3	25.8	13.1	8.4	52.7	(-)	<-0.7>	38.9	(-)	<0.2>
世帯収入												
~100万円未満	15.9		29.8	20.2	18.7	15.5	45.7	(-0.3)	<->	38.9	(-2.4)	<->
~200万円未満	12.0		32.1	24.0	18.6	13.3	44.1	(-5.0)	<->	42.6	(3.4)	<->
~300万円未満	11.9		36.3	23.2	17.1	11.4	48.2	(0.5)	<->	40.3	(-1.1)	<->
~400万円未満	13.0		37.5	25.5	14.4	9.5	50.5	(-2.6)	<->	39.9	(3.6)	<->
~500万円未満	11.0		43.2	20.4	15.8	9.7	54.2	(4.4)	<->	36.2	(-5.7)	<->
~600万円未満	11.1		39.5	25.7	15.9	7.8	50.6	(1.5)	<->	41.6	(1.3)	<->
~800万円未満	9.1		38.3	25.9	18.0	8.6	47.4	(-0.8)	<->	43.9	(1.4)	<->
~1,000万円未満	10.6		41.1	25.7	14.0	8.5	51.7	(1.2)	<->	39.7	(-0.5)	<->
1,000万円以上	9.8		38.9	25.2	17.4	8.7	48.7	(-7.2)	<->	42.6	(5.1)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (3) 必要な福祉サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：共生の福祉社会)

必要な福祉サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が29.8%で、『実感していない層』の割合(47.0%)より17.2ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合(23.3%)が高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.3ポイント低く、『実感していない層』は2.6ポイント高くなっています。

前回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅及び『実感していない層』の増加幅がそれぞれ最も大きくなっています。

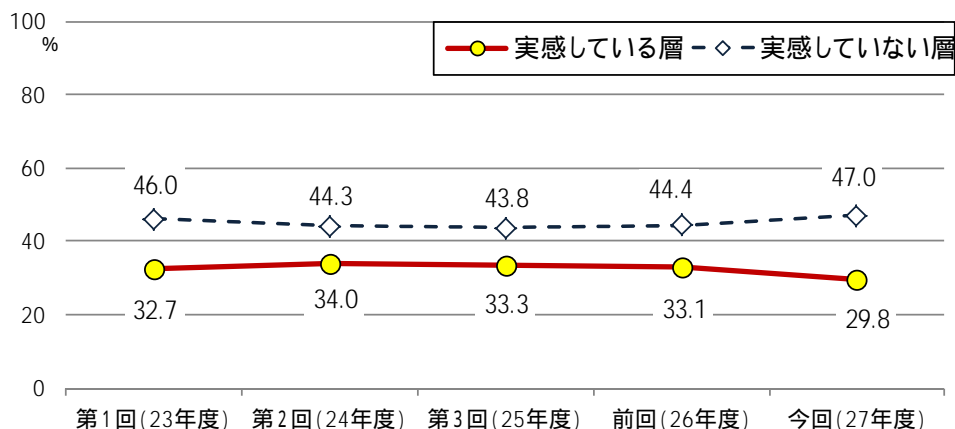
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.9ポイント低く、『実感していない層』は1.0ポイント高くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅及び『実感していない層』の増加幅がそれぞれ最も大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感してない層』は全体より5.0ポイント高く、前回調査より5.8ポイント高い。
- ・50歳代の『実感してない層』は全体より6.7ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より11.1ポイント高い。
- ・正規職員の『実感していない層』は全体より6.9ポイント高い。

図表 2-2-6 必要な福祉サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-7 必要な福祉サービスが利用できている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	5.3	24.5	25.7	21.3	23.3	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	5.3	24.5	25.7	21.3	23.3	29.8	(-3.3)	<-2.9>	47.0	(2.6)	<-1.0>
地域											
北勢	4.7	22.9	26.6	21.2	24.6	27.6	(-4.2)	<-3.1>	47.8	(2.7)	<-0.6>
伊賀	4.5	24.7	25.7	26.3	18.8	29.2	(-3.5)	<-3.2>	52.0	(5.8)	<-5.5>
中南勢	5.7	24.5	26.4	21.0	22.6	30.2	(-5.0)	<-4.1>	47.4	(4.1)	<-2.3>
伊勢志摩	5.9	27.8	22.6	18.8	25.0	33.7	(-0.1)	<0.5>	41.4	(-2.5)	<-3.9>
東紀州	7.4	29.6	21.7	21.7	19.5	37.0	(4.8)	<-5.8>	43.4	(1.3)	<-5.0>
性別											
男性	5.2	22.8	27.5	22.8	21.7	28.0	(-5.1)	<-4.4>	50.3	(3.7)	<-1.5>
女性	5.2	25.7	24.7	20.2	24.2	30.9	(-2.4)	<-2.0>	44.9	(1.9)	<-1.2>
年齢											
20歳代	5.1	19.2	23.3	21.7	30.6	24.3	(-2.6)	<-2.4>	45.0	(3.6)	<-6.8>
30歳代	3.8	21.9	24.2	22.6	27.5	25.7	(-3.0)	<-2.8>	46.8	(1.8)	<-1.9>
40歳代	2.6	19.6	28.1	24.9	24.8	22.2	(-5.3)	<-1.8>	53.0	(5.0)	<-0.4>
50歳代	3.6	22.9	29.7	24.0	19.8	26.5	(-1.5)	<-3.7>	53.7	(1.2)	<-1.7>
60歳代	5.0	25.6	26.9	19.9	22.5	30.6	(-3.3)	<-3.5>	46.8	(1.3)	<-0.4>
70歳以上	9.4	31.5	21.9	16.8	20.4	40.9	(-3.7)	<-2.5>	38.7	(2.4)	<-0.2>
主な職業											
農林水産業	10.7	32.1	22.1	18.3	16.8	42.8	(-8.4)	<-6.9>	40.4	(11.2)	<-3.8>
自営業・自由業	6.1	23.0	25.4	23.0	22.5	29.1	(-6.2)	<-6.5>	48.4	(4.8)	<-4.9>
正規職員	3.4	20.9	30.6	23.3	21.9	24.3	(-3.1)	<-3.9>	53.9	(3.8)	<-3.2>
パート・バイト・派遣	4.5	21.2	27.6	23.6	23.2	25.7	(-2.2)	<-2.0>	51.2	(2.7)	<-2.1>
その他の職業	5.3	20.3	25.6	27.6	21.1	25.6	(2.7)	<-2.7>	53.2	(-0.3)	<-2.6>
学生	6.7	23.3	20.0	16.7	33.3	30.0	(-6.2)	<-5.3>	36.7	(7.9)	<-2.3>
専業主婦・主夫	3.5	29.1	24.5	17.2	25.7	32.6	(-3.8)	<-0.5>	41.7	(3.2)	<-0.8>
無職	7.9	29.0	21.3	18.1	23.7	36.9	(-3.0)	<-1.5>	39.4	(-1.0)	<-4.2>
配偶関係											
未婚	4.8	20.4	24.2	22.8	27.8	25.2	(-0.1)	<-1.1>	47.0	(2.8)	<-0.7>
有配偶	4.7	25.2	26.8	21.3	21.8	29.9	(-3.9)	<-3.9>	48.1	(2.6)	<-2.1>
離別・死別	8.1	25.8	21.7	20.8	23.6	33.9	(-4.4)	<0.8>	42.5	(2.2)	<-3.5>
世帯類型											
単独世帯	7.5	22.3	23.9	20.7	25.6	29.8	(-)	<0.6>	44.6	(-)	<-2.2>
一世帯世帯	4.8	23.9	26.2	21.2	23.9	28.7	(-)	<-3.4>	47.4	(-)	<-0.1>
二世帯世帯	4.5	24.0	26.3	22.4	22.9	28.5	(-)	<-2.3>	48.7	(-)	<-1.9>
三世帯世帯	6.6	28.4	26.4	17.6	21.1	35.0	(-)	<-5.3>	44.0	(-)	<-2.1>
世帯収入											
~100万円未満	9.1	23.8	22.6	19.0	25.4	32.9	(-0.5)	<->	41.6	(-0.7)	<->
~200万円未満	5.8	25.7	20.5	25.0	23.1	31.5	(-6.1)	<->	45.5	(0.2)	<->
~300万円未満	5.8	24.7	26.2	20.4	23.0	30.5	(-1.9)	<->	46.6	(0.8)	<->
~400万円未満	5.4	27.3	25.3	21.1	20.9	32.7	(-3.5)	<->	46.4	(3.1)	<->
~500万円未満	3.9	25.5	28.1	19.9	22.6	29.4	(0.7)	<->	48.0	(-1.5)	<->
~600万円未満	5.3	23.7	27.5	21.2	22.3	29.0	(-5.1)	<->	48.7	(5.6)	<->
~800万円未満	4.2	23.3	26.4	22.0	24.1	27.5	(-3.4)	<->	48.4	(1.2)	<->
~1,000万円未満	4.9	22.9	28.3	23.4	20.5	27.8	(-4.2)	<->	51.7	(8.2)	<->
1,000万円以上	2.8	24.4	29.4	22.4	21.0	27.2	(-8.2)	<->	51.8	(6.7)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (4) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。

(関連の政策分野：暮らしの安全を守る)

犯罪や事故が少なく、安全に暮らせているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が60.2%で、『実感していない層』の割合(33.0%)より27.2ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が3番目に高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.6ポイント低く、『実感していない層』は1.6ポイント高くなっています。

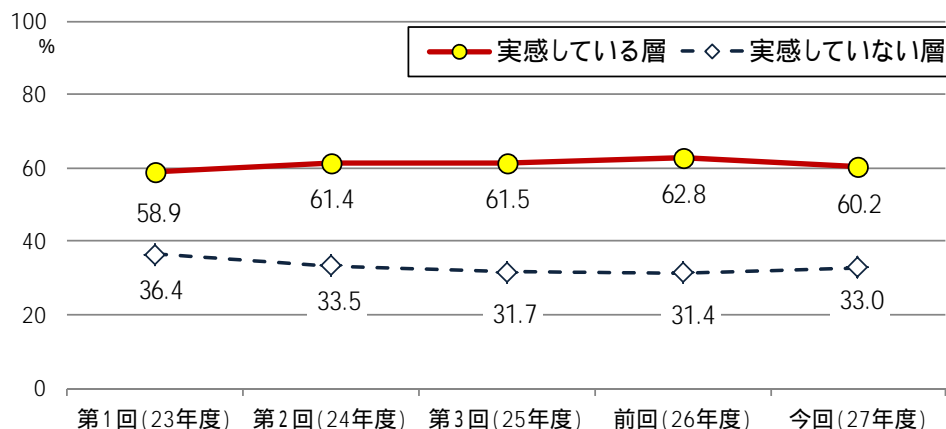
前回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅が2番目に大きく、『実感していない層』の増加幅が3番目に大きくなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント高く、『実感していない層』は3.4ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感していない層』は全体より4.0ポイント高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より11.9ポイント高く、前回調査より6.4ポイント高い。
- ・30歳代の『実感していない層』は全体より6.3ポイント高い。
- ・三世帯世帯の『実感している層』は全体より4.5ポイント高く、単独世帯は全体より3.4ポイント低い。

図表 2-2-8 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-9 犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	14.3	45.9	19.7	13.3	6.7	60.2	(-2.6)	<1.3>	33.0	(1.6)	<-3.4>
地域											
北勢	12.8	44.8	21.7	15.3	5.4	57.6	(-1.3)	<1.4>	37.0	(0.4)	<-3.3>
伊賀	16.7	51.0	16.7	9.8	5.9	67.7	(4.3)	<5.8>	26.5	(-2.8)	<-6.2>
中南勢	13.1	45.4	20.3	13.7	7.5	58.5	(-6.8)	<0.9>	34.0	(5.6)	<-2.0>
伊勢志摩	17.9	45.3	16.9	9.6	10.3	63.2	(-4.9)	<-0.1>	26.5	(2.3)	<-5.1>
東紀州	21.7	50.4	12.2	9.6	6.1	72.1	(6.4)	<-1.6>	21.8	(-3.5)	<0.8>
性別											
男性	15.6	44.7	20.4	13.3	6.1	60.3	(-3.6)	<-0.2>	33.7	(2.9)	<-2.0>
女性	13.3	47.1	19.4	13.4	6.7	60.4	(-1.7)	<2.7>	32.8	(0.7)	<-4.1>
年齢											
20歳代	14.9	44.4	21.4	13.8	5.5	59.3	(-1.8)	<-2.5>	35.2	(0.5)	<-0.3>
30歳代	10.3	46.6	24.2	15.1	3.8	56.9	(-2.1)	<-3.7>	39.3	(1.8)	<2.4>
40歳代	11.8	47.2	21.2	14.8	4.9	59.0	(-6.0)	<1.1>	36.0	(5.4)	<-3.9>
50歳代	11.8	50.2	21.5	11.3	5.2	62.0	(1.0)	<4.2>	32.8	(-1.2)	<-6.4>
60歳代	15.6	47.8	17.2	12.6	6.8	63.4	(-1.9)	<4.8>	29.8	(0.5)	<-6.4>
70歳以上	18.8	41.4	17.1	13.1	9.7	60.2	(-3.1)	<0.7>	30.2	(1.9)	<-1.4>
主な職業											
農林水産業	22.1	41.2	18.3	11.5	6.9	63.3	(-7.5)	<-2.4>	29.8	(10.2)	<4.0>
自営業・自由業	16.9	47.9	19.5	10.2	5.5	64.8	(-0.7)	<5.3>	29.7	(0.5)	<-7.2>
正規職員	12.5	47.7	21.4	14.3	4.1	60.2	(-3.6)	<-1.6>	35.7	(4.1)	<-0.3>
パート・バイト・派遣	11.8	45.5	21.1	15.6	6.1	57.3	(-2.7)	<2.0>	36.7	(1.0)	<-4.4>
その他の職業	11.4	43.5	23.6	15.0	6.5	54.9	(-3.6)	<-6.3>	38.6	(3.4)	<6.4>
学生	13.3	53.3	21.7	8.3	3.4	66.6	(-2.1)	<5.5>	30.0	(2.5)	<-6.4>
専業主婦・主夫	13.6	50.9	17.0	12.2	6.4	64.5	(-0.3)	<7.4>	29.2	(-0.4)	<-8.6>
無職	17.7	41.8	18.3	12.5	9.7	59.5	(-3.2)	<0.9>	30.8	(0.7)	<-3.4>
配偶関係											
未婚	15.5	43.4	21.7	13.7	5.7	58.9	(-2.4)	<2.5>	35.4	(2.0)	<-4.0>
有配偶	13.9	47.4	20.0	12.6	6.1	61.3	(-2.7)	<0.7>	32.6	(1.5)	<-2.9>
離別・死別	15.4	44.2	16.6	15.8	7.9	59.6	(-0.6)	<5.6>	32.4	(1.2)	<-5.7>
世帯類型											
単独世帯	13.8	43.0	22.5	11.5	9.2	56.8	(-)	<-0.2>	34.0	(-)	<-1.0>
一世帯世帯	14.7	45.3	19.8	13.4	6.6	60.0	(-)	<0.3>	33.2	(-)	<-2.5>
二世帯世帯	13.3	47.0	20.3	13.5	5.9	60.3	(-)	<1.8>	33.8	(-)	<-3.6>
三世帯世帯	16.8	47.9	16.6	13.4	5.1	64.7	(-)	<3.5>	30.0	(-)	<-4.9>
世帯収入											
~100万円未満	11.5	39.7	18.3	15.9	14.6	51.2	(-1.4)	<->	34.2	(-1.5)	<->
~200万円未満	14.4	40.0	18.4	16.5	10.7	54.4	(-7.6)	<->	34.9	(3.6)	<->
~300万円未満	15.9	43.9	20.9	11.0	8.4	59.8	(-2.1)	<->	31.9	(-0.8)	<->
~400万円未満	14.7	49.4	18.6	12.7	4.6	64.1	(-2.7)	<->	31.3	(2.9)	<->
~500万円未満	13.5	49.0	20.4	12.5	4.6	62.5	(2.0)	<->	32.9	(-1.8)	<->
~600万円未満	13.8	49.6	18.3	15.6	2.7	63.4	(-1.0)	<->	33.9	(4.6)	<->
~800万円未満	12.9	47.6	21.5	12.7	5.3	60.5	(-5.5)	<->	34.2	(4.8)	<->
~1,000万円未満	15.4	49.1	20.3	10.6	4.6	64.5	(0.8)	<->	30.9	(-0.9)	<->
1,000万円以上	16.2	48.2	19.9	10.9	4.8	64.4	(-7.9)	<->	30.8	(5.5)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (5) 身近な自然や環境が守られていると感じますか。

(関連の政策分野：環境を守る)

身近な自然や環境を守られているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が47.9%で、『実感していない層』の割合(41.9%)より6.0ポイント高くなっています。

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感していない層』は全体より3.6ポイント高い。
- ・伊賀の『実感している層』は全体より7.2ポイント高い。
- ・男性の『実感していない層』は全体より3.4ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より2.6ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感していない層』は全体より4.4ポイント低い。
- ・専業主婦・主夫の『実感していない層』は全体より4.9ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より5.0ポイント高い。

図表 2-2-10 身近な自然や環境が守られている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント		
全体	9.1	38.8	26.4	15.5	10.1	47.9	(-)	<->	41.9	(-)	<->
地域											
北勢	8.7	37.0	28.2	17.3	8.9	45.7	(-)	<->	45.5	(-)	<->
伊賀	10.0	45.1	21.0	14.7	9.3	55.1	(-)	<->	35.7	(-)	<->
中南勢	7.7	39.3	27.5	14.3	11.1	47.0	(-)	<->	41.8	(-)	<->
伊勢志摩	11.3	39.1	22.8	13.9	12.9	50.4	(-)	<->	36.7	(-)	<->
東紀州	14.3	40.0	24.8	11.7	9.1	54.3	(-)	<->	36.5	(-)	<->
性別											
男性	8.3	37.5	28.1	17.2	8.9	45.8	(-)	<->	45.3	(-)	<->
女性	9.8	40.0	25.4	14.6	10.2	49.8	(-)	<->	40.0	(-)	<->
年齢											
20歳代	10.3	35.0	26.8	16.3	11.7	45.3	(-)	<->	43.1	(-)	<->
30歳代	7.3	39.9	25.4	18.1	9.2	47.2	(-)	<->	43.5	(-)	<->
40歳代	7.6	38.3	28.3	15.4	10.4	45.9	(-)	<->	43.7	(-)	<->
50歳代	6.0	41.3	29.5	15.2	7.9	47.3	(-)	<->	44.7	(-)	<->
60歳代	9.3	39.5	26.5	16.1	8.7	48.8	(-)	<->	42.6	(-)	<->
70歳以上	13.1	38.2	23.5	14.0	11.1	51.3	(-)	<->	37.5	(-)	<->
主な職業											
農林水産業	9.2	35.9	22.1	26.0	6.9	45.1	(-)	<->	48.1	(-)	<->
自営業・自由業	8.7	40.6	25.4	18.0	7.4	49.3	(-)	<->	43.4	(-)	<->
正規職員	6.6	40.0	28.3	17.2	7.9	46.6	(-)	<->	45.5	(-)	<->
パート・バイト・派遣	8.2	38.9	28.3	15.3	9.3	47.1	(-)	<->	43.6	(-)	<->
その他の職業	7.7	36.6	28.0	19.1	8.5	44.3	(-)	<->	47.1	(-)	<->
学生	11.7	35.0	36.7	6.7	10.0	46.7	(-)	<->	43.4	(-)	<->
専業主婦・主夫	10.1	42.0	23.4	13.6	10.9	52.1	(-)	<->	37.0	(-)	<->
無職	12.3	36.1	25.5	13.6	12.6	48.4	(-)	<->	39.1	(-)	<->
配偶関係											
未婚	9.0	33.6	28.6	18.1	10.7	42.6	(-)	<->	46.7	(-)	<->
有配偶	8.8	40.6	26.4	15.2	9.1	49.4	(-)	<->	41.6	(-)	<->
離別・死別	11.1	34.7	26.6	15.5	12.1	45.8	(-)	<->	42.1	(-)	<->
世帯類型											
単独世帯	9.9	35.2	26.5	17.6	10.8	45.1	(-)	<->	44.1	(-)	<->
一世帯世帯	10.2	39.8	26.3	14.4	9.4	50.0	(-)	<->	40.7	(-)	<->
二世帯世帯	8.6	38.8	27.0	15.8	9.8	47.4	(-)	<->	42.8	(-)	<->
三世帯世帯	7.6	41.1	25.5	16.9	8.9	48.7	(-)	<->	42.4	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	12.3	29.4	25.8	14.7	17.8	41.7	(-)	<->	40.5	(-)	<->
~200万円未満	9.4	36.4	24.6	18.2	11.4	45.8	(-)	<->	42.8	(-)	<->
~300万円未満	10.3	37.5	25.9	16.5	9.8	47.8	(-)	<->	42.4	(-)	<->
~400万円未満	10.0	40.9	26.9	14.0	8.3	50.9	(-)	<->	40.9	(-)	<->
~500万円未満	8.0	42.3	27.9	13.5	8.2	50.3	(-)	<->	41.4	(-)	<->
~600万円未満	7.2	41.3	27.5	17.9	6.0	48.5	(-)	<->	45.4	(-)	<->
~800万円未満	7.1	39.5	28.3	15.5	9.6	46.6	(-)	<->	43.8	(-)	<->
~1,000万円未満	8.9	43.7	22.3	14.0	11.1	52.6	(-)	<->	36.3	(-)	<->
1,000万円以上	9.5	43.4	26.6	13.7	6.7	52.9	(-)	<->	40.3	(-)	<->

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

問2 - (6) 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じますか。 (関連の政策分野：人権の尊重と多様性を認め合う社会)

性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が25.8%で、『実感していない層』の割合(55.5%)より29.7ポイント低くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が2番目に低く、『実感していない層』が3番目に高くなっています。

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は全体より6.0ポイント高い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より13.4ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より6.6ポイント高い。
- ・自営業・自由業の『実感していない層』は全体より6.9ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より10.9ポイント高い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より3.5ポイント高い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感していない層』は全体より6.4ポイント高い。

図表 2-2-11 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	3.8	22.0	32.8	22.7	18.7	25.8	(-)	<->	55.5	(-)	<->
地域											
北勢	3.9	21.2	33.6	23.4	17.8	25.1	(-)	<->	57.0	(-)	<->
伊賀	3.5	24.3	33.5	22.0	16.7	27.8	(-)	<->	55.5	(-)	<->
中南勢	3.9	21.6	33.2	21.6	19.8	25.5	(-)	<->	54.8	(-)	<->
伊勢志摩	3.0	22.5	29.4	23.8	21.4	25.5	(-)	<->	53.2	(-)	<->
東紀州	4.8	27.0	31.7	19.6	16.9	31.8	(-)	<->	51.3	(-)	<->
性別											
男性	3.9	22.5	33.4	23.7	16.5	26.4	(-)	<->	57.1	(-)	<->
女性	3.5	21.9	32.8	22.2	19.6	25.4	(-)	<->	55.0	(-)	<->
年齢											
20歳代	4.3	23.0	29.0	26.6	17.1	27.3	(-)	<->	55.6	(-)	<->
30歳代	2.9	20.7	32.0	27.5	17.0	23.6	(-)	<->	59.5	(-)	<->
40歳代	2.9	22.2	33.2	24.2	17.5	25.1	(-)	<->	57.4	(-)	<->
50歳代	2.4	17.3	40.5	28.4	11.4	19.7	(-)	<->	68.9	(-)	<->
60歳代	2.8	23.1	32.7	22.0	19.4	25.9	(-)	<->	54.7	(-)	<->
70歳以上	6.5	25.9	29.6	14.2	23.8	32.4	(-)	<->	43.8	(-)	<->
主な職業											
農林水産業	5.3	28.2	32.8	19.8	13.7	33.5	(-)	<->	52.6	(-)	<->
自営業・自由業	2.8	20.6	36.4	26.0	14.1	23.4	(-)	<->	62.4	(-)	<->
正規職員	3.0	22.3	32.8	27.5	14.5	25.3	(-)	<->	60.3	(-)	<->
パート・アルバイト・派遣	3.2	20.2	38.1	22.6	16.0	23.4	(-)	<->	60.7	(-)	<->
その他の職業	2	22.4	28.9	32.5	15.0	23.6	(-)	<->	61.4	(-)	<->
学生	6.7	30.0	31.7	16.7	15.0	36.7	(-)	<->	48.4	(-)	<->
専業主婦・主夫	2.6	23.7	32.4	18.8	22.6	26.3	(-)	<->	51.2	(-)	<->
無職	6.1	22.2	28.9	18.0	24.8	28.3	(-)	<->	46.9	(-)	<->
配偶関係											
未婚	4.3	20.2	30.1	28.1	17.4	24.5	(-)	<->	58.2	(-)	<->
有配偶	3.5	22.4	34.5	22.2	17.5	25.9	(-)	<->	56.7	(-)	<->
離別・死別	4.4	22.7	30.1	20.9	21.9	27.1	(-)	<->	51.0	(-)	<->
世帯類型											
単独世帯	5.4	20.4	28.6	21.8	23.7	25.8	(-)	<->	50.4	(-)	<->
一世代世帯	4.2	21.6	32.2	21.2	20.9	25.8	(-)	<->	53.4	(-)	<->
二世帯世帯	2.9	22.6	34.4	23.7	16.4	25.5	(-)	<->	58.1	(-)	<->
三世帯世帯	4.4	23.2	34.0	23.1	15.3	27.6	(-)	<->	57.1	(-)	<->
世帯収入											
～100万円未満	6.3	23.0	22.6	22.2	25.7	29.3	(-)	<->	44.8	(-)	<->
～200万円未満	3.6	22.1	27.2	23.8	23.3	25.7	(-)	<->	51.0	(-)	<->
～300万円未満	4.8	21.9	32.0	21.1	20.2	26.7	(-)	<->	53.1	(-)	<->
～400万円未満	3.3	23.7	36.7	20.9	15.3	27.0	(-)	<->	57.6	(-)	<->
～500万円未満	3.4	21.4	36.0	21.6	17.7	24.8	(-)	<->	57.6	(-)	<->
～600万円未満	3.4	23.9	33.5	24.6	14.4	27.3	(-)	<->	58.1	(-)	<->
～800万円未満	2.7	22.3	36.5	22.4	16.0	25.0	(-)	<->	58.9	(-)	<->
～1,000万円未満	2.9	22.9	37.1	23.4	13.7	25.8	(-)	<->	60.5	(-)	<->
1,000万円以上	2.2	20.4	34.7	27.2	15.4	22.6	(-)	<->	61.9	(-)	<->

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

問2 - (7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。

(関連の政策分野：学びの充実)

子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が33.5%で、『実感していない層』の割合(45.0%)より11.5ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合(21.5%)が高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.1ポイント高く、『実感していない層』は0.1ポイント高くなっています。

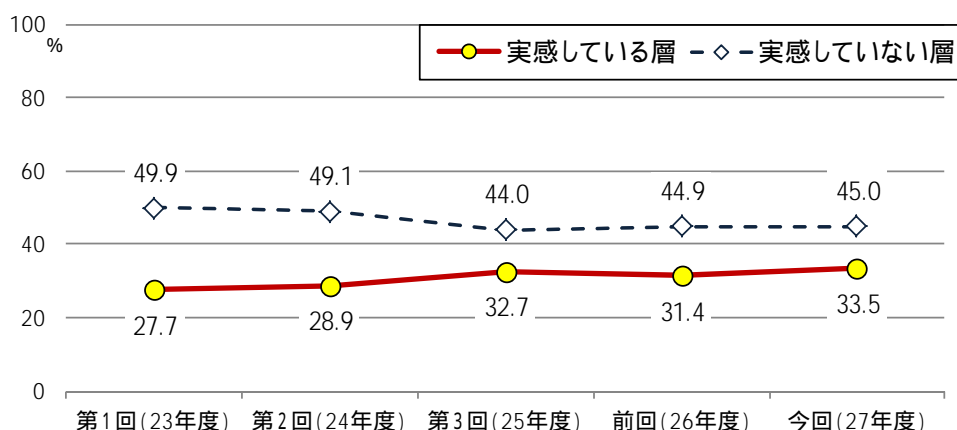
前回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅が2番目に大きくなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が5.8ポイント高く、『実感していない層』は4.9ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感していない層』は全体より4.6ポイント高い。
- ・50歳代の『実感している層』は第1回調査より10.7ポイント高い。
- ・正規職員の『実感している層』は第1回調査より10.0ポイント高い。
- ・専業主婦・主夫の『実感していない層』は全体より8.2ポイント低い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より8.2ポイント低い。

図表 2-2-12 子どものためになる教育が行われている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-13 子どものためになる教育が行われている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回%	(前回差)ポイント	<第1回差>ポイント	今回%	(前回差)ポイント	<第1回差>ポイント	今回%	(前回差)ポイント	<第1回差>ポイント		
全体	4.1	29.4	26.8	18.2	21.5	33.5	(2.1)	<5.8>	45.0	(0.1)	<-4.9>
地域											
北勢	3.7	29.6	26.2	18.4	22.1	33.3	(1.3)	<5.5>	44.6	(-1.3)	<-6.1>
伊賀	3.9	31.8	27.5	18.8	18.1	35.7	(9.8)	<9.3>	46.3	(-1.0)	<-1.7>
中南勢	4.2	29.5	28.1	17.9	20.4	33.7	(-0.6)	<4.6>	46.0	(3.9)	<-3.1>
伊勢志摩	5.7	28.2	24.8	17.3	23.9	33.9	(4.1)	<7.7>	42.1	(-2.4)	<-8.9>
東紀州	4.3	25.7	30.0	19.6	20.4	30.0	(6.4)	<5.4>	49.6	(1.1)	<2.7>
性別											
男性	3.7	28.3	28.7	20.0	19.4	32.0	(1.5)	<5.3>	48.7	(-)	<-5.8>
女性	4.3	30.6	25.6	17.1	22.3	34.9	(2.8)	<6.4>	42.7	(0.6)	<-3.4>
年齢											
20歳代	5.4	23.6	26.3	20.9	23.9	29.0	(3.6)	<3.3>	47.2	(-1.9)	<-1.3>
30歳代	2.2	30.4	28.3	19.1	20.0	32.6	(0.4)	<2.1>	47.4	(-1.0)	<-2.9>
40歳代	3.4	33.2	26.7	19.8	16.9	36.6	(0.9)	<6.0>	46.5	(0.5)	<-8.6>
50歳代	2.5	29.7	31.4	20.4	16.1	32.2	(3.5)	<10.7>	51.8	(-0.2)	<-8.1>
60歳代	3.0	29.0	27.5	18.5	21.9	32.0	(3.3)	<7.9>	46.0	(-0.3)	<-5.0>
70歳以上	7.5	30.1	22.6	13.4	26.4	37.6	(2.6)	<3.8>	36.0	(1.3)	<-2.0>
主な職業											
農林水産業	6.1	29.8	23.7	24.4	16.0	35.9	(-8.1)	<-4.0>	48.1	(17.8)	<7.7>
自営業・自由業	3.5	26.5	27.1	23.0	19.9	30.0	(-0.1)	<1.0>	50.1	(-1.6)	<-2.6>
正規職員	3.2	31.0	28.0	20.2	17.7	34.2	(3.8)	<10.0>	48.2	(-2.0)	<-10.0>
パート・バイト・派遣	3.3	27.9	30.4	20.2	18.2	31.2	(-1.0)	<4.5>	50.6	(3.5)	<-2.7>
その他の職業		27.6	30.1	22.0	19.1	28.8	(3.2)	<5.7>	52.1	(1.2)	<1.5>
学生	8.3	28.3	30.0	18.3	15.0	36.6	(6.6)	<4.1>	48.3	(-4.2)	<-2.4>
専業主婦・主夫	3.5	36.0	25.6	11.2	23.5	39.5	(4.7)	<8.4>	36.8	(-3.0)	<-6.2>
無職	6.4	27.3	22.9	16.0	27.4	33.7	(3.9)	<5.6>	38.9	(0.1)	<-4.6>
配偶関係											
未婚	3.8	21.5	25.1	21.1	28.5	25.3	(5.2)	<5.0>	46.2	(-1.8)	<-6.5>
有配偶	3.8	31.5	28.2	17.8	18.8	35.3	(1.6)	<5.9>	46.0	(0.1)	<-4.5>
離別・死別	4.4	27.6	22.3	18.2	27.4	32.0	(1.2)	<6.6>	40.5	(1.8)	<-5.0>
世帯類型											
単独世帯	4.2	23.5	21.6	21.8	28.9	27.7	(-)	<5.8>	43.4	(-)	<-3.4>
一世代世帯	4.2	27.9	27.6	15.6	24.7	32.1	(-)	<7.8>	43.2	(-)	<-7.3>
二世代世帯	3.8	31.4	27.2	18.9	18.7	35.2	(-)	<6.5>	46.1	(-)	<-5.5>
三世代世帯	4.3	32.8	28.7	19.5	14.7	37.1	(-)	<1.3>	48.2	(-)	<1.5>
世帯収入											
~100万円未満	6.7	21.8	23.4	21.0	26.9	28.5	(5.0)	<>	44.4	(6.4)	<>
~200万円未満	4.1	27.0	24.0	17.6	27.2	31.1	(5.0)	<>	41.6	(-2.4)	<>
~300万円未満	4.6	27.8	28.7	16.1	22.7	32.4	(2.7)	<>	44.8	(0.7)	<>
~400万円未満	3.5	29.2	30.6	15.5	21.2	32.7	(0.6)	<>	46.1	(1.5)	<>
~500万円未満	4.5	30.5	27.1	17.6	20.3	35.0	(2.6)	<>	44.7	(-5.8)	<>
~600万円未満	2.4	31.3	30.4	17.6	18.3	33.7	(-0.7)	<>	48.0	(2.2)	<>
~800万円未満	3.8	33.5	27.4	21.1	14.3	37.3	(2.7)	<>	48.5	(1.7)	<>
~1,000万円未満	3.4	32.9	28.6	18.3	16.8	36.3	(0.9)	<>	46.9	(-1.5)	<>
1,000万円以上	4.5	32.8	21.8	22.4	18.5	37.3	(-0.4)	<>	44.2	(-4.5)	<>

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (8) 結婚・妊娠・子育てなどの希望がない、子どもが豊かに育っていると感じますか。
(関連の政策分野：希望がかなう少子化対策の推進)

結婚・妊娠・子育てなどの希望がない、子どもが豊かに育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が43.3%で、『実感していない層』の割合(39.5%)より3.8ポイント高くなっています。

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・男性の『実感している層』は全体より3.9ポイント低く、女性の『実感している層』は全体より3.1ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より11.3ポイント低い。
- ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より11.2ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より24.0ポイント低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より5.6ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より6.0ポイント高い。

図表 2-2-14 結婚・妊娠・子育てなどの希望がない、子どもが豊かに育っている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	9.3	34.0	23.6	15.9	17.2	43.3	(-)	<->	39.5	(-)	<->
地域											
北勢	9.9	35.2	22.9	15.8	16.1	45.1	(-)	<->	38.7	(-)	<->
伊賀	8.8	31.6	25.3	18.6	15.6	40.4	(-)	<->	43.9	(-)	<->
中南勢	8.1	34.7	24.2	14.7	18.3	42.8	(-)	<->	38.9	(-)	<->
伊勢志摩	11.0	30.1	22.1	17.2	19.6	41.1	(-)	<->	39.3	(-)	<->
東紀州	6.5	33.9	27.0	15.2	17.4	40.4	(-)	<->	42.2	(-)	<->
性別											
男性	7.9	31.5	25.7	17.4	17.4	39.4	(-)	<->	43.1	(-)	<->
女性	10.2	36.2	22.0	15.0	16.6	46.4	(-)	<->	37.0	(-)	<->
年齢											
20歳代	4.6	27.4	21.7	19.0	27.4	32.0	(-)	<->	40.7	(-)	<->
30歳代	12.9	36.9	17.6	18.0	14.7	49.8	(-)	<->	35.6	(-)	<->
40歳代	10.9	38.1	20.8	15.4	14.9	49.0	(-)	<->	36.2	(-)	<->
50歳代	8.5	32.1	29.0	18.3	12.1	40.6	(-)	<->	47.3	(-)	<->
60歳代	6.9	34.1	26.4	16.8	15.8	41.0	(-)	<->	43.2	(-)	<->
70歳以上	10.8	34.4	22.2	11.6	21.1	45.2	(-)	<->	33.8	(-)	<->
主な職業											
農林水産業	9.9	35.9	26.0	16.8	11.5	45.8	(-)	<->	42.8	(-)	<->
自営業・自由業	10.6	33.0	23.0	18.4	15.0	43.6	(-)	<->	41.4	(-)	<->
正規職員	8.2	33.4	24.3	18.7	15.5	41.6	(-)	<->	43.0	(-)	<->
パート・アルバイト・派遣	7.6	35.9	25.0	17.5	14.0	43.5	(-)	<->	42.5	(-)	<->
その他の職業	7.7	32.5	25.2	18.7	15.8	40.2	(-)	<->	43.9	(-)	<->
学生	17.7	41.7	23.3	11.7	21.7	43.4	(-)	<->	35.0	(-)	<->
専業主婦・主夫	13.1	41.4	20.8	10.5	14.3	54.5	(-)	<->	31.3	(-)	<->
無職	9.1	29.0	23.3	14.2	24.4	38.1	(-)	<->	37.5	(-)	<->
配偶関係											
未婚	21.7	17.2	24.9	24.9	30.8	19.3	(-)	<->	49.8	(-)	<->
有配偶	10.5	38.0	24.1	14.1	13.3	48.5	(-)	<->	38.2	(-)	<->
離別・死別	9.2	31.2	22.3	16.3	20.9	40.4	(-)	<->	38.6	(-)	<->
世帯類型											
単独世帯	5.9	20.7	24.9	20.7	28.0	26.6	(-)	<->	45.6	(-)	<->
一世帯世帯	8.6	36.4	23.7	13.9	17.4	45.0	(-)	<->	37.6	(-)	<->
二世帯世帯	10.3	35.0	23.2	16.9	14.7	45.3	(-)	<->	40.1	(-)	<->
三世帯世帯	9.5	37.1	24.4	14.5	14.6	46.6	(-)	<->	38.9	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	9.9	27.8	21.8	15.9	24.6	37.7	(-)	<->	37.7	(-)	<->
~200万円未満	8.1	30.0	22.1	17.1	22.7	38.1	(-)	<->	39.2	(-)	<->
~300万円未満	8.1	29.5	26.3	17.7	18.4	37.6	(-)	<->	44.0	(-)	<->
~400万円未満	7.2	36.7	24.4	15.8	15.9	43.9	(-)	<->	40.2	(-)	<->
~500万円未満	10.1	35.3	25.0	13.4	16.3	45.4	(-)	<->	38.4	(-)	<->
~600万円未満	12.3	35.5	25.7	15.4	11.1	47.8	(-)	<->	41.1	(-)	<->
~800万円未満	9.5	39.2	23.2	15.9	12.1	48.7	(-)	<->	39.1	(-)	<->
~1,000万円未満	8.0	39.7	25.7	16.3	10.2	47.7	(-)	<->	42.0	(-)	<->
1,000万円以上	12.6	36.7	20.4	16.5	13.7	49.3	(-)	<->	36.9	(-)	<->

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

問2 - (9) スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じますか。
(関連の政策分野：スポーツの推進)

スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が41.3%で、『実感していない層』の割合(41.6%)より0.3ポイント低くなっています。

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感していない層』は全体より7.9ポイント高い。
- ・30歳代の『実感していない層』は全体より4.9ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感していない層』は全体より9.0ポイント低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より8.7ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より5.1ポイント低い。
- ・世帯収入が800万円以上1,000万円未満の層の『実感している層』は全体より9.0ポイント高い。

図表 2-2-15 スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている(属性別)

						実感している層			実感していない層		
<input type="checkbox"/> 感じる <input type="checkbox"/> どちらかといえば感じる <input type="checkbox"/> どちらかといえば感じない <input type="checkbox"/> 感じない <input type="checkbox"/> わからない・不明						今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	6.3	35.0	28.4	13.2	17.1	41.3	(-)	<->	41.6	(-)	<->
地域											
北勢	6.8	36.8	26.6	12.6	17.0	43.6	(-)	<->	39.2	(-)	<->
伊賀	5.5	34.5	33.3	13.3	13.3	40.0	(-)	<->	46.6	(-)	<->
中南勢	5.1	33.6	30.5	12.7	18.3	38.7	(-)	<->	43.2	(-)	<->
伊勢志摩	7.2	33.7	27.2	13.2	18.8	40.9	(-)	<->	40.4	(-)	<->
東紀州	7.4	30.0	26.5	23.0	13.1	37.4	(-)	<->	49.5	(-)	<->
性別											
男性	6.4	35.3	29.7	15.1	13.5	41.7	(-)	<->	44.8	(-)	<->
女性	6.3	34.9	27.4	12.1	19.2	41.2	(-)	<->	39.5	(-)	<->
年齢											
20歳代	8.1	33.9	24.1	14.6	19.3	42.0	(-)	<->	38.7	(-)	<->
30歳代	5.4	31.8	31.6	14.9	16.2	37.2	(-)	<->	46.5	(-)	<->
40歳代	5.2	36.2	29.5	14.9	14.1	41.4	(-)	<->	44.4	(-)	<->
50歳代	4.7	33.0	32.8	15.5	14.1	37.7	(-)	<->	48.3	(-)	<->
60歳代	5.9	35.7	29.2	12.7	16.5	41.6	(-)	<->	41.9	(-)	<->
70歳以上	8.9	37.8	22.9	9.7	20.7	46.7	(-)	<->	32.6	(-)	<->
主な職業											
農林水産業	10.7	29.8	30.5	13.7	15.2	40.5	(-)	<->	44.2	(-)	<->
自営業・自由業	6.7	36.9	25.6	16.5	14.3	43.6	(-)	<->	42.1	(-)	<->
正規職員	4.7	35.7	30.8	15.6	13.2	40.4	(-)	<->	46.4	(-)	<->
パート・アルバイト・派遣	5.5	33.2	30.9	14.4	16.1	38.7	(-)	<->	45.3	(-)	<->
その他の職業	6.9	28.0	33.3	15.0	16.7	34.9	(-)	<->	48.3	(-)	<->
学生	11.7	38.3	26.7	10.0	13.4	50.0	(-)	<->	36.7	(-)	<->
専業主婦・主夫	7.0	39.4	26.5	8.8	18.4	46.4	(-)	<->	35.3	(-)	<->
無職	7.3	34.4	25.0	11.8	21.5	41.7	(-)	<->	36.8	(-)	<->
配偶関係											
未婚	6.0	30.2	27.4	18.1	18.4	36.2	(-)	<->	45.5	(-)	<->
有配偶	6.4	36.2	29.8	12.3	15.3	42.6	(-)	<->	42.1	(-)	<->
離別・死別	5.2	33.9	24.6	14.1	22.2	39.1	(-)	<->	38.7	(-)	<->
世帯類型											
単独世帯	5.2	33.3	22.8	17.6	21.2	38.5	(-)	<->	40.4	(-)	<->
一世代世帯	7.4	35.5	27.7	11.8	17.7	42.9	(-)	<->	39.5	(-)	<->
二世帯世帯	5.6	35.1	30.3	13.3	15.7	40.7	(-)	<->	43.6	(-)	<->
三世帯世帯	6.9	36.0	27.8	14.8	14.5	42.9	(-)	<->	42.6	(-)	<->
世帯収入											
~100万円未満	6.7	30.6	19.8	18.3	24.6	37.3	(-)	<->	38.1	(-)	<->
~200万円未満	5.3	30.4	26.6	12.8	25.0	35.7	(-)	<->	39.4	(-)	<->
~300万円未満	7.5	33.1	28.5	12.9	18.1	40.6	(-)	<->	41.4	(-)	<->
~400万円未満	6.1	36.8	29.5	12.7	14.8	42.9	(-)	<->	42.2	(-)	<->
~500万円未満	6.0	35.3	32.9	10.3	15.5	41.3	(-)	<->	43.2	(-)	<->
~600万円未満	5.1	35.3	29.9	16.7	13.0	40.4	(-)	<->	46.6	(-)	<->
~800万円未満	5.5	38.6	30.8	13.9	11.2	44.1	(-)	<->	44.7	(-)	<->
~1,000万円未満	7.7	42.6	27.7	9.7	12.2	50.3	(-)	<->	37.4	(-)	<->
1,000万円以上	7.8	37.0	28.0	14.3	12.9	44.8	(-)	<->	42.3	(-)	<->

今回調査において設問を変更したため、前回調査及び第1回調査との比較は行っていません。

問2 - (10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。
 (関連の政策分野：地域の活力の向上)

自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が73.1%で、『実感していない層』の割合(18.6%)より54.5ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が2番目に高く、『実感していない層』が2番目に低くなっています。

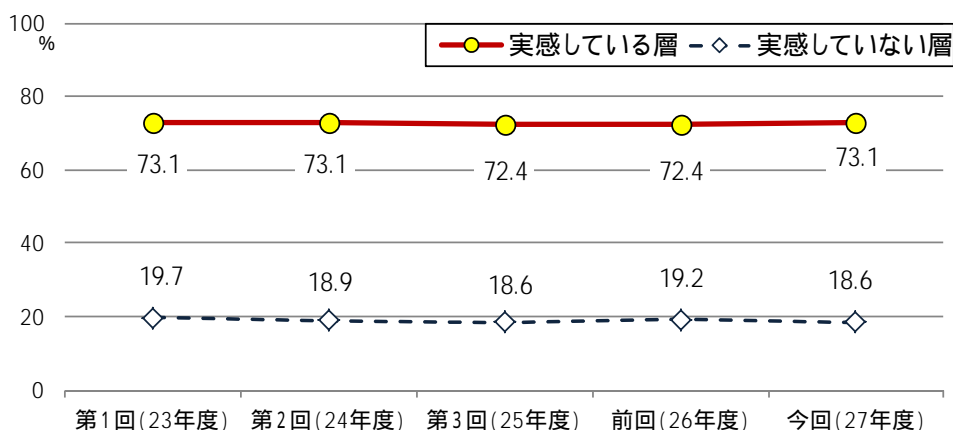
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント高く、『実感していない層』は0.6ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が同率で、『実感していない層』は1.1ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感していない層』は全体より6.9ポイント高い。
- ・伊勢志摩の『実感していない層』は前回調査より4.0ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より5.5ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より5.2ポイント高い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より6.1ポイント高い。

図表2-2-16 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-17 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	34.3	38.8	10.9	7.7	8.3	73.1	(0.7)	<0.0>	18.6	(-0.6)	<-1.1>
地域											
北勢	34.3	40.4	10.4	7.7	7.2	74.7	(1.5)	<0.6>	18.1	(-2.1)	<-1.8>
伊賀	28.4	39.4	14.1	11.4	6.7	67.8	(1.5)	<0.3>	25.5	(2.2)	<0.8>
中南勢	33.1	39.7	11.2	6.8	9.1	72.8	(-2.0)	<-0.4>	18.0	(2.1)	<-1.0>
伊勢志摩	41.3	32.7	9.0	6.9	10.1	74.0	(3.8)	<0.4>	15.9	(-4.0)	<-1.8>
東紀州	34.3	33.9	12.6	8.3	10.9	68.2	(-1.3)	<-5.0>	20.9	(1.2)	<2.1>
性別											
男性	35.0	40.0	10.8	7.7	6.4	75.0	(1.8)	<-1.0>	18.5	(-0.7)	<0.6>
女性	33.7	38.4	11.0	8.0	8.9	72.1	(-0.1)	<1.3>	19.0	(-0.5)	<-2.5>
年齢											
20歳代	32.0	37.9	11.1	10.3	8.6	69.9	(1.0)	<-3.8>	21.4	(-1.8)	<3.9>
30歳代	32.1	42.0	9.4	8.1	8.4	74.1	(3.3)	<4.3>	17.5	(-3.0)	<-5.2>
40歳代	31.5	37.5	11.5	10.0	9.5	69.0	(1.9)	<0.2>	21.5	(-2.2)	<-2.6>
50歳代	29.0	40.8	14.0	9.0	7.2	69.8	(-0.2)	<-0.5>	23.0	(1.0)	<1.2>
60歳代	33.8	41.4	11.2	6.4	7.2	75.2	(0.3)	<-0.3>	17.6	(-1.0)	<-1.8>
70歳以上	43.0	35.6	8.6	5.7	7.1	78.6	(0.5)	<0.1>	14.3	(1.0)	<-0.3>
主な職業											
農林水産業	45.0	32.1	10.7	6.1	6.1	77.1	(-2.7)	<-8.4>	16.8	(5.4)	<6.4>
自営業・自由業	42.5	34.1	10.4	6.9	6.1	76.6	(-1.3)	<-0.2>	17.3	(1.1)	<-0.2>
正規職員	32.3	41.8	11.8	7.3	6.8	74.1	(0.8)	<0.5>	19.1	(-0.1)	<-0.5>
パート・アルバイト・派遣	28.5	40.2	12.1	10.1	9.0	68.7	(1.2)	<-0.5>	22.2	(-2.1)	<-2.2>
その他の職業	34.6	40.7	11.4	7.7	5.7	75.3	(8.8)	<-0.4>	19.1	(-4.2)	<2.7>
学生	43.3	35.0	6.7	5.0	10.0	78.3	(5.8)	<9.4>	11.7	(-4.6)	<-9.1>
専業主婦・主夫	34.7	39.6	10.1	7.2	8.5	74.3	(1.3)	<4.8>	17.3	(-1.6)	<-4.8>
無職	36.0	37.5	10.0	7.7	8.9	73.5	(-0.3)	<-1.4>	17.7	(0.3)	<-0.5>
配偶関係											
未婚	33.3	38.0	10.7	10.1	7.8	71.3	(3.5)	<-1.3>	20.8	(-2.4)	<1.7>
有配偶	34.0	40.4	11.0	7.3	7.3	74.4	(0.4)	<0.6>	18.3	(-0.4)	<-1.7>
離別・死別	37.9	33.1	11.4	7.4	10.1	71.0	(0.3)	<-1.8>	18.8	(0.3)	<-0.6>
世帯類型											
単独世帯	31.5	33.8	15.0	11.0	8.7	65.3	(-)	<-3.1>	26.0	(-)	<2.3>
一世代世帯	32.6	41.6	11.1	6.9	7.7	74.2	(-)	<0.8>	18.0	(-)	<-2.7>
二世帯世帯	34.0	40.1	10.4	7.8	7.8	74.1	(-)	<1.8>	18.2	(-)	<-2.2>
三世帯世帯	41.4	34.5	9.3	7.8	7.0	75.9	(-)	<-4.1>	17.1	(-)	<3.5>
世帯収入											
~100万円未満	31.3	31.0	12.7	11.9	13.1	62.3	(1.2)	<->	24.6	(0.2)	<->
~200万円未満	33.4	37.0	10.5	9.6	9.5	70.4	(-0.1)	<->	20.1	(-1.3)	<->
~300万円未満	35.7	38.5	11.3	7.1	7.3	74.2	(1.7)	<->	18.4	(-0.6)	<->
~400万円未満	33.9	39.3	12.3	7.1	7.4	73.2	(-1.5)	<->	19.4	(0.6)	<->
~500万円未満	32.4	44.5	8.9	6.2	8.1	76.9	(4.9)	<->	15.1	(-6.7)	<->
~600万円未満	33.7	39.3	12.1	8.2	6.7	73.0	(0.8)	<->	20.3	(2.6)	<->
~800万円未満	32.9	40.2	11.4	8.6	7.0	73.1	(-0.5)	<->	20.0	(0.7)	<->
~1,000万円未満	38.0	38.0	10.3	6.6	7.1	76.0	(2.1)	<->	16.9	(-1.7)	<->
1,000万円以上	36.1	43.1	9.2	4.5	7.0	79.2	(-0.3)	<->	13.7	(-2.5)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (11) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。

(関連の政策分野：農林水産業)

三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が85.5%で、『実感していない層』の割合(8.0%)より77.5ポイント高くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が最も高く、『実感していない層』が最も低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.0ポイント高く、『実感していない層』は0.8ポイント低くなっています。

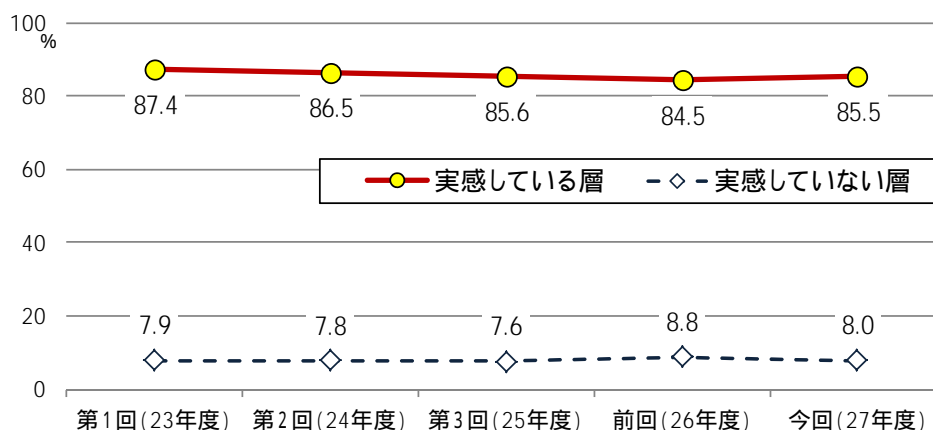
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.9ポイント低く、『実感していない層』が0.1ポイント高くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅と『実感していない層』の増加幅が2番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より8.8ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より7.7ポイント低く、第1回調査より9.8ポイント低い。
- ・学生の『実感していない層』は前回調査より12.9ポイント低い。
- ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より4.9ポイント高く、前回調査より2.4ポイント高い。

図表 2-2-18 三重県産の農林水産物を買いたい(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-19 三重県産の農林水産物を買いたい(属性別)

	感じる					実感している層					実感していない層				
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント				
全体	46.7	38.8	5.0	3.1	6.5	85.5	(1.0)	<-1.9>	8.0	(-0.8)	<-0.1>				
地域															
北勢	43.1	41.3	6.6	3.5	5.5	84.4	(-0.2)	<-2.6>	10.1	(0.0)	<-0.9>				
伊賀	42.7	41.0	4.3	4.5	7.5	83.7	(2.0)	<-3.4>	8.8	(-1.2)	<-0.8>				
中南勢	49.7	38.2	3.5		6.6	87.9	(1.9)	<0.8>	5.6	(-1.4)	<-1.6>				
伊勢志摩	52.7	32.7	3.7		9.2	85.4	(0.3)	<-3.8>	5.4	(-2.1)	<-0.6>				
東紀州	55.2	31.3	3.5	3.5	6.5	86.5	(8.8)	<-0.6>	7.0	(-3.3)	<-0.3>				
性別															
男性	39.9	43.3	6.7	4.0	6.1	83.2	(0.4)	<-2.5>	10.7	(-0.5)	<-0.8>				
女性	52.1	35.5	3.9		6.4	87.6	(1.0)	<-1.7>	6.0	(-1.1)	<-0.1>				
年齢															
20歳代	40.7	37.1	7.3	4.6	10.3	77.8	(-2.5)	<-9.8>	11.9	(-0.6)	<4.7>				
30歳代	45.6	40.2	6.0	3.5	4.6	85.8	(-0.3)	<-2.6>	9.5	(0.5)	<1.4>				
40歳代	48.2	39.6	4.1		5.6	87.8	(0.5)	<-1.1>	6.6	(-0.1)	<-0.6>				
50歳代	48.2	39.7	4.9		4.6	87.9	(3.7)	<-1.3>	7.4	(-3.5)	<-0.8>				
60歳代	45.4	41.4	4.6	3.4	5.6	86.8	(0.6)	<-0.8>	7.6	(-0.8)	<-1.0>				
70歳以上	49.6	35.2	5.1		8.1	84.8	(1.6)	<0.2>	7.0	(-1.4)	<-0.6>				
主な職業															
農林水産業	50.4	37.4	5.3		5.3	87.8	(4.4)	<-4.7>	6.8	(-1.6)	<3.5>				
自営業・自由業	52.9	37.5	4.1		3.1	90.4	(4.3)	<2.7>	6.5	(-0.7)	<-1.2>				
正規職員	44.1	40.8	6.0	3.6	5.6	84.9	(0.0)	<-3.6>	9.6	(0.0)	<1.4>				
パート・バイト・派遣	44.8	42.1	4.8		6.0	86.9	(1.3)	<-1.6>	7.2	(-1.9)	<-0.5>				
その他の職業	41.9	41.1	6.5	5.3	5.3	83.0	(-2.0)	<3.4>	11.8	(4.1)	<1.3>				
学生	45.0	38.3	3.3		13.4	83.3	(8.3)	<-7.7>	3.3	(-12.9)	<-0.6>				
専業主婦・主夫	56.3	34.1	3.3		4.9	90.4	(2.4)	<-0.2>	4.8	(-2.4)	<-1.2>				
無職	43.8	37.5	5.6	3.6	9.5	81.3	(-0.5)	<-2.6>	9.2	(-0.5)	<-0.4>				
配偶関係															
未婚	41.9	39.9	5.6	5.3	7.4	81.8	(-0.8)	<-3.4>	10.9	(0.4)	<1.6>				
有配偶	47.6	39.6	4.8		5.4	87.2	(1.0)	<-1.8>	7.4	(-1.1)	<-0.1>				
離別・死別	48.2	34.5	5.9	3.2	8.3	82.7	(1.7)	<-0.5>	9.1	(-0.6)	<-1.2>				
世帯類型															
単独世帯	44.4	35.7	7.5	4.2	8.2	80.1	(-)	<0.1>	11.7	(-)	<-0.6>				
一世帯世帯	45.7	40.2	5.1		6.4	85.9	(-)	<-2.0>	7.7	(-)	<-0.0>				
二世帯世帯	47.9	38.9	4.6	2.9	5.7	86.8	(-)	<-1.6>	7.5	(-)	<-0.1>				
三世帯世帯	49.8	37.6	4.6	2.7	5.3	87.4	(-)	<-1.9>	7.3	(-)	<-0.0>				
世帯収入															
~100万円未満	42.1	36.9	5.2	4.0	11.9	79.0	(3.9)	<->	9.2	(-1.1)	<->				
~200万円未満	47.8	35.3	6.0	3.4	7.5	83.1	(1.0)	<->	9.4	(-1.5)	<->				
~300万円未満	43.8	39.9	6.1	3.4	6.8	83.7	(0.6)	<->	9.5	(-1.5)	<->				
~400万円未満	47.8	39.5	5.0	3.3	4.5	87.3	(0.5)	<->	8.3	(0.8)	<->				
~500万円未満	47.1	39.7	5.1	2.9	5.2	86.8	(0.0)	<->	8.0	(-0.6)	<->				
~600万円未満	48.0	40.0	4.7	3.4	3.8	88.0	(-0.4)	<->	8.1	(1.1)	<->				
~800万円未満	45.3	42.6	5.2		5.1	87.9	(-0.3)	<->	7.0	(-1.0)	<->				
~1,000万円未満	48.9	39.7	3.7		5.7	88.6	(1.9)	<->	5.7	(-2.6)	<->				
1,000万円以上	51.0	38.9	3.6		5.0	89.9	(1.2)	<->	5.0	(-3.2)	<->				

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (12) 県内の産業活動が活発であると感じますか。

(関連の政策分野：強じんて多様な産業)

県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 33.9%で、『実感していない層』の割合(45.1%)より 11.2 ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 1.5 ポイント高く、『実感していない層』は 2.8 ポイント低くなっています。

前回調査との比較が可能な問2の 11 項目の中では、『実感している層』の増加幅が 3 番目に大きく、『実感していない層』の減少幅が 2 番目に大きくなっています。

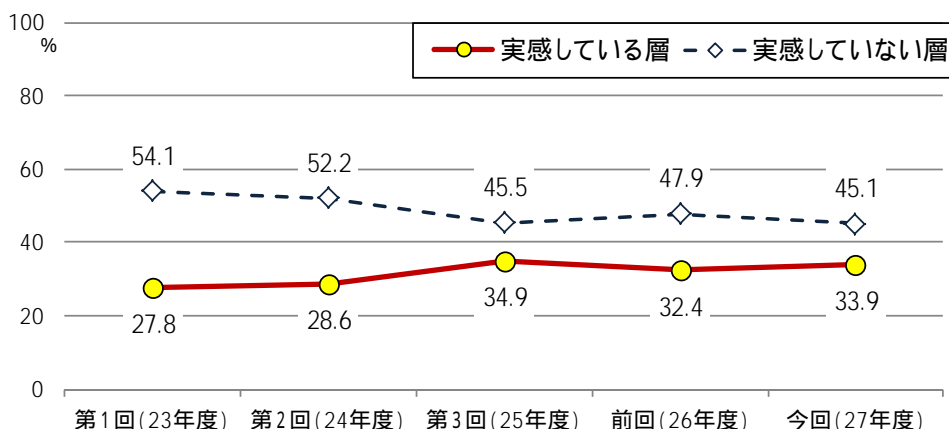
第 1 回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 6.1 ポイント高く、『実感していない層』は 9.0 ポイント低くなっています。

第 1 回調査との比較が可能な問2の 11 項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ 3 番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は全体より 4.3 ポイント、第 1 回調査より 7.0 ポイントそれぞれ高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より 7.8 ポイント低いが、前回調査より 6.8 ポイント高い。
- ・女性は男性より『実感していない層』が 10.4 ポイント低く、「わからない・不明」が 9.7 ポイント高い。
- ・50 歳代の『実感していない層』は全体より 5.9 ポイント高い。
- ・自営業・自由業の『実感している層』は第 1 回調査より 11.0 ポイント高い。
- ・学生の『実感していない層』は全体より 10.1 ポイント低い。

図表 2-2-20 県内の産業活動が活発である(第 1 回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第 2 位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第 2 位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-21 県内の産業活動が活発である(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	4.9	29.0	32.8	12.3	20.9	33.9	(1.5)	<6.1>	45.1	(-2.8)	<-9.0>
地域											
北勢	5.8	32.4	31.4	10.0	20.4	38.2	(1.1)	<7.0>	41.4	(-2.2)	<-10.3>
伊賀	3.5	28.6	34.1	10.8	23.0	32.1	(5.9)	<10.2>	44.9	(-8.0)	<-10.8>
中南勢	4.5	26.8	35.3	13.4	20.0	31.3	(-0.4)	<3.9>	48.7	(0.9)	<-4.9>
伊勢志摩	5.0	23.9	31.4	16.9	22.7	28.9	(1.7)	<6.7>	48.3	(-5.7)	<-12.0>
東紀州	3	24.8	33.5	18.7	21.8	26.1	(6.8)	<1.6>	52.2	(-7.4)	<-7.7>
性別											
男性	4.7	29.1	36.1	15.1	15.0	33.8	(1.8)	<8.5>	51.2	(-2.2)	<-11.0>
女性	5.0	29.4	30.6	10.2	24.7	34.4	(1.4)	<4.2>	40.8	(-3.1)	<-6.4>
年齢											
20歳代	7.3	28.2	27.9	11.9	24.7	35.5	(0.6)	<4.5>	39.8	(-5.9)	<-9.0>
30歳代	7.5	30.2	29.6	13.5	19.2	37.7	(7.3)	<8.8>	43.1	(-10.0)	<-13.5>
40歳代	5.0	32.7	32.1	12.1	18.0	37.7	(4.0)	<10.7>	44.2	(-4.0)	<-14.7>
50歳代	3.2	30.1	38.1	12.9	15.7	33.3	(4.1)	<7.2>	51.0	(-3.5)	<-8.7>
60歳代	4.4	26.6	35.7	12.5	20.8	31.0	(-1.5)	<5.4>	48.2	(-0.6)	<-7.5>
70歳以上	4.6	29.1	29.9	11.0	25.5	33.7	(-1.0)	<2.8>	40.9	(0.2)	<-4.6>
主な職業											
農林水産業	4.6	33.6	27.5	18.3	16.0	38.2	(2.4)	<4.4>	45.8	(-0.6)	<-5.4>
自営業・自由業	5.0	31.0	34.3	14.8	15.0	36.0	(2.5)	<11.0>	49.1	(-1.2)	<-11.6>
正規職員	4.6	31.1	35.8	13.9	14.6	35.7	(1.6)	<9.4>	49.7	(-2.7)	<-12.1>
パート・アルバイト・派遣	4.7	30.8	32.9	11.4	20.2	35.5	(5.4)	<5.4>	44.3	(-6.3)	<-8.9>
その他の職業	5.7	29.3	31.7	15.0	18.3	35.0	(8.4)	<10.0>	46.7	(-5.2)	<-7.9>
学生	6.7	33.3	28.3	6.7	25.0	40.0	(1.3)	<4.9>	35.0	(-7.6)	<-18.3>
専業主婦・主夫	5.5	29.5	31.1	8.1	25.8	35.0	(0.3)	<3.3>	39.2	(-3.1)	<-6.2>
無職	4.7	24.4	31.6	12.5	26.8	29.1	(-2.2)	<3.2>	44.1	(-0.3)	<-5.6>
配偶関係											
未婚	6.6	25.6	31.6	15.1	21.1	32.2	(4.9)	<5.2>	46.7	(-6.5)	<-9.5>
有配偶	4.6	30.4	34.2	11.6	19.3	35.0	(0.9)	<6.6>	45.8	(-2.6)	<-9.1>
離別・死別	5.2	26.9	29.2	13.6	25.1	32.1	(1.5)	<6.4>	42.8	(0.2)	<-6.2>
世帯類型											
単独世帯	6.8	23.5	28.9	16.9	24.0	30.3	(-)	<4.4>	45.8	(-)	<-6.2>
一世代世帯	3.9	28.2	33.3	11.6	23.0	32.1	(-)	<5.1>	44.9	(-)	<-10.9>
二世帯世帯	5.3	30.8	32.8	12.5	18.7	36.1	(-)	<8.7>	45.3	(-)	<-9.5>
三世帯世帯	5.0	31.5	34.0	11.3	18.2	36.5	(-)	<3.3>	45.3	(-)	<-6.2>
世帯収入											
~100万円未満	6.3	25.8	25.8	13.1	28.9	32.1	(9.1)	<->	38.9	(-3.4)	<->
~200万円未満	5.4	26.3	27.2	14.1	27.0	31.7	(1.9)	<->	41.3	(-5.6)	<->
~300万円未満	4.5	25.8	33.8	15.5	20.5	30.3	(0.0)	<->	49.3	(-0.1)	<->
~400万円未満	3.9	32.0	34.3	11.6	18.2	35.9	(4.0)	<->	45.9	(-4.5)	<->
~500万円未満	6.7	29.5	33.9	10.6	19.3	36.2	(1.7)	<->	44.5	(-4.8)	<->
~600万円未満	4.5	34.4	32.8	12.5	15.8	38.9	(2.0)	<->	45.3	(-2.1)	<->
~800万円未満	4.8	28.6	38.0	12.3	16.2	33.4	(-2.4)	<->	50.3	(0.8)	<->
~1,000万円未満	3.4	35.4	34.6	8.6	18.0	38.8	(5.0)	<->	43.2	(-9.2)	<->
1,000万円以上	4.8	34.2	32.8	11.8	16.5	39.0	(0.0)	<->	44.6	(-4.7)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (13) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。

(関連の政策分野：世界に開かれた三重)

国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が33.5%で、『実感していない層』の割合(47.0%)より13.5ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が5.2ポイント高く、『実感していない層』は5.1ポイント低くなっています。

前回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ最も大きくなっています。

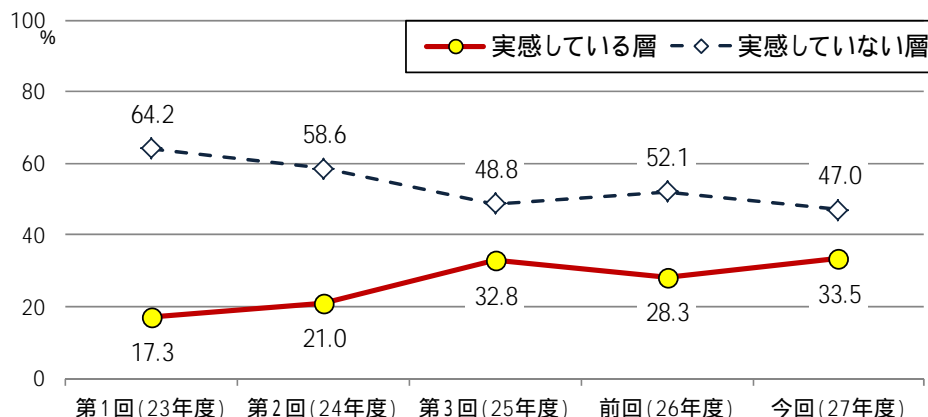
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が16.2ポイント高く、『実感していない層』は17.2ポイント低くなっています。

第1回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ最も大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感していない層』は全体より4.5ポイント、第1回調査より22.3ポイントそれぞれ低い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より7.1ポイント、前回調査より11.4ポイントそれぞれ高い。
- ・正規職員の『実感している層』は前回調査より7.0ポイント、第1回調査より20.5ポイントそれぞれ高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より24.8ポイント、前回調査より34.6ポイント、第1回調査より38.8ポイントそれぞれ高い。

図表 2-2-22 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-23 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(属性別)

					実感している層			実感していない層			
■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	
全体	5.4	28.1	29.1	17.9	19.5	33.5	(5.2)	<16.2>	47.0	(-5.1)	<-17.2>
地域											
北勢	6.0	27.5	29.7	18.6	18.2	33.5	(6.8)	<16.3>	48.3	(-6.8)	<-17.1>
伊賀	5.3	25.9	33.7	15.7	19.4	31.2	(7.5)	<16.9>	49.4	(-4.9)	<-17.1>
中南勢	5.2	29.5	29.1	17.3	18.9	34.7	(2.9)	<15.7>	46.4	(-2.3)	<-15.4>
伊勢志摩	4.2	29.9	24.4	18.1	23.5	34.1	(2.8)	<16.8>	42.5	(-4.9)	<-22.3>
東紀州	4.8	25.2	27.0	19.1	23.9	30.0	(7.3)	<16.2>	46.1	(-6.7)	<-15.1>
性別											
男性	5.3	27.0	30.7	21.4	15.5	32.3	(5.5)	<16.4>	52.1	(-4.8)	<-16.7>
女性	5.5	29.2	28.1	15.5	21.8	34.7	(5.0)	<16.1>	43.6	(-5.2)	<-17.1>
年齢											
20歳代	9.2	31.4	25.7	17.6	16.0	40.6	(11.4)	<22.5>	43.3	(-15.1)	<-26.7>
30歳代	5.6	31.8	27.8	21.1	13.6	37.4	(13.1)	<19.6>	48.9	(-12.4)	<-21.2>
40歳代	6.1	32.1	27.0	18.2	16.6	38.2	(9.2)	<21.1>	45.2	(-9.4)	<-24.1>
50歳代	4.7	28.0	32.1	20.7	14.5	32.7	(5.5)	<18.7>	52.8	(-3.3)	<-19.7>
60歳代	4.6	25.1	31.5	18.4	20.4	29.7	(1.8)	<13.5>	49.9	(-3.4)	<-13.5>
70歳以上	5.3	25.9	28.4	13.3	27.0	31.2	(0.1)	<10.1>	41.7	(1.0)	<-9.0>
主な職業											
農林水産業	2.8	26.0	32.8	24.4	14.5	28.3	(-3.3)	<6.2>	57.2	(8.9)	<-3.8>
自営業・自由業	6.3	26.9	28.4	22.1	16.3	33.2	(3.6)	<17.6>	50.5	(-0.9)	<-17.1>
正規職員	5.0	31.0	30.8	20.4	12.8	36.0	(7.0)	<20.5>	51.2	(-5.5)	<-21.5>
パート・バイト・派遣	5.4	31.8	28.2	16.7	18.0	37.2	(9.9)	<19.9>	44.9	(-9.7)	<-21.0>
その他の職業	5.7	27.2	30.5	19.9	16.7	32.9	(7.3)	<19.1>	50.4	(-2.1)	<-18.7>
学生	15.0	43.3	21.7	10.0	10.0	58.3	(34.6)	<38.8>	31.7	(-37.1)	<-35.9>
専業主婦・主夫	5.5	27.7	30.4	13.8	22.6	33.2	(3.6)	<15.4>	44.2	(-7.1)	<-17.8>
無職	5.5	22.8	27.3	17.1	27.3	28.3	(1.1)	<8.8>	44.4	(-2.3)	<-9.5>
配偶関係											
未婚	6.8	32.2	23.8	20.9	16.3	39.0	(14.7)	<21.5>	44.7	(-15.6)	<-24.4>
有配偶	5.4	27.8	31.2	17.4	18.3	33.2	(3.6)	<16.1>	48.6	(-4.0)	<-16.8>
離別・死別	3.8	25.4	26.6	18.5	25.7	29.2	(2.7)	<10.4>	45.1	(-0.2)	<-9.0>
世帯類型											
単独世帯	4.7	23.7	26.5	20.4	24.6	28.4	(-)	<11.3>	46.9	(-)	<-12.2>
一世代世帯	5.9	25.4	30.3	16.8	21.6	31.3	(-)	<15.7>	47.1	(-)	<-18.1>
二世帯世帯	5.5	30.2	29.3	18.4	16.5	35.7	(-)	<17.7>	47.7	(-)	<-18.1>
三世帯世帯	4.6	32.1	28.7	17.7	17.0	36.7	(-)	<17.1>	46.4	(-)	<-16.5>
世帯収入											
~100万円未満	5.2	21.4	23.8	20.2	29.4	26.6	(5.5)	<->	44.0	(0.3)	<->
~200万円未満	4.7	24.6	26.3	16.9	27.6	29.3	(3.2)	<->	43.2	(-5.0)	<->
~300万円未満	6.4	25.3	28.4	18.8	21.1	31.7	(3.6)	<->	47.2	(-2.8)	<->
~400万円未満	4.6	30.2	31.2	18.4	15.7	34.8	(6.1)	<->	49.6	(-5.5)	<->
~500万円未満		30.1	31.2	14.0	19.0	35.8	(5.7)	<->	45.2	(-11.3)	<->
~600万円未満	6.0	28.1	33.5	18.3	14.2	34.1	(5.4)	<->	51.8	(-1.3)	<->
~800万円未満	5.3	32.6	27.4	20.6	14.1	37.9	(8.1)	<->	48.0	(-7.1)	<->
~1,000万円未満	5.4	33.1	28.0	18.6	14.8	38.5	(9.6)	<->	46.6	(-9.9)	<->
1,000万円以上	5.6	30.5	35.9	16.2	11.8	36.1	(1.5)	<->	52.1	(-2.5)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。

(関連の政策分野：雇用の確保と多様な働き方)

働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が18.5%で、『実感していない層』の割合(65.5%)より47.0ポイント低くなっています。

問2の15項目の中では、『実感している層』が最も低く、『実感していない層』が最も高くなっています。

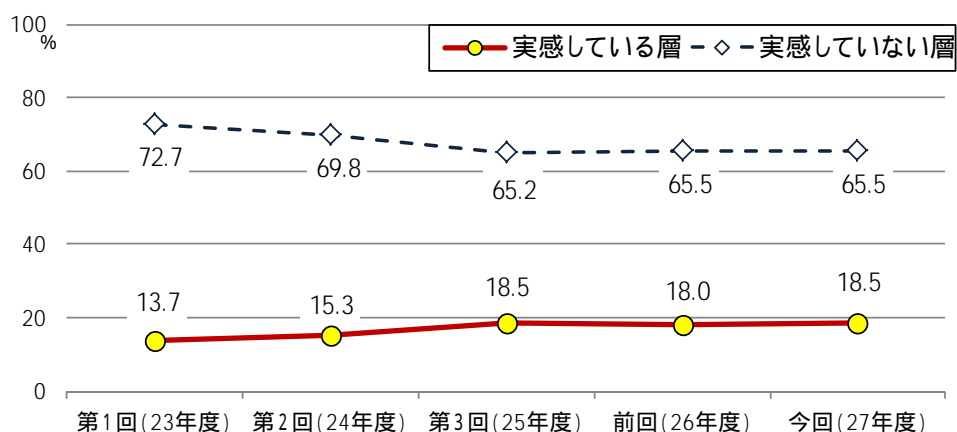
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.5ポイント高く、『実感していない層』は同率となっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が4.8ポイント高く、『実感していない層』は7.2ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感していない層』は全体より8.4ポイント高いが、前回調査より6.4ポイント低い。
- ・40歳代の『実感していない層』は第1回調査より13.7ポイント低い。
- ・正規職員の『実感している層』は全体より5.1ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より13.1ポイント高く、第1回調査より16.0ポイント高い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より10.9ポイント高い。

図表 2-2-24 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-25 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(属性別)

	感じる				実感している層			実感していない層			
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	
全体	16.3	33.4	32.1	16.1	18.5	(0.5)	<4.8>	65.5	(0.0)	<-7.2>	
地域											
北勢	2.4	18.4	34.0	29.6	15.6	20.8	(0.1)	<4.9>	63.6	(-0.6)	<-7.7>
伊賀	16.5	32.7	35.7	13.3	18.3	(2.9)	<9.0>	68.4	(2.1)	<-5.8>	
中南勢	1.7	16.1	34.9	30.4	16.9	17.8	(-0.6)	<3.6>	65.3	(1.5)	<-5.6>
伊勢志摩	12.0	29.2	38.1	17.8	14.9	(0.8)	<5.2>	67.3	(-0.7)	<-11.6>	
東紀州	10.0	30.9	43.0	14.8	11.3	(5.2)	<1.5>	73.9	(-6.4)	<-4.3>	
性別											
男性	17.0	33.4	33.9	13.8	19.0	(0.7)	<4.8>	67.3	(-0.6)	<-8.7>	
女性	16.1	33.5	31.0	17.0	18.4	(0.4)	<5.1>	64.5	(0.5)	<-5.9>	
年齢											
20歳代	2.4	20.9	27.4	33.9	15.5	23.3	(3.8)	<5.8>	61.3	(-3.8)	<-9.2>
30歳代	17.2	32.8	36.6	10.7	20.1	(1.6)	<4.1>	69.4	(-0.3)	<-3.9>	
40歳代	20.6	33.1	33.5	11.6	21.8	(3.1)	<9.2>	66.6	(-2.9)	<-13.7>	
50歳代	14.2	34.7	38.3	11.1	15.9	(0.9)	<4.8>	73.0	(-0.9)	<-8.4>	
60歳代	12.7	36.2	33.4	15.8	14.7	(-0.4)	<2.3>	69.6	(0.1)	<-3.7>	
70歳以上	3.0	17.5	32.7	22.1	24.7	20.5	(-1.7)	<4.7>	54.8	(3.4)	<-6.6>
主な職業											
農林水産業	2.3	16.8	37.4	32.8	10.7	19.1	(-7.1)	<-1.1>	70.2	(13.6)	<5.9>
自営業・自由業	17.1	34.9	36.0	9.8	19.3	(5.0)	<6.1>	70.9	(0.9)	<-4.3>	
正規職員	2.2	21.4	33.6	31.8	11.1	23.6	(1.9)	<7.7>	65.4	(-2.1)	<-11.1>
パート・バイト・派遣	13.8	32.6	40.0	11.8	15.6	(-1.2)	<4.3>	72.6	(-0.8)	<-6.5>	
その他の職業	13.4	35.4	40.7	8.5	15.4	(0.8)	<0.2>	76.1	(5.7)	<5.7>	
学生	28.3	33.3	18.3	16.7	31.6	(11.5)	<16.0>	51.6	(-2.2)	<-13.4>	
専業主婦・主夫	15.1	36.9	27.4	18.9	16.8	(0.3)	<4.0>	64.3	(1.3)	<-7.2>	
無職	2.6	14.1	30.6	26.8	25.9	16.7	(-0.2)	<4.2>	57.4	(-1.0)	<-9.4>
配偶関係											
未婚	17.5	28.2	36.5	15.3	20.1	(3.2)	<6.4>	64.7	(-3.5)	<-10.0>	
有配偶	16.3	35.9	31.5	14.5	18.2	(-0.1)	<4.3>	67.4	(0.8)	<-6.5>	
離別・死別	2.5	16.2	26.6	31.7	23.0	18.7	(0.2)	<6.1>	58.3	(-2.2)	<-8.4>
世帯類型											
単独世帯	3.5	16.2	25.6	31.5	23.2	19.7	(-)	<6.2>	57.1	(-)	<-9.8>
一世帯世帯	15.0	35.7	28.5	18.4	17.4	(-)	<3.4>	64.2	(-)	<-7.8>	
二世帯世帯	17.4	33.7	34.9	12.7	18.8	(-)	<6.3>	68.6	(-)	<-7.7>	
三世帯世帯	18.2	33.0	32.5	12.9	21.6	(-)	<3.8>	65.5	(-)	<-3.1>	
世帯収入											
~100万円未満	2.4	14.3	22.6	32.9	27.8	16.7	(6.4)	<->	55.5	(-9.8)	<->
~200万円未満	12.2	30.2	33.6	21.6	14.6	(0.4)	<->	63.8	(-1.8)	<->	
~300万円未満	2.1	12.8	31.8	37.5	15.9	14.9	(-0.6)	<->	69.3	(1.8)	<->
~400万円未満	1.8	14.3	35.2	35.2	13.6	16.1	(-1.6)	<->	70.4	(2.9)	<->
~500万円未満	17.1	34.9	31.8	14.0	19.2	(4.6)	<->	66.7	(-7.4)	<->	
~600万円未満	18.1	39.7	33.5	7.3	19.5	(1.7)	<->	73.2	(7.3)	<->	
~800万円未満	19.7	37.0	28.8	13.7	20.6	(-0.4)	<->	65.8	(-1.1)	<->	
~1,000万円未満	2.0	23.7	33.7	27.7	12.8	25.7	(3.4)	<->	61.4	(-4.9)	<->
1,000万円以上	4.4	24.9	34.5	23.8	12.3	29.4	(1.4)	<->	58.3	(-2.7)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問2 - (15) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

(関連の政策分野：安心と活力を生み出す基盤)

道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が41.0%で、『実感していない層』の割合(51.4%)より10.4ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.1ポイント低く、『実感していない層』は2.2ポイント高くなっています。

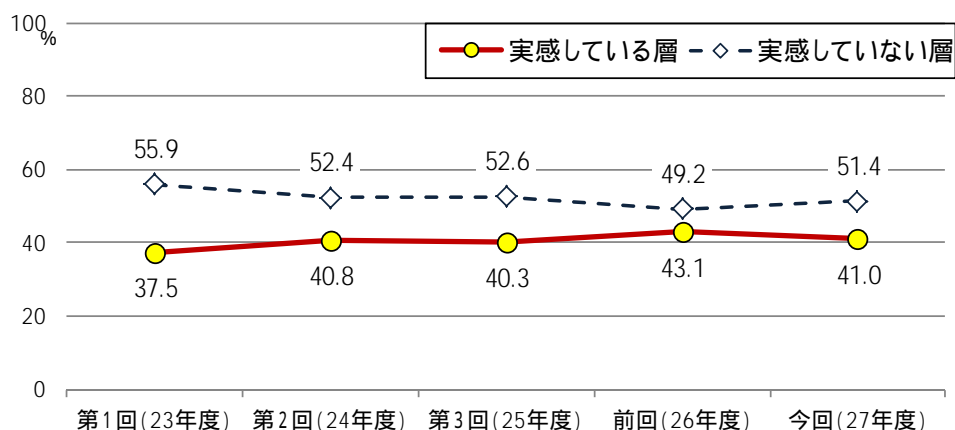
前回調査との比較が可能な問2の11項目の中では、『実感している層』の減少幅が3番目に大きく、『実感していない層』の増加幅が2番目に大きくなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.5ポイント高く、『実感していない層』は4.5ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は全体より4.4ポイント高い。
- ・伊賀の『実感していない層』は全体より13.2ポイント高い。
- ・東紀州の『実感していない層』は第1回調査より20.3ポイント低い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より6.6ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感していない層』は前回調査より12.8ポイント高い。

図表 2-2-26 道路や公共交通機関等が整っている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-27 道路や公共交通機関等が整っている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	6.5	34.5	27.3	24.1	7.6	41.0	(-2.1)	<3.5>	51.4	(2.2)	<-4.5>
地域											
北勢	7.3	38.1	25.5	22.8	6.2	45.4	(-1.2)	<3.1>	48.3	(0.8)	<-4.0>
伊賀	5.3	24.7	32.4	32.2	5.5	30.0	(0.7)	<4.5>	64.6	(2.9)	<-3.5>
中南勢	5.8	35.5	28.2	21.7	9.0	41.3	(-4.5)	<1.4>	49.9	(4.1)	<-2.2>
伊勢志摩	5.4	30.1	27.4	26.4	10.8	35.5	(-3.8)	<4.8>	53.8	(2.8)	<-7.3>
東紀州	9.1	27.4	29.6	26.5	7.4	36.5	(3.0)	<17.8>	56.1	(-0.6)	<-20.3>
性別											
男性	6.2	34.3	28.1	25.8	5.6	40.5	(-4.3)	<2.6>	53.9	(4.7)	<-3.6>
女性	6.7	34.7	27.0	23.1	8.4	41.4	(-0.7)	<4.2>	50.1	(0.5)	<-4.6>
年齢											
20歳代	7.6	35.2	25.2	26.0	6.0	42.8	(-0.6)	<4.6>	51.2	(-0.1)	<-5.1>
30歳代	5.9	34.3	29.9	25.9	3.9	40.2	(-2.2)	<2.7>	55.8	(3.3)	<-3.9>
40歳代	5.9	35.8	27.3	24.6	6.4	41.7	(1.8)	<5.9>	51.9	(-2.2)	<-7.1>
50歳代	4.4	33.0	32.4	25.6	4.5	37.4	(-1.9)	<1.6>	58.0	(3.3)	<-2.1>
60歳代	6.3	34.9	27.2	23.6	7.9	41.2	(-3.6)	<3.7>	50.8	(3.3)	<-5.6>
70歳以上	8.7	35.0	23.6	21.7	11.0	43.7	(-3.8)	<3.9>	45.3	(3.1)	<-2.6>
主な職業											
農林水産業	6.1	31.3	26.0	29.0	7.6	37.4	(-7.8)	<0.8>	55.0	(12.8)	<-1.3>
自営業・自由業	8.2	35.6	26.5	23.6	6.1	43.8	(-3.0)	<1.7>	50.1	(4.8)	<-2.1>
正規職員	4.7	35.0	30.4	25.1	4.8	39.7	(-2.1)	<1.1>	55.5	(2.1)	<-2.9>
パート・バイト・派遣	6.1	33.8	27.0	26.2	7.0	39.9	(1.5)	<3.3>	53.2	(-1.6)	<-5.1>
その他の職業	6.1	33.7	28.5	26.0	5.7	39.8	(-0.7)	<7.0>	54.5	(3.0)	<-4.8>
学生	10.0	38.3	26.7	20.0	5.0	48.3	(-10.5)	<9.3>	46.7	(10.5)	<-11.8>
専業主婦・主夫	5.6	36.8	28.3	22.1	7.2	42.4	(-0.4)	<7.9>	50.4	(0.4)	<-7.4>
無職	8.6	33.4	24.8	22.7	10.5	42.0	(-4.1)	<4.6>	47.5	(3.8)	<-4.6>
配偶関係											
未婚	7.3	34.6	27.2	26.1	4.9	41.9	(1.2)	<2.9>	53.3	(0.2)	<-2.2>
有配偶	5.9	35.2	28.2	23.9	6.8	41.1	(-3.2)	<3.5>	52.1	(2.9)	<-4.5>
離別・死別	7.9	33.4	23.8	23.6	11.3	41.3	(0.1)	<4.9>	47.4	(-0.5)	<-5.8>
世帯類型											
単独世帯	8.2	32.9	23.9	27.2	7.8	41.1	(-)	<6.2>	51.1	(-)	<-3.3>
一世代世帯	6.5	34.7	27.4	23.5	8.0	41.2	(-)	<3.7>	50.9	(-)	<-5.2>
二世帯世帯	5.8	35.7	27.5	24.4	6.6	41.5	(-)	<3.4>	51.9	(-)	<-4.5>
三世帯世帯	7.0	33.6	29.3	24.1	5.9	40.6	(-)	<1.9>	53.4	(-)	<-1.7>
世帯収入											
~100万円未満	11.5	30.6	21.4	23.4	13.1	42.1	(4.0)	<->	44.8	(-2.6)	<->
~200万円未満	6.6	34.1	22.1	26.5	10.7	40.7	(-1.3)	<->	48.6	(-0.6)	<->
~300万円未満	5.9	35.1	25.9	25.3	7.8	41.0	(-4.1)	<->	51.2	(3.8)	<->
~400万円未満	5.7	37.7	27.4	23.1	6.1	43.4	(1.6)	<->	50.5	(-1.2)	<->
~500万円未満	5.7	33.2	32.5	22.9	5.7	38.9	(-4.9)	<->	55.4	(3.3)	<->
~600万円未満	6.3	39.3	27.7	22.6	4.0	45.6	(-0.6)	<->	50.3	(4.0)	<->
~800万円未満	6.8	32.6	31.1	24.8	4.7	39.4	(-5.9)	<->	55.9	(5.9)	<->
~1,000万円未満	7.4	34.6	27.7	24.3	6.0	42.0	(0.2)	<->	52.0	(-0.3)	<->
1,000万円以上	4.5	38.4	28.6	23.0	5.6	42.9	(-0.2)	<->	51.6	(-1.2)	<->

世帯類型については、前回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

3. 県民の皆さんの実感や状況

平成 27 年度に策定した「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」で設定した施策の成果をあらわす指標（県民指標）の一部については、県民の皆さんの実感や状況で成果を測ることとしており、その実感や状況をみえ県民意識調査で把握します。

みえ県民意識調査で把握する県民指標の一覧については、以下のとおりです。

問い毎の集計結果は 48 ページから 63 ページに記載

問番号	県民指標	関連する県の施策
問 3	人権が尊重されている社会になっていると感じる県民の割合	人権が尊重される社会づくり
問 4	あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じる県民の割合	あらゆる分野における女性活躍の推進
問 5	多文化共生の社会になっていると感じる県民の割合	多文化共生社会づくり
問 6	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	少子化対策を進めるための環境づくり
問 7	成人の週 1 回以上の運動・スポーツ実施率	地域スポーツと障がい者スポーツの推進
問 8	地域活動等を行っている県民の割合	協創のネットワークづくり
問 9	魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じる県民の割合	農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出
問 10	得たいと思う県情報が得られていると感じる県民の割合	広聴広報の充実

➤ 県民の皆さんの実感や状況

問3 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっていると感じますか。

(関連する県の施策：人権が尊重される社会づくり)

県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が38.5%で、『実感していない層』の割合(32.8%)より5.7ポイント高くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より4.2ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・男性の『実感していない層』は全体より1.9ポイント高く、女性より3.3ポイント高い。
- ・30歳代の『実感している層』は全体より7.8ポイント低く、年齢(10歳階級)別では最も低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より9.7ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・パート・バイト・派遣の『実感していない層』は全体より5.3ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より14.8ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より6.9ポイント低く、配偶関係別では最も低い。

図表 2-3-1 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっている(属性別)

		実感している層 実感していない層					%	%
		□感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明						
全体		5.3	33.2	21.2	11.6	28.7	38.5	32.8
地域								
	北勢	4.9	33.0	21.6	12.1	28.4	37.9	33.7
	伊賀	4.5	38.2	20.6	10.8	25.9	42.7	31.4
	中南勢	5.6	32.1	21.4	11.5	29.3	37.7	32.9
	伊勢志摩	6.0	33.2	20.6	9.7	30.3	39.2	30.3
	東紀州	7.4	30.4	18.3	13.9	30.0	37.8	32.2
性別								
	男性	6.4	33.3	23.0	11.7	25.5	39.7	34.7
	女性	4.4	33.1	19.9	11.5	31.0	37.5	31.4
年齢								
	20歳代	3.3	29.0	20.3	15.2	32.3	32.3	35.5
	30歳代	3.0	27.7	23.2	14.6	31.5	30.7	37.8
	40歳代	3.6	27.5	23.4	12.7	32.8	31.1	36.1
	50歳代	4.0	32.0	24.7	13.5	25.8	36.0	38.2
	60歳代	5.6	36.7	20.8	10.6	26.2	42.3	31.4
	70歳以上	9.1	39.1	16.5	7.3	28.1	48.2	23.8
主な職業								
	農林水産業	6.9	42.0	15.3	13.7	22.1	48.9	29.0
	自営業・自由業	7.4	29.7	23.6	12.8	26.5	37.1	36.4
	正規職員	3.7	31.4	25.5	12.5	26.8	35.1	38.0
	パート・アルバイト・派遣	3.2	28.9	24.0	14.1	29.8	32.1	38.1
	その他の職業	4.5	32.1	22.4	14.6	26.4	36.6	37.0
	学生	5.0	48.3	10.0	10.0	26.7	53.3	20.0
	専業主婦・主夫	4.8	38.1	17.0	8.1	32.1	42.9	25.1
	無職	8.5	35.3	17.2	9.6	29.4	43.8	26.8
配偶関係								
	未婚	4.7	26.9	19.5	15.4	33.5	31.6	34.9
	有配偶	5.4	34.5	22.0	10.8	27.3	39.9	32.8
	離別・死別	5.1	33.1	19.5	12.0	30.3	38.2	31.5
世帯類型								
	単独世帯	6.3	31.0	18.5	13.8	30.3	37.3	32.3
	一世代世帯	6.7	34.6	19.8	11.0	27.8	41.3	30.8
	二世帯世帯	4.4	32.8	21.8	11.9	29.0	37.2	33.7
	三世帯世帯	4.3	33.9	24.9	10.7	26.3	38.2	35.6
世帯収入								
	～100万円未満	7.1	25.8	16.7	16.7	33.8	32.9	33.4
	～200万円未満	5.1	32.3	17.8	14.1	30.8	37.4	31.9
	～300万円未満	6.8	36.2	20.0	10.4	26.6	43.0	30.4
	～400万円未満	5.8	38.2	20.1	10.4	25.5	44.0	30.5
	～500万円未満	4.6	34.2	24.3	9.8	27.0	38.8	34.1
	～600万円未満	4.2	31.7	23.0	12.5	28.6	35.9	35.5
	～800万円未満	3.8	31.5	25.8	11.4	27.6	35.3	37.2
	～1,000万円未満	8.0	33.4	24.9	8.9	24.9	41.4	33.8
	1,000万円以上	4.8	35.6	21.8	10.1	27.7	40.4	31.9

「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問4 あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じますか。

(関連する県の施策：あらゆる分野における女性活躍の推進)

あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が39.4%で、『実感していない層』の割合(41.8%)より2.4ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感していない層』は全体より4.7ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・男性の『実感している層』は全体より2.9ポイント高く、女性より4.9ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より8.5ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より3.2ポイント低く、主な職業別では最も低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より14.0ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・有配偶の『実感していない層』は全体より1.9ポイント高く、配偶関係別では最も高い。
- ・世帯収入が800~1,000万円未満の層の『実感している層』は全体より4.0ポイント高く、世帯収入別では最も高い。

図表 2-3-2 あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいる(属性別)

					実感している層 実感していない層		
□感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					%	%	
全体	6.4	33.0	25.0	16.8	28.7	39.4	41.8
地域							
北勢	6.1	33.0	24.6	17.3	28.4	39.1	41.9
伊賀	6.5	33.7	24.7	15.5	25.9	40.2	40.2
中南勢	6.7	33.5	25.2	16.1	29.3	40.2	41.3
伊勢志摩	6.0	32.2	25.8	16.9	30.3	38.2	42.7
東紀州	7.4	30.9	26.5	20.0	30.0	38.3	46.5
性別							
男性	7.6	34.7	24.3	16.5	25.5	42.3	40.8
女性	5.5	31.9	25.6	17.2	31.0	37.4	42.8
年齢							
20歳代	8.9	39.0	19.2	14.9	32.3	47.9	34.1
30歳代	5.7	33.5	23.2	21.0	31.5	39.2	44.2
40歳代	4.2	33.4	28.0	16.1	32.8	37.6	44.1
50歳代	4.2	32.9	27.2	21.5	25.8	37.1	48.7
60歳代	6.6	31.2	26.2	18.5	26.2	37.8	44.7
70歳以上	9.0	32.9	23.0	10.3	28.1	41.9	33.3
主な職業							
農林水産業	7.6	36.6	26.7	10.7	22.1	44.2	37.4
自営業・自由業	8.7	33.0	25.8	16.5	26.5	41.7	42.3
正規職員	5.6	38.7	24.4	18.0	26.8	44.3	42.4
パート・バイト・派遣	5.3	31.4	27.5	18.4	29.8	36.7	45.9
その他の職業	6.9	31.7	23.2	20.7	26.4	38.6	43.9
学生	11.7	41.7	16.7	11.7	26.7	53.4	28.4
専業主婦・主夫	5.4	30.8	27.2	16.6	32.1	36.2	43.8
無職	7.5	29.5	22.4	15.0	29.4	37.0	37.4
配偶関係							
未婚	7.7	34.0	22.8	15.1	33.5	41.7	37.9
有配偶	5.9	33.5	26.5	17.2	27.3	39.4	43.7
離別・死別	6.7	31.4	21.2	16.8	30.3	38.1	38.0
世帯類型							
単独世帯	7.3	32.2	20.0	16.9	30.3	39.5	36.9
一世帯世帯	7.1	31.8	25.2	16.6	27.8	38.9	41.8
二世帯世帯	5.7	34.0	25.7	17.5	29.0	39.7	43.2
三世帯世帯	6.4	33.7	26.6	15.6	26.3	40.1	42.2
世帯収入							
～100万円未満	6.3	28.6	22.6	13.5	33.8	34.9	36.1
～200万円未満	7.5	26.3	22.1	17.3	30.8	33.8	39.4
～300万円未満	7.2	33.9	24.5	15.5	26.6	41.1	40.0
～400万円未満	6.9	34.2	25.1	17.3	25.5	41.1	42.4
～500万円未満	5.8	33.4	28.4	15.9	27.0	39.2	44.3
～600万円未満	4.7	34.8	27.2	18.5	28.6	39.5	45.7
～800万円未満	5.3	35.3	27.6	18.2	27.6	40.6	45.8
～1,000万円未満	5.1	38.3	26.6	18.0	24.9	43.4	44.6
1,000万円以上	5.9	34.7	25.8	17.4	27.7	40.6	43.2

「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問5 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっていると感じますか。

(関連する県の施策：多文化共生社会づくり)

外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が29.1%で、『実感していない層』の割合(42.6%)より13.5ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より4.7ポイント低く、地域別では最も低い。また、伊勢志摩の「わからない・不明」は全体より6.0ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・男性の『実感していない層』は全体より6.6ポイント高く、女性より11.1ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より12.6ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より9.6ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・無職の『実感している層』は全体より7.6ポイント低く、主な職業別では最も低い。また、無職の「わからない・不明」は全体より7.1ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より5.3ポイント高く、配偶関係別では最も高い。
- ・世帯収入が600～800万円未満の層の『実感している層』は全体より4.8ポイント高く、世帯収入別では最も高い。

図表 2-3-3 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっている(属性別)

		実感している層 実感していない層					%	%
		感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明		
全体		4.0	25.1	24.3	18.3	28.4	29.1	42.6
地域								
	北勢	4.3	25.9	24.7	17.8	27.3	30.2	42.5
	伊賀	4.5	28.0	21.8	19.6	26.1	32.5	41.4
	中南勢	3.3	25.5	25.0	18.4	27.8	28.8	43.4
	伊勢志摩	3.6	20.8	22.2	19.1	34.4	24.4	41.3
	東紀州	5.7	20.4	27.0	17.4	29.6	26.1	44.4
性別								
	男性	4.1	21.7	27.1	22.1	24.9	25.8	49.2
	女性	3.8	27.7	22.5	15.6	30.3	31.5	38.1
年齢								
	20歳代	7.0	34.7	22.2	12.2	23.9	41.7	34.4
	30歳代	5.9	30.4	24.0	15.7	24.0	36.3	39.7
	40歳代	2.9	30.7	23.2	17.5	25.7	33.6	40.7
	50歳代	2.2	22.5	30.0	22.2	23.1	24.7	52.2
	60歳代	3.5	21.0	23.6	21.4	30.4	24.5	45.0
	70歳以上	4.4	21.5	23.0	15.9	35.3	25.9	38.9
主な職業								
	農林水産業	3.1	19.1	25.2	19.1	33.6	22.2	44.3
	自営業・自由業	4.1	25.8	26.2	18.9	24.9	29.9	45.1
	正規職員	3.6	27.5	27.0	21.6	20.3	31.1	48.6
	パート・バイト・派遣	5.2	28.9	23.5	17.0	25.4	34.1	40.5
	その他の職業	3.3	23.6	24.8	20.3	28.0	26.9	45.1
	学生	10.0	45.0	18.3	6.7	20.0	55.0	25.0
	専業主婦・主夫	3.4	26.6	22.1	13.3	34.6	30.0	35.4
	無職	3.4	18.1	23.6	19.4	35.5	21.5	43.0
配偶関係								
	未婚	5.6	28.8	23.2	17.9	24.5	34.4	41.1
	有配偶	3.5	25.0	25.4	18.6	27.5	28.5	44.0
	離別・死別	5.1	22.0	20.6	18.5	33.7	27.1	39.1
世帯類型								
	単独世帯	4.7	23.7	20.7	21.1	29.8	28.4	41.8
	一世帯世帯	3.5	23.1	22.4	18.6	32.0	27.0	41.0
	二世帯世帯	3.5	26.8	26.5	17.9	25.0	30.7	44.4
	三世帯世帯	3.4	26.4	25.2	17.7	27.3	29.8	42.9
世帯収入								
	～100万円未満	6.0	22.6	20.6	17.9	33.0	28.6	38.5
	～200万円未満	4.1	23.3	19.3	20.6	32.7	27.4	39.9
	～300万円未満	4.5	21.6	24.0	17.3	32.6	26.1	41.3
	～400万円未満	4.8	25.1	25.1	17.9	27.1	29.9	43.0
	～500万円未満	3.8	26.0	27.2	18.0	25.0	29.8	45.2
	～600万円未満	4.2	25.0	27.2	20.5	23.2	29.2	47.7
	～800万円未満	3.0	30.9	24.5	19.1	22.4	33.9	43.6
	～1,000万円未満	4.0	27.1	29.4	18.0	21.5	31.1	47.4
	1,000万円以上	3.4	23.8	26.6	19.6	26.6	27.2	46.2

「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問6 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

(関連する県の施策：少子化対策を進めるための環境づくり)

地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が53.4%で、『実感していない層』の割合(31.1%)より22.3ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感していない層』は全体より2.7ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・女性の『実感している層』は全体より2.4ポイント高く、男性より5.8ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より8.0ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・正規職員の『実感している層』は全体より6.4ポイント低く、主な職業別では最も低い。
- ・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より9.3ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・有配偶の『実感している層』は全体より2.0ポイント高く、配偶関係別では最も高い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より2.7ポイント低く、世帯収入別では最も低い。

図表 2-3-4 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(属性別)

					実感している層	実感していない層	
					%	%	
□感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明							
全体	11.3	42.1	18.6	12.5	15.5	53.4	31.1
地域							
北勢	11.0	42.8	18.2	12.4	15.7	53.8	30.6
伊賀	11.6	43.7	17.6	13.7	13.4	55.3	31.3
中南勢	11.2	42.5	18.8	11.4	16.0	53.7	30.2
伊勢志摩	12.8	37.8	20.8	13.0	15.6	50.6	33.8
東紀州	11.3	41.3	16.1	16.1	15.2	52.6	32.2
性別							
男性	10.5	39.5	20.2	14.3	15.5	50.0	34.5
女性	11.7	44.1	17.5	11.2	15.5	55.8	28.7
年齢							
20歳代	10.3	37.4	15.2	17.1	20.1	47.7	32.3
30歳代	10.3	43.1	17.2	14.1	15.2	53.4	31.3
40歳代	8.1	45.0	19.2	13.1	14.6	53.1	32.3
50歳代	6.0	39.5	23.5	14.7	16.3	45.5	38.2
60歳代	11.4	42.5	19.4	12.0	14.6	53.9	31.4
70歳以上	18.1	43.3	15.2	8.2	15.1	61.4	23.4
主な職業							
農林水産業	16.0	43.5	18.3	9.2	12.9	59.5	27.5
自営業・自由業	12.8	39.7	21.3	13.0	13.2	52.5	34.3
正規職員	7.1	39.9	21.2	16.4	15.4	47.0	37.6
パート・アルバイト・派遣	8.9	44.0	18.2	14.5	14.4	52.9	32.7
その他の職業	11.4	38.6	17.5	15.0	17.5	50.0	32.5
学生	13.3	43.3	16.7	11.7	15.0	56.6	28.4
専業主婦・主夫	13.4	49.3	15.6	8.4	13.2	62.7	24.0
無職	14.5	39.9	17.9	8.8	18.8	54.4	26.7
配偶関係							
未婚	8.8	32.5	16.8	15.7	26.3	41.3	32.5
有配偶	10.8	44.6	19.5	12.2	12.9	55.4	31.7
離別・死別	14.7	40.3	16.5	11.4	17.2	55.0	27.9
世帯類型							
単独世帯	10.6	34.0	18.1	15.3	22.1	44.6	33.4
一世帯世帯	12.3	44.2	17.4	10.8	15.3	56.5	28.2
二世帯世帯	9.7	43.2	19.0	13.4	14.7	52.9	32.4
三世帯世帯	13.3	41.8	20.5	11.6	12.8	55.1	32.1
世帯収入							
~100万円未満	19.0	34.5	15.9	13.9	16.7	53.5	29.8
~200万円未満	13.5	41.8	12.6	12.9	19.1	55.3	25.5
~300万円未満	12.0	41.4	19.3	10.3	17.0	53.4	29.6
~400万円未満	12.2	40.4	19.5	10.8	17.0	52.6	30.3
~500万円未満	9.4	47.4	19.5	12.0	11.6	56.8	31.5
~600万円未満	10.3	42.6	19.7	13.6	13.8	52.9	33.3
~800万円未満	8.0	44.1	21.8	14.4	11.6	52.1	36.2
~1,000万円未満	10.0	45.1	20.9	13.1	10.9	55.1	34.0
1,000万円以上	8.7	42.0	18.8	16.5	14.0	50.7	35.3

「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問7 1週間にどのくらい運動やスポーツを実施していますか。

(関連する県の施策：地域スポーツと障がい者スポーツの推進)

1週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているかの状況については、『週に1回以上』の割合が47.4%で、『週に1回未満』の割合(49.5%)より2.1ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『週に1回以上』は全体より3.1ポイント低く、地域別では最も低い。
- ・男性の『週に1回以上』は全体より2.2ポイント高く、女性より3.9ポイント高い。
- ・30歳代の『週に1回未満』は全体より13.2ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・70歳以上の『週に1回以上』は全体より10.4ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・学生の『週に1回以上』は全体より7.4ポイント低く、主な職業別では最も低い。
- ・未婚の『週に1回未満』は全体より6.2ポイント高く、配偶関係別では最も高い。
- ・世帯収入が500～600万円未満の層の『週に1回未満』は全体より4.3ポイント高く、世帯収入別では最も高い。

図表 2-3-5 1週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているか(属性別)

		週に1回以上						週に1回未満		
		毎日	週に5~6回	週に3~4回	週に1~2回	月に1~2回	運動していない	わからない・不明	%	%
全体		9.6	7.2	12.3	18.3	11.2	38.3	3.1	47.4	49.5
地域										
	北勢	9.5	7.2	12.8	18.6	11.7	37.5	2.7	48.1	49.2
	伊賀	7.5	8.0	10.6	18.2	12.7	40.0	3.0	44.3	52.7
	中南勢	10.4	7.4	12.5	18.2	10.4	37.7	3.3	48.5	48.1
	伊勢志摩	9.3	7.0	11.5	17.0	10.5	40.7	4.0	44.8	51.2
	東紀州	10.9	3.9	10.9	20.4	11.3	40.0	2.6	46.1	51.3
性別										
	男性	10.7	7.7	12.0	19.2	13.8	33.4	3.1	49.6	47.2
	女性	8.7	6.8	12.3	17.9	9.5	42.1	2.7	45.7	51.6
年齢										
	20歳代	5.4	3.8	9.5	18.7	16.5	44.4	1.7	37.4	60.9
	30歳代	4.6	3.5	7.3	19.4	15.3	47.4	2.5	34.8	62.7
	40歳代	4.5	5.5	8.8	19.0	11.6	48.9	1.8	37.8	60.5
	50歳代	7.5	6.7	10.2	19.1	11.3	43.2	1.9	43.5	54.5
	60歳代	12.2	9.1	16.3	19.2	9.6	31.3	2.2	56.8	40.9
	70歳以上	16.0	9.9	15.5	16.4	9.1	27.4	5.6	57.8	36.5
主な職業										
	農林水産業	14.5	6.1	10.7	13.7	12.2	37.4	5.4	45.0	49.6
	自営業・自由業	10.8	8.0	10.6	15.8	11.3	40.6	2.8	45.2	51.9
	正規職員	5.6	5.7	9.1	22.3	15.2	40.8	1.3	42.7	56.0
	パート・アルバイト・派遣	7.5	5.6	9.1	18.0	10.4	46.7	2.7	40.2	57.1
	その他の職業	6.1	5.7	14.2	19.1	13.4	38.6	2.8	45.1	52.0
	学生	8.3	5.0	10.0	16.7	28.3	28.3	3.3	40.0	56.6
	専業主婦・主夫	10.6	7.7	16.0	19.7	8.2	36.4	1.4	54.0	44.6
	無職	14.4	10.3	16.5	15.7	8.2	29.9	5.1	56.9	38.1
配偶関係										
	未婚	7.3	5.8	10.3	18.2	14.5	41.2	2.7	41.6	55.7
	有配偶	9.6	7.6	12.7	19.1	10.9	38.0	2.0	49.0	48.9
	離別・死別	10.9	6.7	13.8	15.4	9.4	37.6	6.3	46.8	47.0
世帯類型										
	単独世帯	13.4	8.5	14.3	16.0	8.0	34.7	5.1	52.2	42.7
	一世代世帯	11.5	8.5	15.2	18.1	10.4	33.7	2.6	53.3	44.1
	二世帯世帯	7.8	6.1	10.6	19.7	12.1	41.9	1.8	44.2	54.0
	三世帯世帯	8.5	7.2	9.6	18.2	12.2	39.5	4.7	43.5	51.7
世帯収入										
	~100万円未満	12.7	7.1	13.1	13.1	6.3	39.7	8.0	46.0	46.0
	~200万円未満	10.9	8.1	13.9	15.0	10.5	36.4	5.3	47.9	46.9
	~300万円未満	12.6	7.2	14.6	17.8	9.0	35.4	3.4	52.2	44.4
	~400万円未満	10.5	7.1	14.4	16.9	10.8	38.2	2.0	48.9	49.0
	~500万円未満	9.4	8.9	10.6	18.5	13.4	37.3	1.9	47.4	50.7
	~600万円未満	8.2	6.2	10.5	20.3	12.1	41.7	1.1	45.2	53.8
	~800万円未満	7.0	6.4	12.7	19.5	12.4	39.8	2.1	45.6	52.2
	~1,000万円未満	7.1	8.6	10.3	22.3	13.1	37.4	1.2	48.3	50.5
	1,000万円以上	7.0	6.4	8.7	26.6	13.7	35.6	2.0	48.7	49.3

「週に1回以上」の割合・・・「毎日」から「週に1~2回」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「週に1回未満」の割合・・・「月に1~2回」と「運動していない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問8 NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加されていますか。
(関連する県の施策：協創のネットワークづくり)

NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加しているかどうかの実感については、『肯定的回答』の割合が19.7%で、『否定的回答』の割合(76.8%)より57.1ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『肯定的回答』は全体より7.3ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・男性の『肯定的回答』は全体より3.8ポイント高く、女性より6.8ポイント高い。
- ・20歳代の『肯定的回答』は全体より11.3ポイント低く、年齢(10歳階級)別では最も低い。
- ・70歳以上の『肯定的回答』は全体より6.7ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・農林水産業の『肯定的回答』は全体より12.4ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・未婚の『否定的回答』は全体より9.2ポイント高く、配偶関係別では最も高い。
- ・世帯収入が600～800万円未満の層の『肯定的回答』は全体より3.0ポイント低く、世帯収入別では最も低い。

図表 2-3-6 NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加している(属性別)

		肯定的回答					否定的回答		
		□している	ロどちらかといえばしている	ロどちらかといえばしていない	ロしていない	ロわからない	不明	%	%
	全体	8.0	11.7	12.1	64.7	3.4		19.7	76.8
地域									
	北勢	6.8	10.4	11.1	68.5	3.3		17.2	79.6
	伊賀	12.7	14.3	11.8	58.8	2.4		27.0	70.6
	中南勢	8.3	12.6	13.2	62.1	3.8		20.9	75.3
	伊勢志摩	8.3	12.6	13.3	61.5	4.3		20.9	74.8
	東紀州	7.8	10.9	12.6	65.2	3.5		18.7	77.8
性別									
	男性	10.0	13.5	13.0	59.9	3.5		23.5	72.9
	女性	6.4	10.3	11.2	68.9	3.2		16.7	80.1
年齢									
	20歳代	2.7	5.7	7.3	82.1	2.2		8.4	89.4
	30歳代	5.1	7.0	8.4	75.8	3.7		12.1	84.2
	40歳代	7.6	9.0	12.3	68.1	2.9		16.6	80.4
	50歳代	8.2	11.5	12.1	66.2	2.0		19.7	78.3
	60歳代	9.8	12.5	13.8	61.4	2.5		22.3	75.2
	70歳以上	9.0	17.4	13.4	54.7	5.5		26.4	68.1
主な職業									
	農林水産業	13.0	19.1	13.0	48.9	6.1		32.1	61.9
	自営業・自由業	12.1	15.0	11.3	59.0	2.6		27.1	70.3
	正規職員	6.8	9.6	12.3	69.4	2.0		16.4	81.7
	パート・バイト・派遣	6.3	10.5	12.1	68.1	3.0		16.8	80.2
	その他の職業	11.0	6.9	13.0	63.4	5.7		17.9	76.4
	学生	8.3	8.3		76.7	6.7		8.3	85.0
	専業主婦・主夫	7.4	11.7	11.0	67.0	2.9		19.1	78.0
	無職	8.6	14.0	12.5	60.2	4.8		22.6	72.7
配偶関係									
	未婚	4.8	6.4	8.4	77.6	2.7		11.2	86.0
	有配偶	8.7	12.4	13.0	63.0	2.9		21.1	76.0
	離別・死別	7.4	12.5	11.4	62.9	5.7		19.9	74.3
世帯類型									
	単独世帯	6.6	10.8	10.3	67.4	5.0		17.4	77.7
	一世代世帯	8.7	11.8	12.2	63.8	3.4		20.5	76.0
	二世帯世帯	7.6	11.0	12.0	66.7	2.6		18.6	78.7
	三世帯世帯	8.2	14.7	13.3	60.0	3.8		22.9	73.3
世帯収入									
	～100万円未満	6.3	10.7	13.1	62.7	7.2		17.0	75.8
	～200万円未満	8.1	9.6	8.3	68.5	5.6		17.7	76.8
	～300万円未満	7.9	12.9	13.1	62.4	3.7		20.8	75.5
	～400万円未満	9.6	13.7	12.7	61.6	2.3		23.3	74.3
	～500万円未満	7.2	11.5	14.0	64.9	2.4		18.7	78.9
	～600万円未満	8.5	13.0	11.8	64.1	2.6		21.5	75.9
	～800万円未満	7.0	9.7	12.4	68.0	2.9		16.7	80.4
	～1,000万円未満	10.9	8.6	12.3	66.6	1.7		19.5	78.9
	1,000万円以上	7.3	14.8	13.2	62.7	1.9		22.1	75.9

「肯定的回答」の割合・・・「している」と「どちらかといえばしている」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「否定的回答」の割合・・・「していない」と「どちらかといえばしていない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問9 魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じますか。

(関連する県の施策：農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出)

魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が42.1%で、『実感していない層』の割合(36.2%)より5.9ポイント高くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より8.3ポイント高く、地域別では最も高い。
- ・女性の『実感している層』は全体より2.6ポイント高く、男性より6.0ポイント高い。
- ・40歳代の『実感している層』は全体より7.5ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・自営業・自由業の『実感していない層』は全体より3.5ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・専業主婦・主夫の『実感していない層』は全体より6.8ポイント低く、主な職業別では最も低い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より6.8ポイント低く、世帯類型別では最も低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より4.7ポイント高く、世帯収入別では最も高い。

図表 2-3-7 魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されている(属性別)

						実感している層	実感していない層
□感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明						%	%
全体	7.4	34.7	21.1	15.1	21.7	42.1	36.2
地域							
北勢	6.7	31.7	22.0	16.4	23.2	38.4	38.4
伊賀	6.3	33.5	22.0	15.9	22.4	39.8	37.9
中南勢	7.7	37.6	20.6	13.8	20.3	45.3	34.4
伊勢志摩	10.3	40.1	17.6	12.8	19.2	50.4	30.4
東紀州	7.0	33.0	24.3	15.2	20.4	40.0	39.5
性別							
男性	6.7	32.0	24.5	18.8	18.0	38.7	43.3
女性	8.0	36.7	18.6	12.5	24.2	44.7	31.1
年齢							
20歳代	10.8	32.5	17.9	11.9	26.9	43.3	29.8
30歳代	8.6	35.3	17.5	16.1	22.6	43.9	33.6
40歳代	7.4	42.2	18.8	12.5	19.1	49.6	31.3
50歳代	6.1	37.7	22.8	16.2	17.3	43.8	39.0
60歳代	6.2	32.5	25.0	17.5	18.9	38.7	42.5
70歳以上	8.2	30.3	20.4	14.0	27.0	38.5	34.4
主な職業							
農林水産業	6.9	35.1	19.8	18.3	19.8	42.0	38.1
自営業・自由業	6.5	37.7	21.7	18.0	16.1	44.2	39.7
正規職員	8.2	36.5	20.9	16.9	17.4	44.7	37.8
パート・アルバイト・派遣	6.0	36.5	22.7	13.4	21.4	42.5	36.1
その他の職業	6.5	32.9	21.5	15.4	23.6	39.4	36.9
学生	8.3	35.0	28.3	5.0	23.3	43.3	33.3
専業主婦・主夫	8.1	38.7	17.6	11.8	23.8	46.8	29.4
無職	8.1	27.9	21.8	15.7	26.4	36.0	37.5
配偶関係							
未婚	8.8	33.0	18.2	16.2	23.6	41.8	34.4
有配偶	7.1	36.0	22.6	15.0	19.2	43.1	37.6
離別・死別	7.9	31.1	17.7	14.4	28.9	39.0	32.1
世帯類型							
単独世帯	9.2	26.1	18.3	17.4	29.1	35.3	35.7
一世帯世帯	7.5	31.3	22.9	16.4	21.8	38.8	39.3
二世帯世帯	7.0	38.4	20.1	14.8	19.7	45.4	34.9
三世帯世帯	8.2	36.8	23.1	11.3	20.6	45.0	34.4
世帯収入							
~100万円未満	9.1	26.6	14.3	16.7	33.4	35.7	31.0
~200万円未満	8.1	26.8	20.1	16.9	28.1	34.9	37.0
~300万円未満	6.2	33.1	22.3	15.7	22.7	39.3	38.0
~400万円未満	6.0	38.8	24.9	13.3	17.0	44.8	38.2
~500万円未満	7.0	39.4	21.1	14.4	18.1	46.4	35.5
~600万円未満	6.2	37.9	23.6	13.6	18.9	44.1	37.2
~800万円未満	9.4	36.4	21.5	16.8	15.9	45.8	38.3
~1,000万円未満	9.4	36.9	23.1	14.6	16.0	46.3	37.7
1,000万円以上	7.0	39.8	20.4	14.8	17.9	46.8	35.2

「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

問 10 得たいと思う県の情報が、得られていると感じますか。

(関連する県の施策：広聴広報の充実)

得たいと思う県の情報が、得られているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が30.2%で、『実感していない層』の割合(48.8%)より18.6ポイント高くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は全体より5.9ポイント低く、地域別では最も低い。
- ・30歳代の『実感している層』は全体より5.0ポイント低く、年齢(10歳階級)別では最も低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より7.0ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。
- ・パート・バイト・派遣の『実感している層』は全体より4.7ポイント低く、主な職業別では最も低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より8.1ポイント高く、主な職業別では最も高い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感していない層』は全体より3.9ポイント高く、世帯収入別では最も高い。

図表 2-3-8 得たいと思う県の情報が、得られている(属性別)

					実感している層	実感していない層	
□感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					%	%	
全体	4.4	25.8	28.5	20.3	21.0	30.2	48.8
地域							
北勢	4.3	25.7	27.9	20.9	21.2	30.0	48.8
伊賀	3.5	22.4	31.2	21.8	21.2	25.9	53.0
中南勢	4.9	27.1	29.2	19.3	19.5	32.0	48.5
伊勢志摩	4.9	27.5	26.1	18.8	22.8	32.4	44.9
東紀州	3.0	21.3	30.9	23.0	21.8	24.3	53.9
性別							
男性	4.8	25.7	28.9	22.1	18.6	30.5	51.0
女性	4.1	25.7	28.2	19.3	22.6	29.8	47.5
年齢							
20歳代	4.6	24.4	23.0	23.8	24.1	29.0	46.8
30歳代	4.1	21.1	24.6	26.7	23.4	25.2	51.3
40歳代	4.1	25.7	29.5	18.2	22.5	29.8	47.7
50歳代	2.5	26.8	31.1	22.2	17.4	29.3	53.3
60歳代	4.0	23.5	32.3	20.3	19.9	27.5	52.6
70歳以上	6.7	30.5	25.9	15.8	21.1	37.2	41.7
主な職業							
農林水産業	3.1	30.5	23.7	21.4	21.4	33.6	45.1
自営業・自由業	3.9	27.1	29.5	22.1	17.4	31.0	51.6
正規職員	3.4	24.6	29.1	23.1	19.9	28.0	52.2
パート・バイト・派遣	3.8	21.7	30.8	22.7	21.0	25.5	53.5
その他の職業	5.7	23.2	27.6	19.9	23.6	28.9	47.5
学生	3.3	35.0	25.0	18.3	18.3	38.3	43.3
専業主婦・主夫	4.6	30.2	27.6	15.6	22.0	34.8	43.2
無職	6.3	26.4	27.3	18.1	21.9	32.7	45.4
配偶関係							
未婚	4.7	22.6	26.9	20.7	25.1	27.3	47.6
有配偶	4.3	26.7	29.7	20.2	19.1	31.0	49.9
離別・死別	4.6	25.7	24.2	21.1	24.4	30.3	45.3
世帯類型							
単独世帯	5.9	23.9	24.6	22.3	23.2	29.8	46.9
一世代世帯	4.2	25.6	30.6	19.5	20.3	29.8	50.1
二世帯世帯	4.2	26.5	28.4	20.9	20.0	30.7	49.3
三世帯世帯	4.9	25.3	26.9	21.1	21.8	30.2	48.0
世帯収入							
～100万円未満	7.1	21.4	24.6	19.8	27.0	28.5	44.4
～200万円未満	4.9	24.0	24.8	23.6	22.7	28.9	48.4
～300万円未満	4.6	27.1	28.1	19.7	20.6	31.6	47.8
～400万円未満	3.7	25.8	31.9	18.3	20.4	29.5	50.2
～500万円未満	4.1	27.6	29.6	21.2	17.4	31.7	50.8
～600万円未満	3.8	26.8	31.5	19.2	18.7	30.6	50.7
～800万円未満	4.7	26.1	29.4	22.1	17.8	30.8	51.5
～1,000万円未満	4.3	27.4	31.7	17.7	18.9	31.7	49.4
1,000万円以上	3.4	28.0	29.7	23.0	15.9	31.4	52.7

「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

4. ご家族に関すること

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていくことが必要であるとしています。また、県民の意識などの変化を継続的に把握することも重要です。

ここでは、「結婚に対する考え方と未婚理由」、「理想の子どもの数と現実」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
結婚経験	あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。 (問11)
結婚に対する考え方	(問11で「未婚」、「既婚・死別」、「既婚・離別」と回答した方へ) ・今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない (問12)
結婚していない理由	・日本では、「未婚」、「晩婚」が増えてきています。あなたは、未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか。 (問13)
理想の子どもの数	・あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。 (問14)
子どもの数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 (お子さんがいらっしゃる方へ) ・お子さんの年齢をご記入ください。 (問15)
(参考集計) 子どもの数の理想と現実のギャップ	・理想の子どもの数(問14)と現在の子どもの数(問15)との関係
子どもの数が理想より少ない理由	・これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少なくなっています。あなたは、その理由はどんなことだと思いますか。 (問16)
介護が必要な家族の有無	・現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。 (問17)

あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。

問11

➤ 結婚経験

回答者の配偶関係は、「未婚」が13.4%、「有配偶」が71.2%、「離別・死別」が12.1%となっています。

図表 2-4-1 配偶関係



今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。問12

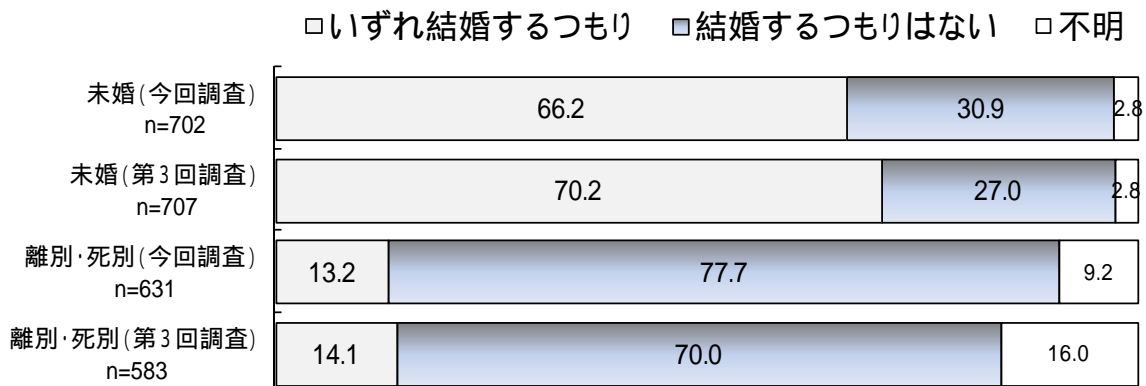
➤ 結婚に対する考え方

結婚に対する考え方を質問したところ、未婚は「いずれ結婚するつもり」が66.2%、「結婚するつもりはない」が30.9%となっています。離別・死別は「いずれ結婚するつもり」が13.2%、「結婚するつもりはない」が77.7%となっています。

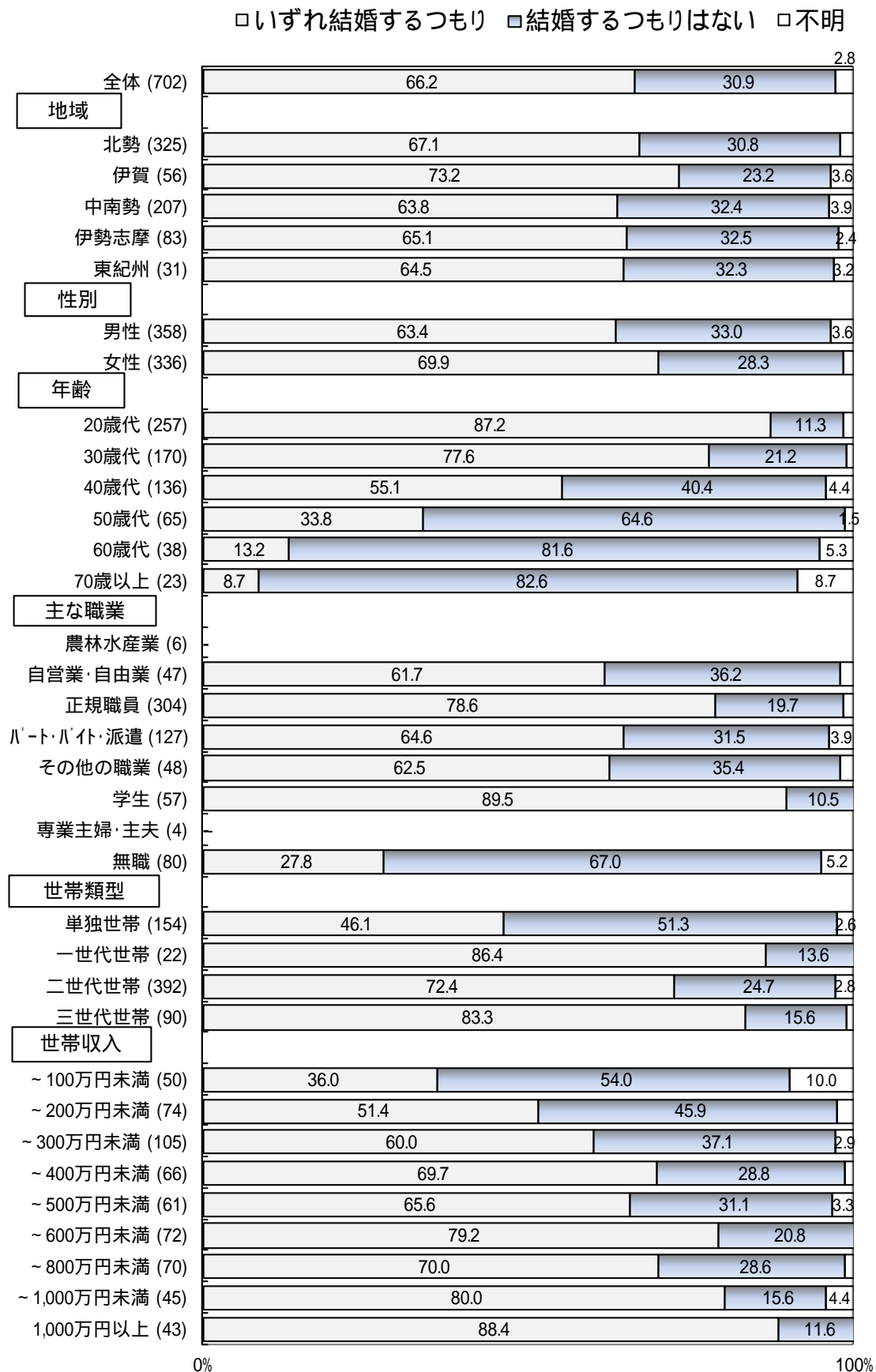
「未婚」における属性や属性項目の主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・年齢（10歳階級）別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、20歳代（87.2%）、30歳代（77.6%）は全体より高い。
- ・主な職業別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、学生（89.5%）及び正規職員（78.6%）は全体より高い。
- ・未婚も離別・死別も「いずれ結婚するつもり」が第3回調査より低い。

図表 2-4-2 結婚に対する考え方



図表 2-4-3 「未婚」の結婚に対する考え方(属性別)



()内はサンプル数です。

農林水産業及び専業主婦・主夫はサンプル数が少ないため、非表示としています。

日本では、「未婚」、「晩婚」が増えてきています。あなたは、未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいいくつでも)

問13

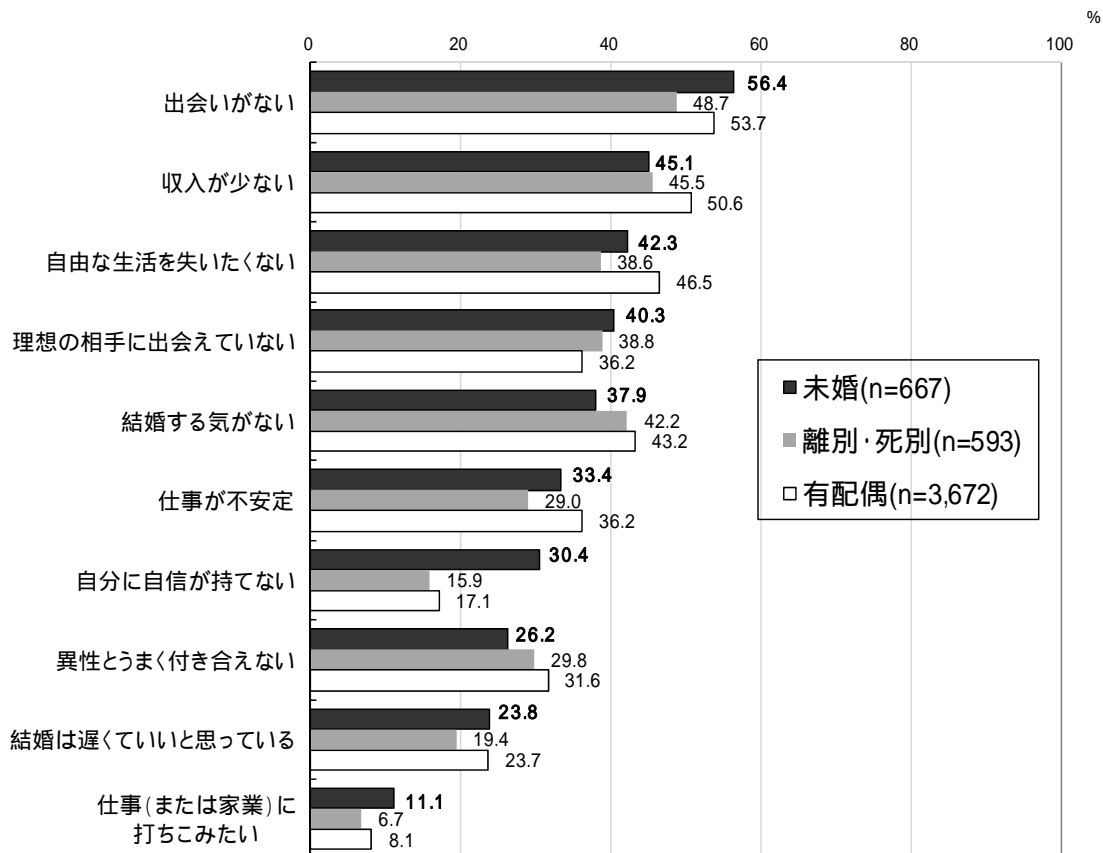
➤ 結婚していない理由

全ての方に、未婚の人が結婚していない理由を質問したところ、未婚、離別・死別、有配偶のいずれも、「出会いがない」の割合が最も高く、次いで「収入が少ない」の順となっています。

「未婚」における属性や属性項目の主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・男性は「出会いがない」、「収入が少ない」が同率で最も高い。
- ・女性は「出会いがない」、「理想の相手に出会えていない」の順に高い。
- ・地域別では伊賀を除く全ての地域で「出会いがない」が最も高く、伊賀では「収入が少ない」が最も高い。
- ・主な職業別では自営業・自由業、パート・バイト・派遣、無職で「収入が少ない」が最も高い。(無職は「出会いがない」も同率で最も高い)

図表 2-4-4 結婚していない理由



図表 2-4-5 「未婚」の結婚していない理由(属性別、全体の上位7項目)

(%)

		出会いがない	収入が少ない	自由な生活を失いたくない	理想の相手に出会っていない	結婚する気がない	仕事が不安定	自分に自信が持てない
全体		56.4	45.1	42.3	40.3	37.9	33.4	30.4
地域	北勢	56.9	40.9	44.1	43.5	40.3	31.0	26.8
	伊賀	60.0	62.0	48.0	44.0	44.0	42.0	40.0
	中南勢	51.5	44.3	42.3	35.6	37.1	29.9	32.0
	伊勢志摩	55.0	45.0	36.3	37.5	30.0	38.8	37.5
	東紀州	80.0	66.7	30.0	40.0	30.0	53.3	23.3
性別	男性	54.5	54.5	37.5	31.5	37.2	37.8	29.2
	女性	58.8	35.6	47.4	49.8	39.0	29.4	31.9
年齢	20歳代	62.7	39.8	44.6	41.0	43.0	27.3	29.3
	30歳代	62.5	49.4	49.4	46.9	35.6	40.0	37.5
	40歳代	49.6	51.2	37.8	33.9	36.2	33.9	35.4
	50歳代	54.1	45.9	36.1	41.0	36.1	41.0	21.3
	60歳代	36.1	55.6	27.8	33.3	36.1	41.7	19.4
	70歳以上	33.3	28.6	38.1	42.9	23.8	28.6	14.3
主な職業	自営業・自由業	44.4	53.3	44.4	33.3	44.4	33.3	24.4
	正規職員	60.0	37.6	45.9	42.4	35.5	26.9	29.0
	パート・バイト・派遣	58.3	62.5	37.5	35.8	32.5	52.5	34.2
	その他の職業	51.1	57.8	44.4	46.7	35.6	37.8	26.7
	学生	66.7	29.8	40.4	40.4	52.6	24.6	22.8
	無職	45.6	45.6	34.4	41.1	42.2	35.6	41.1
世帯類型	単独世帯	49.0	49.0	44.9	40.8	38.1	36.7	27.2
	一世代世帯	65.0	30.0	30.0	45.0	30.0	25.0	25.0
	二世帯世帯	58.8	44.1	42.3	39.6	34.8	32.4	31.1
	三世帯世帯	57.5	44.8	43.7	43.7	51.7	31.0	34.5
世帯収入	～100万円未満	51.1	35.6	20.0	46.7	35.6	35.6	40.0
	～200万円未満	52.9	54.3	42.9	42.9	34.3	47.1	30.0
	～300万円未満	50.0	59.0	42.0	38.0	40.0	38.0	31.0
	～400万円未満	59.4	51.6	43.8	29.7	34.4	39.1	15.6
	～500万円未満	62.1	36.2	51.7	36.2	31.0	32.8	29.3
	～600万円未満	51.5	39.7	39.7	39.7	29.4	23.5	30.9
	～800万円未満	67.6	41.2	42.6	45.6	38.2	32.4	32.4
	～1,000万円未満	65.1	39.5	44.2	39.5	48.8	20.9	23.3
1,000万円以上	56.1	46.3	46.3	41.5	29.3	36.6	22.0	

凡例： 第1位 第2位 第3位

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

サンプル数が10未満の属性項目は図表に記載していません。

離別・死別及び有配偶の図表は省略しています。

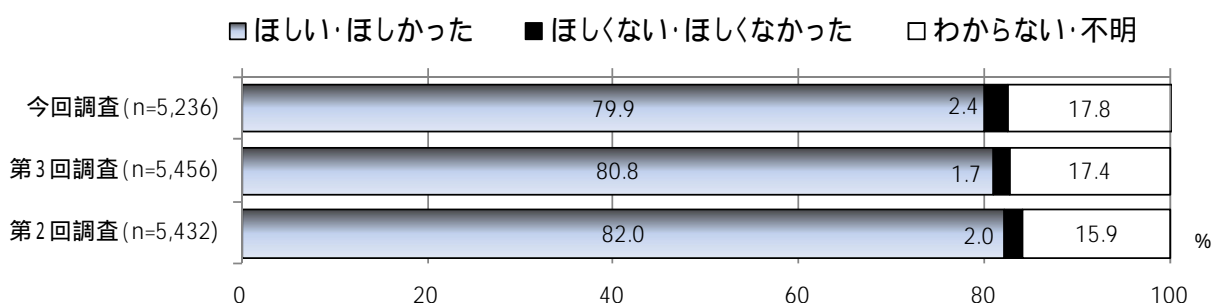
あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。(は1つだけ。「1」に をつけた方は()に人数も記入してください。)

問14

➤ 子どもを希望する割合

子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は 79.9%で、第2回調査及び第3回調査より低くなっています。

図表 2-4-6 子どもを希望する割合

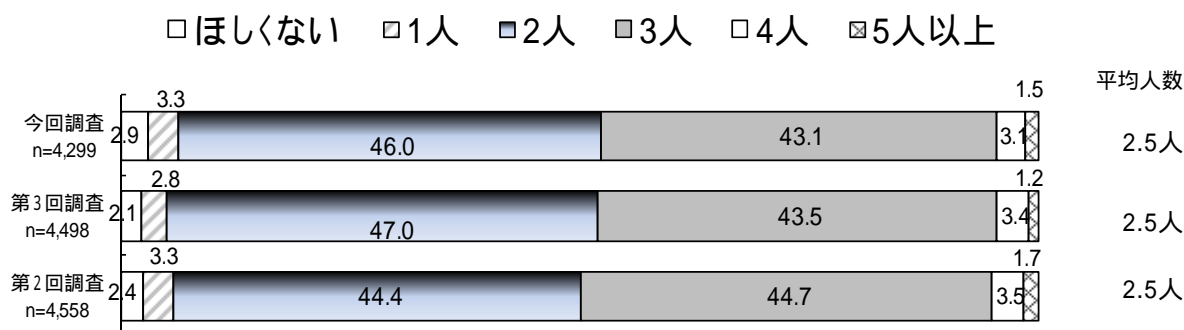


➤ 理想の子どもの数

理想の子どもの数については、「2人」の割合が46.0%で最も高く、次いで「3人」(43.1%)となっています。第3回調査と比較すると「0人(ほしくない、ほしくなかった)」及び「1人」などの割合が高くなった一方、「2人」、「3人」、「4人」の割合は低くなっています。

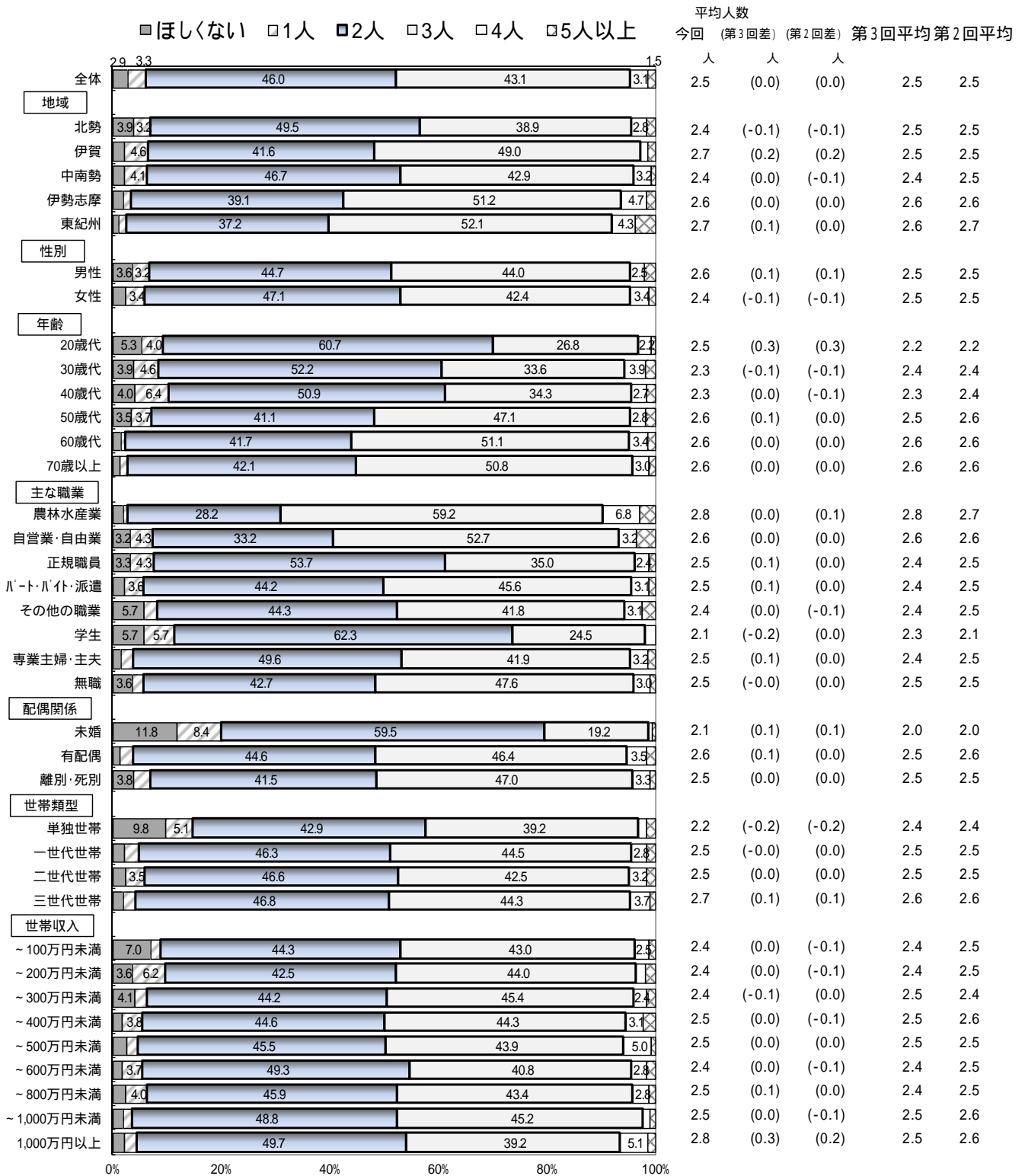
理想の子どもの数の平均は2.5人で、第2回調査及び第3回調査と同じとなっています。

図表 2-4-7 理想の子どもの数の推移



理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。(n=4,299)
平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

図表 2-4-8 理想の子どもの数(属性別)



理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。
 平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

お子さんは何人いらっしゃいますか。いない方は「0」とお答えください。

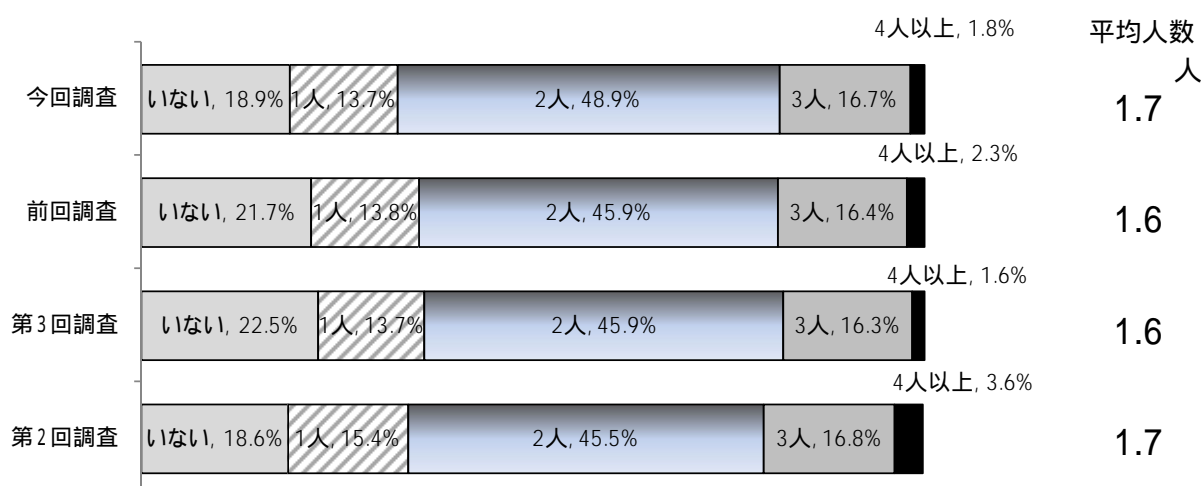
問11

➤ 子どもの数

実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が48.9%、「いない」が18.9%、「3人」が16.7%、「1人」が13.7%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.7人で前回調査及び第3回調査より0.1人多くなっています。

図表2-4-9 子どもの数



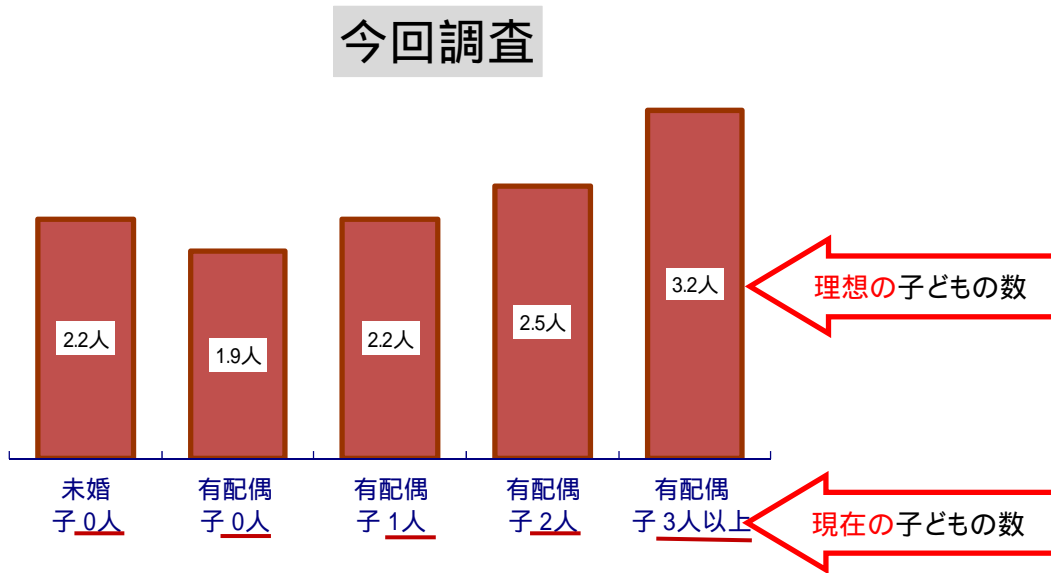
「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出しています。

子どもの数の理想と現実のギャップ(参考集計)

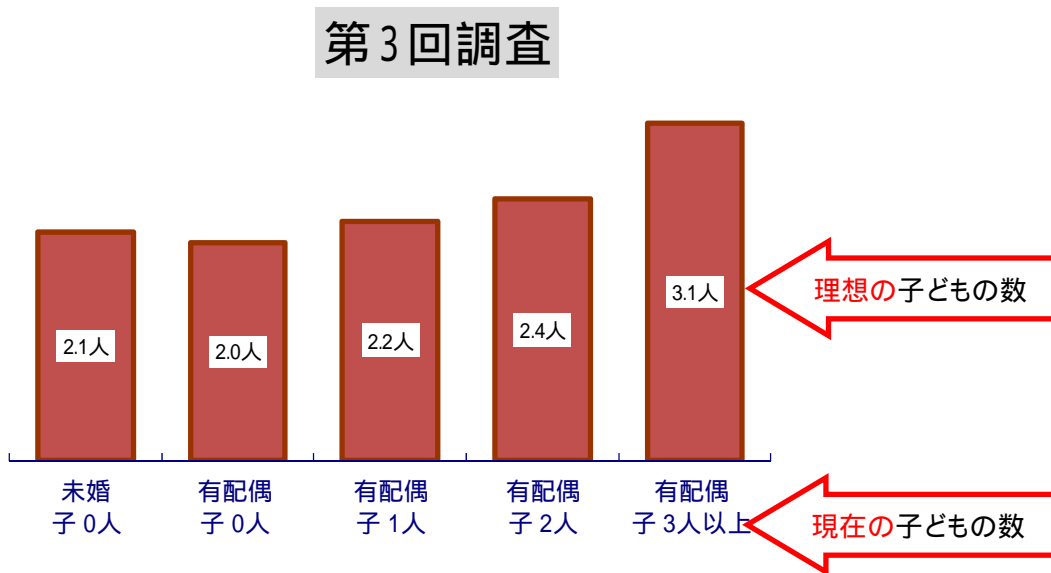
20歳代~40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもいない層は2.2人、有配偶で子どもがいない層は1.9人、有配偶で子ども1人の層は2.2人、有配偶で子ども2人の層は2.5人、有配偶で子ども3人以上の層は3.2人で、実際の子どもの数は理想の数より少なく、第2回調査及び第3回調査と同様の結果となっています。

第3回調査と比べると、未婚で子どもがいない層、有配偶で子ども2人の層、有配偶で子ども3人以上の層で、それぞれ0.1人ずつ増加しています。

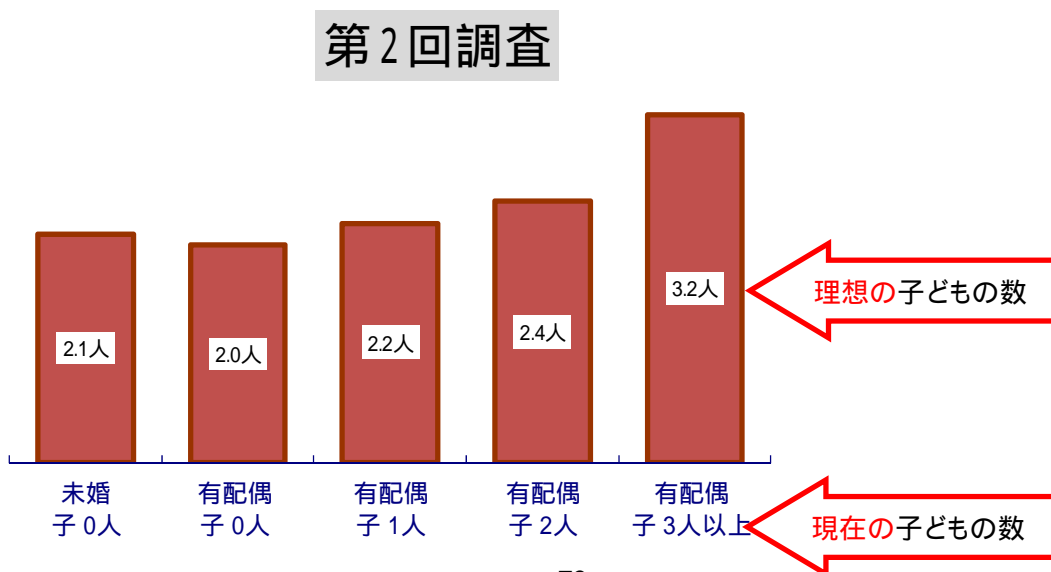
図表 2-4-10 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(今回調査)



図表 2-4-11 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(第3回調査)



図表 2-4-12 20 歳代～40 歳代の子ども数の理想と現実(第2回調査)



これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少なくなっています。あなたは、その理由はどんなことだと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまでをつけてください。(は2つまで)

問16

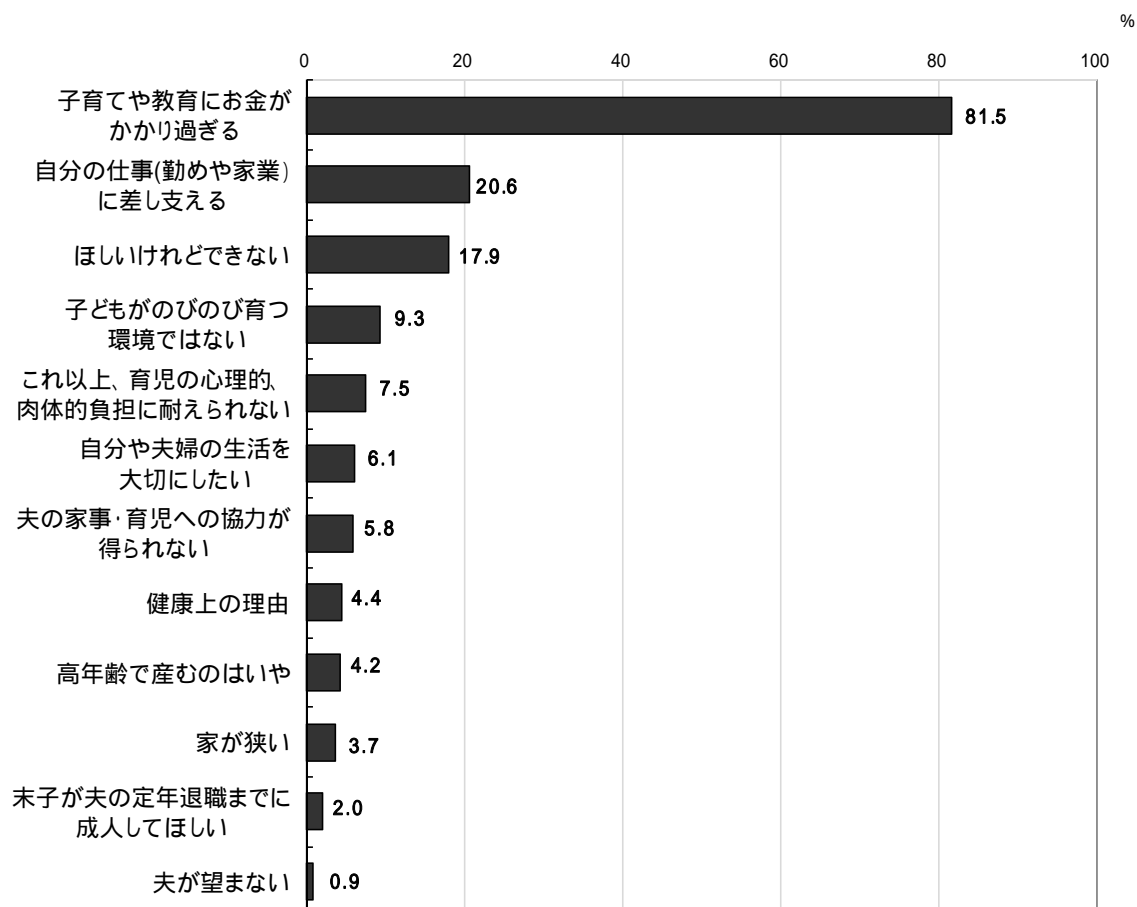
➤ 子どもの数が理想より少ない理由

「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合が 81.5%で特に高く、次いで「自分の仕事(勤めや家業)に差し支える」(20.6%)、「ほしいけれどもできない」(17.9%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・年齢(10歳階級)別で「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合を見ると、20歳代(86.8%)が最も高い。
- ・主な職業別で「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合を見ると、学生(93.8%)が最も高い。
- ・世帯類型別で「子育てや教育にお金がかかり過ぎる」の割合を見ると、三世帯世帯(85.1%)が最も高い。

図表 2-4-13 子どもの数が理想より少ない理由



図表 2-4-14 子どもの数が理想より少ない理由(属性別、全体の上位7項目)

(%)

		子育てや教育にお金がかかり過ぎる	自分の仕事(勤めや家業)に差し支える	ほしいけれどもできない	子どもがのびのび育つ環境ではない	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられない	自分や夫婦の生活を大切にしたい	夫の家事・育児への協力が得られない
全体		81.5	20.6	17.9	9.3	7.5	6.1	5.8
地域	北勢	80.2	19.9	17.8	9.0	8.4	6.4	6.7
	伊賀	82.5	19.4	20.7	9.1	7.1	5.7	4.3
	中南勢	82.9	21.9	16.5	9.6	7.6	6.3	5.6
	伊勢志摩	81.8	22.7	18.0	10.3	5.8	6.3	4.3
	東紀州	83.0	16.5	20.6	7.7	4.6	3.1	5.7
性別	男性	82.8	16.4	13.3	11.2	7.9	7.8	2.9
	女性	80.3	24.0	21.6	7.9	7.5	4.8	8.0
年齢	20歳代	86.8	24.4	20.1	11.9	6.3	5.0	6.6
	30歳代	80.0	26.1	23.6	5.9	8.4	5.0	6.5
	40歳代	80.4	19.6	25.1	6.2	7.8	4.8	6.8
	50歳代	84.9	21.7	17.9	7.5	8.6	7.2	7.5
	60歳代	82.5	18.5	15.3	11.5	8.8	6.6	5.1
	70歳以上	77.5	19.5	12.4	11.2	5.4	6.6	3.9
主な職業	農林水産業	82.5	20.2	21.9	7.9	8.8	4.4	1.8
	自営業・自由業	79.9	24.6	16.4	7.7	5.7	6.0	6.0
	正規職員	81.9	22.6	20.6	8.6	8.0	7.6	3.8
	パート・バイト・派遣	84.9	22.6	19.5	7.8	7.9	4.2	9.0
	その他の職業	86.1	17.7	13.9	11.5	9.6	3.8	4.8
	学生	93.8	27.1	8.3	12.5	8.3	-	10.4
	専業主婦・主夫	79.5	18.5	22.0	7.6	8.3	5.6	7.9
配偶関係	無職	78.0	17.3	12.3	12.8	6.7	7.5	4.0
	未婚	83.1	21.9	17.5	11.9	7.2	5.7	5.6
世帯類型	有配偶	81.3	20.7	18.6	8.7	7.7	6.3	5.9
	離婚・死別	81.4	19.7	14.1	9.2	7.5	5.8	5.6
	単独世帯	79.1	16.3	11.4	12.9	8.0	8.0	4.9
世帯収入	一世代世帯	80.2	19.2	20.2	9.5	6.0	7.1	5.1
	二世帯世帯	81.9	21.7	18.1	9.2	8.8	5.3	6.3
	三世帯世帯	85.1	24.4	16.5	7.2	6.7	5.2	6.2
	~100万円未満	77.4	15.6	17.1	14.6	5.5	5.5	5.5
	~200万円未満	80.4	17.5	15.9	9.8	6.8	5.1	6.3
	~300万円未満	80.3	16.7	14.0	13.3	8.2	7.0	5.4
	~400万円未満	83.0	20.9	18.3	10.7	5.6	6.2	5.1
	~500万円未満	83.0	19.7	19.3	7.4	7.9	6.0	7.4
~600万円未満	83.0	20.9	19.9	7.4	7.2	6.8	7.4	
~800万円未満	83.3	25.7	17.2	7.1	10.2	6.0	3.8	
~1,000万円未満	82.2	23.4	20.9	9.3	7.5	7.2	4.4	
1,000万円以上	78.1	29.2	21.0	4.8	8.6	7.3	7.9	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。(○は1つだけ)

問17

➤ 介護が必要な家族の有無

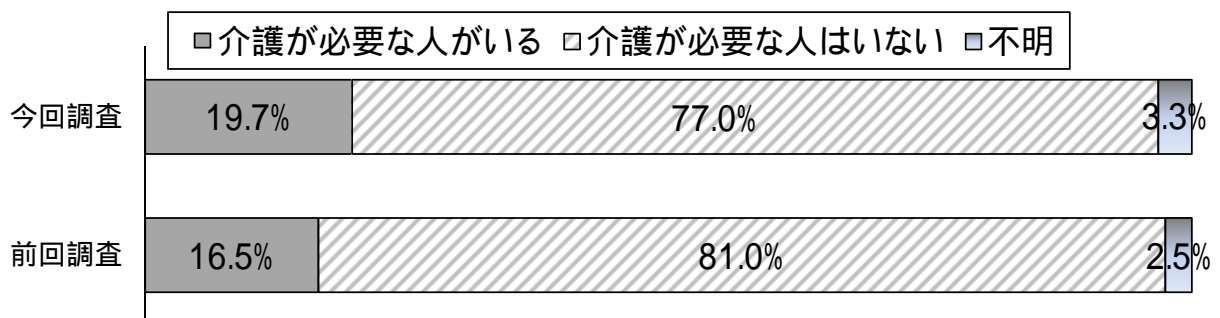
介護が必要な家族の有無を質問したところ、「介護が必要な人がいる」の割合が19.7%、「介護が必要な人はいない」が77.0%で、「介護が必要な人はいない」の割合が高くなっています。

前回調査と比べると、「介護が必要な人がいる」は3.2%高くなっています。

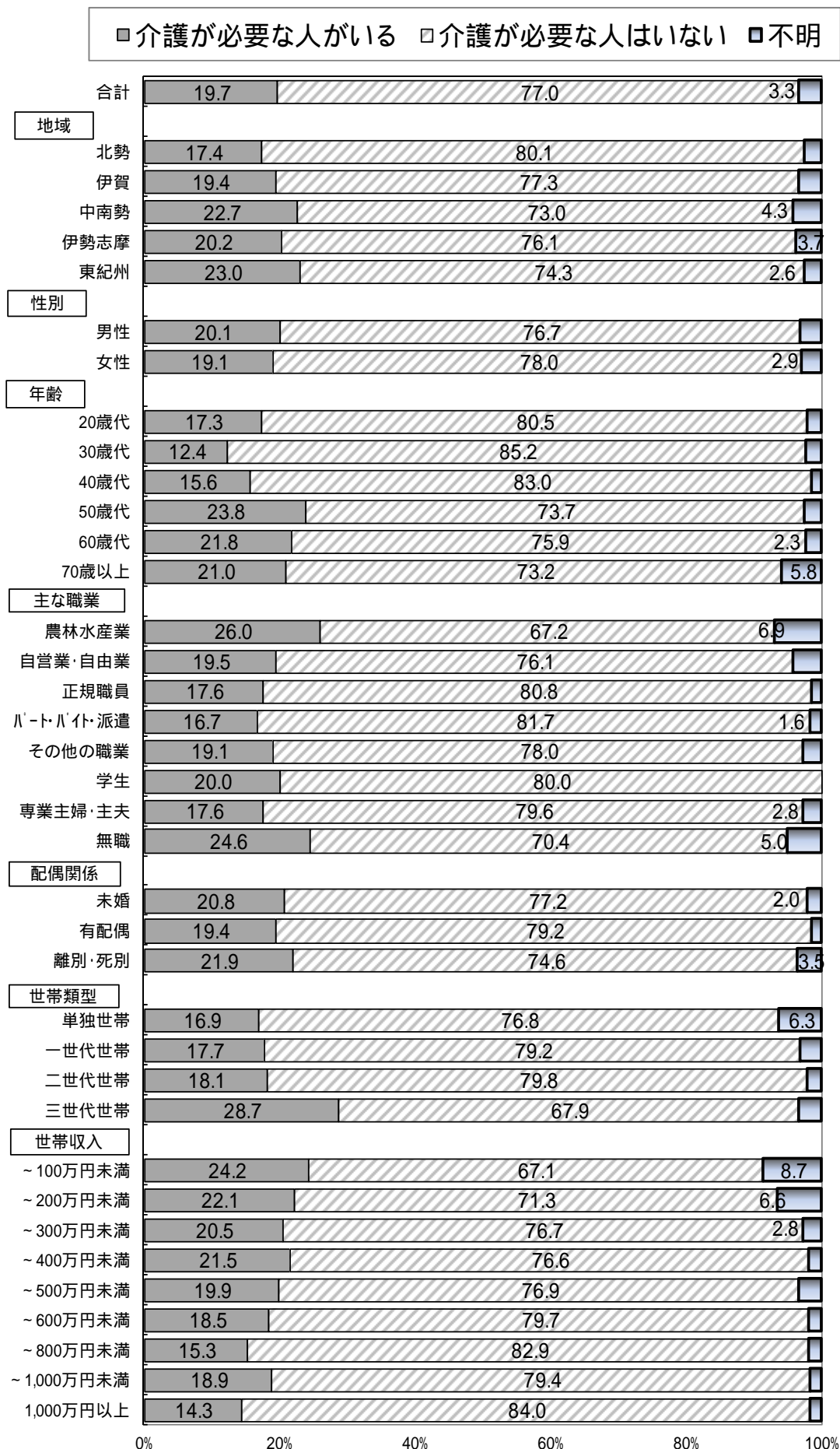
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・年齢(10歳階級)別では、50歳代の「介護が必要な人がいる」の割合が23.8%と最も高く、50歳代以上は20%を超えている。
- ・主な職業別で「介護が必要な人がいる」の割合を見ると、農林水産業(26.0%)が最も高い。
- ・世帯類型別で「介護が必要な人がいる」の割合を見ると、三世帯世帯(28.7%)が最も高い。
- ・世帯年収別で「介護が必要な人がいる」の割合を見ると、100万円未満(24.2%)が最も高い。

図表 2-4-15 介護が必要な家族の有無



図表 2-4-16 介護が必要な家族の有無(属性別)



5. 「新しい豊かさ」を享受できる三重づくり

「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」では、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを進め、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」の実現につなげていくこととしています。

「新しい豊かさ」を、『経済的な豊かさ』、『精神的な豊かさ』、社会保障制度の充実や人とのつながりの再生などの『社会のシステムやつながりの豊かさ』の3つの豊かさ全てを高めていくことで得られるものにとらえ、地域の持続的な活性化とともに、県民の皆さんが希望を持って、希望がかなうような社会づくりをめざしていきます。

ここでは、「将来どんな暮らしができる社会（三重県）が望ましいか」、「地域の住みやすさ」、「仕事と介護が両立できる社会づくりとして何が必要か」などの集計結果について記載しています。

また、今年5月に開催される「伊勢志摩サミット」で期待することの集計結果についても記載しています。

項目	質問文の概要
将来の望ましい社会	・あなたは、将来どんな暮らしができる社会（三重県）が望ましいと思いますか。 (問18)
挑戦できる環境	・あなたの周りには、かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境が整っていると思いますか。 (問19)
挑戦できる環境として何が必要か	・あなたは、自分の意欲や努力以外に、かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境として、何が必要だと思いますか。 (問20)
人とのつながりとは	・あなたは、安心感のある暮らしを送るために必要な「人とのつながり」とはどのようなものだと思いますか。 (問21)
地域の住みやすさ	・あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。 (問22)
愛着を感じる要素とは	・あなたのお住まいの地域について、愛着を感じる要素は何ですか。 (問23)
仕事と介護が両立できる社会づくりとして何が必要か	・県民の皆さんの安心な暮らしのために、また就労継続など個人の希望をかなえる観点から、仕事と介護が両立できる社会づくりが望まれますが、そのような社会づくりのために、あなたは、何が必要だと思いますか。 (問24)
「伊勢志摩サミット」で期待すること	・あなたは、来年5月に開催される伊勢志摩サミットでどのようなことを期待していますか。 (問25)

あなたは、将来どんな暮らしができる社会（三重県）が望ましいと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。（ は2つまで） **問18**

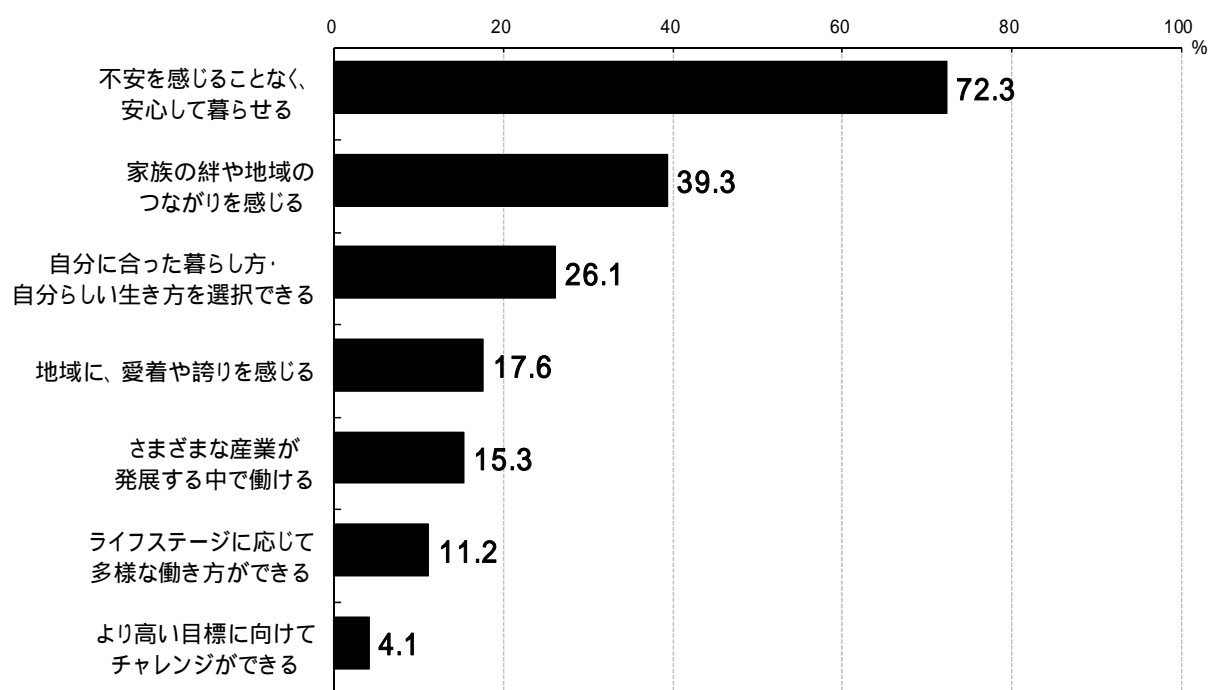
➤ 将来の望ましい社会

将来どんな暮らしができる社会（三重県）が望ましいかについて質問したところ、「不安を感じることなく、安心して暮らせる」の割合が72.3%と最も高く、次いで「家族の絆や地域のつながりを感じる」（39.3%）、「自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を選択できる」（26.1%）の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・全ての属性項目で「不安を感じることなく、安心して暮らせる」の割合が最も高い。
- ・年齢（10歳階級）別で「不安を感じることなく、安心して暮らせる」の割合を見ると、40歳代（75.7%）が最も高い。
- ・主な職業別で「不安を感じることなく、安心して暮らせる」の割合を見ると、専業主婦・主夫（76.5%）が最も高い。
- ・未婚は「自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を選択できる」が2番目に高い。
- ・単独世帯は「家族の絆や地域のつながりを感じる」と「自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を選択できる」が同率で2番目に高い。

図表 2-5-1 将来の望ましい社会



図表 2-5-2 将来の望ましい社会(属性別)

		不安を感じる ことなく、安 心して暮ら せる	家族の絆や 地域のつな がりを感じる	自分に合っ た暮らし方・ 自分らしい 生き方を選 択できる	地域に、愛 着や誇りを 感じる	さまざまな産 業が発展す る中で働け る	ライフステー ジに応じて 多様な働き 方ができる	より高い目 標に向けて チャレンジが できる
全体		72.3	39.3	26.1	17.6	15.3	11.2	4.1
地域	北勢	72.4	38.8	26.6	17.6	14.5	11.3	4.1
	伊賀	73.4	41.4	25.6	14.2	14.4	14.2	4.1
	中南勢	72.8	39.7	25.3	18.5	14.9	10.7	4.3
	伊勢志摩	70.8	39.1	26.3	19.0	17.3	10.0	3.1
	東紀州	70.8	37.0	26.0	14.6	21.9	9.6	5.0
性別	男性	70.7	35.3	26.0	22.5	16.3	9.3	5.8
	女性	73.7	41.8	26.0	14.0	14.7	12.6	3.0
年代	20歳代	64.3	32.4	32.1	21.4	12.1	15.7	7.4
	30歳代	69.8	33.4	24.0	17.2	17.4	17.7	7.0
	40歳代	75.7	33.2	23.4	15.5	17.6	15.7	4.9
	50歳代	74.6	34.5	28.2	15.4	18.8	12.7	3.7
	60歳代	73.9	43.2	26.4	17.1	14.0	10.0	2.9
	70歳以上	70.9	48.5	24.7	20.4	12.4	2.8	2.6
主な職業	農林水産業	68.3	41.3	25.4	25.4	16.7	6.3	4.8
	自営業・自由業	66.7	39.6	27.7	20.1	18.6	9.4	6.3
	正規職員	69.8	32.6	27.1	20.8	17.8	14.0	5.0
	パート・アルバイト派遣	76.4	38.2	23.6	12.2	18.7	14.3	4.3
	その他の職業	71.3	29.6	30.8	18.3	15.8	15.0	2.9
	学生	52.5	37.3	27.1	25.4	10.2	27.1	11.9
	専業主婦・主夫	76.5	46.3	26.6	12.0	13.0	11.6	2.6
	無職	73.7	43.8	24.7	20.2	10.1	4.4	3.1
配偶関係	未婚	67.0	26.7	32.2	20.1	15.7	13.6	8.1
	有配偶	73.6	41.2	25.2	17.0	15.4	11.4	3.3
	離別・死別	72.6	40.4	25.3	17.2	14.2	7.8	3.5
世帯類型	単独世帯	70.7	32.3	32.3	18.4	15.9	6.5	5.7
	一世代世帯	74.5	42.0	25.5	17.0	15.1	8.7	2.9
	二世帯世帯	72.7	36.8	25.7	17.6	15.1	13.5	4.7
	三世帯世帯	68.6	44.2	24.6	17.9	17.2	12.3	4.3
世帯収入	～100万円未満	71.7	42.6	23.9	14.8	11.3	6.5	6.1
	～200万円未満	73.9	41.9	26.1	17.6	13.2	6.4	2.8
	～300万円未満	71.5	41.7	25.8	18.0	15.9	9.3	3.5
	～400万円未満	72.9	40.2	28.2	17.5	14.5	10.4	4.3
	～500万円未満	74.5	37.4	24.0	15.6	17.1	11.9	4.5
	～600万円未満	74.9	37.0	26.4	16.7	15.8	15.4	4.0
	～800万円未満	71.1	38.0	24.9	20.7	15.3	14.4	3.7
	～1,000万円未満	70.9	38.7	25.9	15.4	20.9	13.7	4.7
	1,000万円以上	63.6	39.0	28.4	24.1	16.3	13.8	4.3

凡例： 第1位 第2位 第3位

あなたの周りには、かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境が整っていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

問19

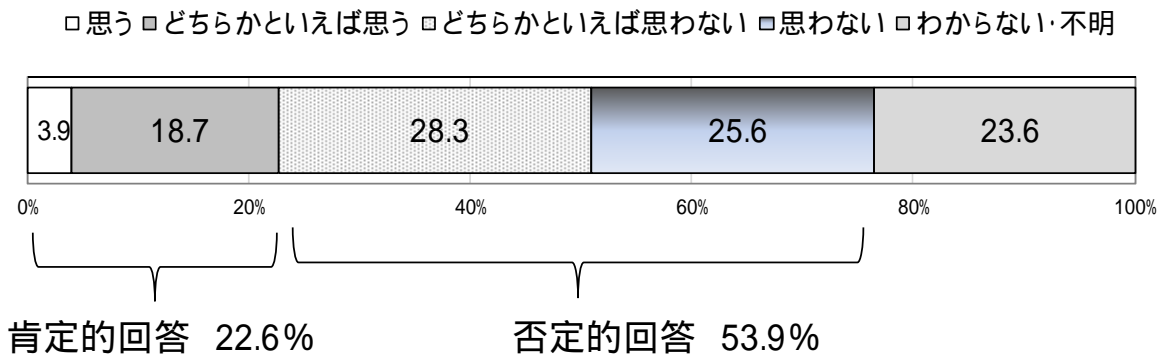
➤ 挑戦できる環境

挑戦できる環境が整っているかについて質問したところ、『否定的回答』の割合が53.9%で、『肯定的回答』の割合(22.6%)より31.3ポイント高くなっています。

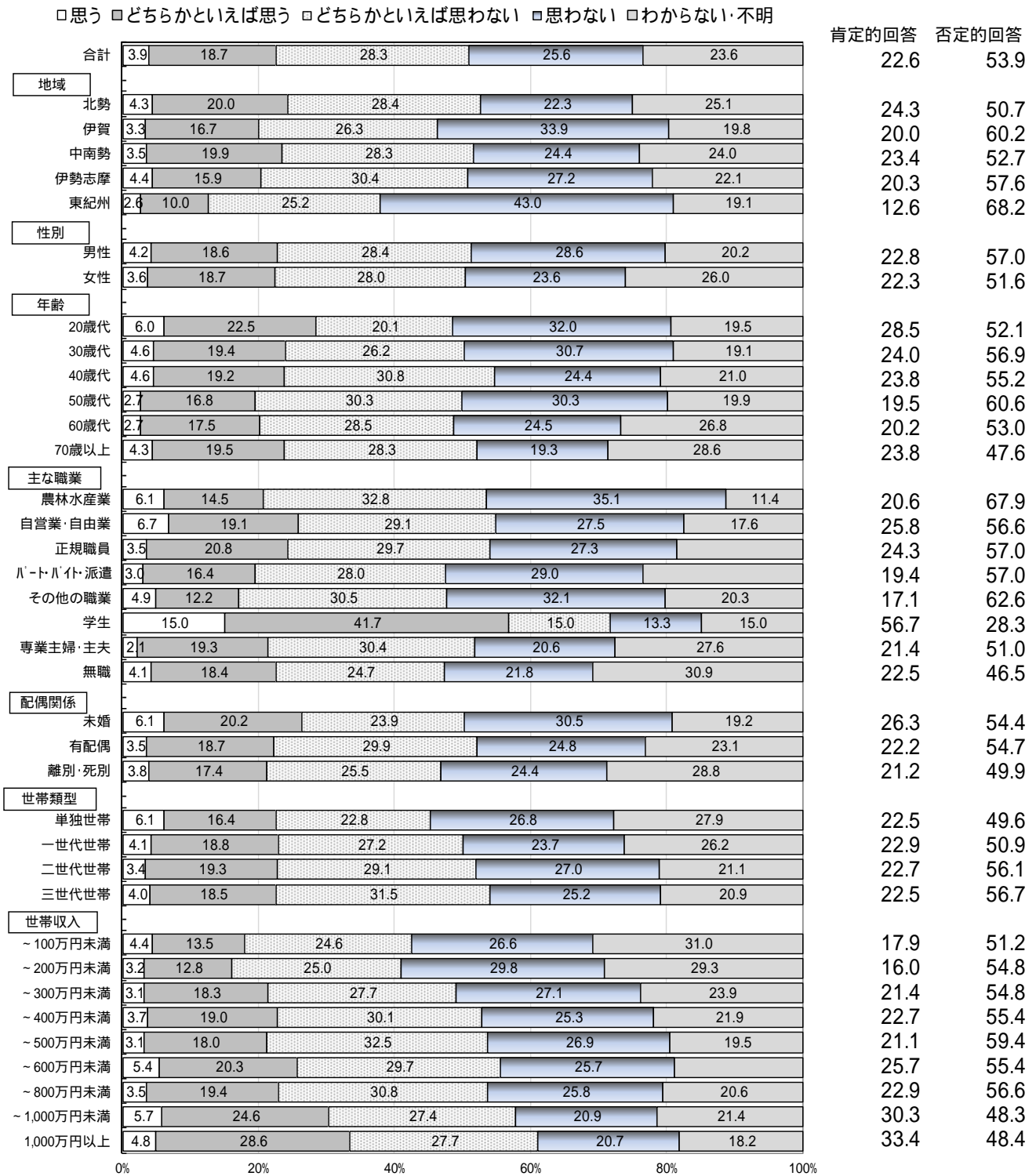
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・地域別では、東紀州の「否定的回答」の割合が68.2%で最も高い。
- ・年齢(10歳階級)別では、20歳代の「肯定的回答」の割合が28.5%で最も高い。
- ・主な職業別では、学生の「肯定的回答」の割合が56.7%で最も高い。
- ・世帯年収別では、1,000万円以上の「肯定的回答」の割合が33.4%で最も高い。

図表 2-5-3 挑戦できる環境



図表 2-5-4 挑戦できる環境(属性別)



「肯定的回答」の割合・・・「思う」と「どちらかといえば思う」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「否定的回答」の割合・・・「思わない」と「どちらかといえば思わない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

あなたは、自分の意欲や努力以外に、かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境として、何が
必要だと思いますか。次の中からあてはまるものに2つまで○をつけてください。(は2つまで)

問20

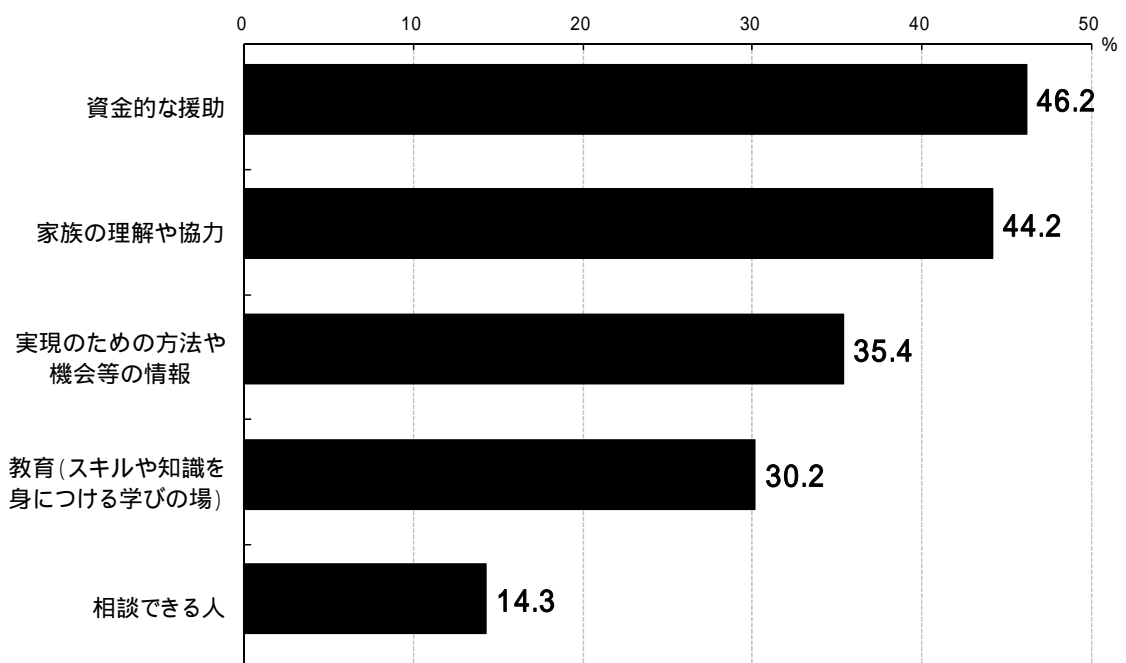
➤ 挑戦できる環境として何が必要か

かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境として、何が必要かについて質問したところ、「資
金的な援助」の割合が46.2%と最も高く、次いで「家族の理解や協力」(44.2%)、「実現のため
の方法や機会等の情報」(35.4%)、「教育(スキルや知識を身につける学びの場)」(30.2%)、
「相談できる人」(14.3%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・男性は「資金的な援助」(45.5%)が最も高く、女性は「家族の理解や協力」(48.2%)が最も
高い。
- ・年齢(10歳階級)別では、20歳代~50歳代で「資金的な援助」が最も高く、60歳以上で「家
族の理解や協力」が最も高い。
- ・年齢(10歳階級)別で「資金的な援助」の割合を見ると、20歳代(60.0%)が最も高く、年代
が上がるに従い割合が低くなっている。
- ・主な職業別では、専業主婦・主夫及び無職を除く全ての職業で「資金的な援助」が最も高く、
専業主婦・主夫及び無職では「家族の理解や協力」が最も高い。
- ・世帯年収別では、100万円未満及び800万円以上で「家族の理解や協力」が最も高く、その他の
区分では「資金的な援助」が最も高い。

図表 2-5-5 挑戦できる環境として何が必要か



図表 2-5-6 挑戦できる環境として何が必要か(属性別)

		資金的な援助	家族の理解や協力	実現のための方法や機会等の情報	教育(スキルや知識を身につける学びの場)	相談できる人
全体		46.2	44.2	35.4	30.2	14.3
地域	北勢	47.4	45.7	34.4	30.1	14.6
	伊賀	45.4	41.3	39.0	30.6	13.3
	中南勢	45.6	44.1	34.8	29.6	15.0
	伊勢志摩	43.5	42.6	36.8	29.4	12.8
	東紀州	47.3	41.4	36.4	35.5	11.8
性別	男性	45.5	39.4	39.6	28.9	14.4
	女性	47.1	48.2	32.3	31.1	14.0
年代	20歳代	60.0	47.4	26.8	36.2	10.7
	30歳代	57.7	45.0	31.7	35.4	10.1
	40歳代	56.1	44.6	27.6	40.0	10.4
	50歳代	50.0	42.9	38.1	32.5	14.2
	60歳代	41.6	44.0	44.0	26.5	13.3
	70歳以上	30.3	45.1	34.7	20.0	21.4
主な職業	農林水産業	48.8	38.4	44.0	23.2	17.6
	自営業・自由業	49.7	42.6	38.1	27.5	16.0
	正規職員	52.1	44.8	35.0	35.6	11.7
	パート・アルバイト・派遣	54.9	43.3	34.4	32.9	11.3
	その他の職業	52.9	36.7	35.8	30.4	9.2
	学生	62.7	50.8	20.3	40.7	8.5
	専業主婦・主夫	40.5	53.1	35.7	31.2	13.0
	無職	32.6	41.7	35.0	22.3	20.8
配偶関係	未婚	48.0	33.2	36.1	36.3	18.5
	有配偶	46.6	47.9	36.1	29.9	11.9
	離別・死別	42.6	36.1	31.1	26.2	22.0
世帯類型	単独世帯	40.3	30.2	34.2	28.0	24.5
	一世代世帯	44.0	46.4	36.4	28.1	13.3
	二世帯世帯	48.8	45.4	34.7	32.2	12.0
	三世帯世帯	48.6	46.2	36.6	30.4	15.0
世帯収入	～100万円未満	39.7	41.8	23.7	22.8	25.4
	～200万円未満	44.8	41.2	30.3	20.4	18.8
	～300万円未満	44.8	38.1	40.5	26.4	16.1
	～400万円未満	48.9	43.2	35.2	33.0	14.1
	～500万円未満	47.5	41.2	39.1	35.2	11.3
	～600万円未満	51.4	46.3	38.4	33.3	9.5
	～800万円未満	50.2	50.7	35.2	33.1	10.2
	～1,000万円未満	45.8	48.1	37.6	35.9	12.2
	1,000万円以上	42.5	49.0	35.1	37.7	11.9

凡例： **第1位** 第2位 第3位

あなたは、安心感のある暮らしを送るために必要な「人とのつながり」とはどのようなものだと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。（は2つまで）

問 2 1

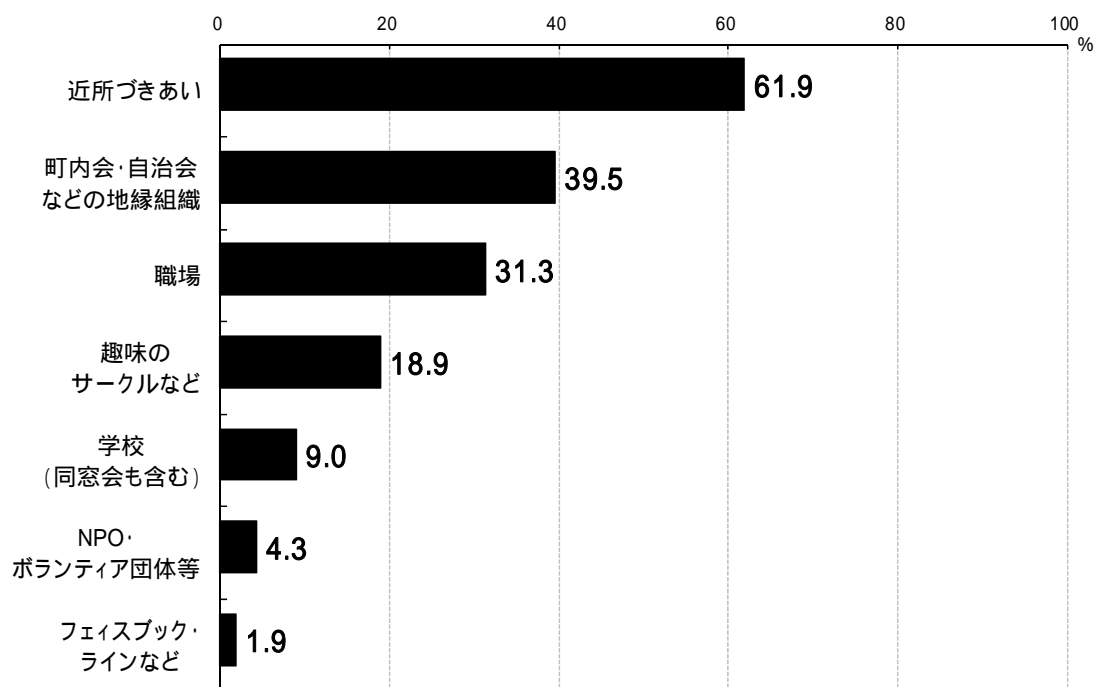
➤ 人とのつながりとは

「人とのつながり」とはどのようなものかについて質問したところ、「近所づきあい」の割合が61.9%と最も高く、次いで「町内会・自治会などの地縁組織」(39.5%)、「職場」(31.3%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・地域、性別、配偶関係、世帯類型、世帯収入では全ての区分で「近所づきあい」が最も高い。
- ・地域別で「近所づきあい」の割合を見ると、東紀州（65.2%）が最も高く、北勢（60.8%）が最も低い。
- ・年齢（10歳階級）別で「近所づきあい」の割合を見ると、70歳以上（68.1%）が最も高く、20歳代（54.4%）が最も低い。
- ・主な職業別で「近所づきあい」の割合を見ると、専業主婦・主夫（71.5%）が最も高く、学生（41.7%）が最も低い。

図表 2-5-7 人とのつながりとは



図表 2-5-8 人とのつながりとは(属性別)

		近所づきあい	町内会・自治会などの地縁組織	職場	趣味のサークルなど	学校(同窓会も含む)	NPO・ボランティア団体等	フェイスブック・ラインなど
全体		61.9	39.5	31.3	18.9	9.0	4.3	1.9
地域	北勢	60.8	38.8	31.1	19.1	8.9	4.2	2.0
	伊賀	63.2	42.4	28.1	20.2	7.5	5.7	1.4
	中南勢	61.2	40.1	30.6	19.5	10.2	3.8	2.1
	伊勢志摩	64.8	40.6	33.9	15.8	8.6	3.9	1.8
	東紀州	65.2	33.9	37.9	20.1	6.3	5.8	0.9
性別	男性	57.5	42.6	33.7	19.9	7.4	4.4	2.0
	女性	65.1	36.7	30.2	18.0	10.3	4.3	1.9
年代	20歳代	54.4	16.7	59.6	17.8	21.6	1.9	4.1
	30歳代	59.0	27.3	47.7	14.9	15.8	2.1	3.4
	40歳代	58.0	28.6	43.5	13.1	14.2	3.5	2.9
	50歳代	60.1	37.5	40.4	15.4	6.3	4.8	2.2
	60歳代	64.7	48.4	20.5	21.7	4.5	5.7	0.6
	70歳以上	68.1	53.5	9.1	25.4	4.3	5.2	0.6
主な職業	農林水産業	66.9	61.3	20.2	12.9	3.2	7.3	1.6
	自営業・自由業	61.6	38.9	31.8	18.7	8.2	3.8	3.8
	正規職員	55.2	32.4	52.8	14.9	10.6	3.3	1.7
	パート・アルバイト・派遣	59.8	34.5	42.4	17.1	9.3	3.5	2.7
	その他の職業	58.2	32.9	37.6	16.0	12.2	4.6	0.8
	学生	41.7	10.0	68.3	15.0	46.7	1.7	3.3
	専業主婦・主夫	71.5	42.2	11.3	21.5	10.6	5.3	1.4
	無職	66.0	49.7	10.5	24.7	4.2	5.5	1.2
配偶関係	未婚	51.5	25.5	48.0	19.2	13.5	3.2	4.9
	有配偶	63.2	41.7	29.5	18.8	8.7	4.2	1.6
	離別・死別	65.8	41.2	24.8	20.8	5.1	4.8	0.8
世帯類型	単独世帯	58.3	36.9	26.2	22.6	7.8	5.6	1.2
	一世代世帯	62.3	43.2	25.1	23.6	6.8	5.1	1.4
	二世帯世帯	61.4	36.2	36.7	15.9	11.0	3.8	2.0
	三世帯世帯	65.1	42.5	32.7	16.4	8.2	3.5	3.0
世帯収入	～100万円未満	70.1	43.6	17.9	15.4	5.6	4.7	3.4
	～200万円未満	66.2	43.3	18.9	20.7	6.0	4.6	2.0
	～300万円未満	58.0	45.1	27.0	21.2	6.6	6.2	1.7
	～400万円未満	62.2	41.5	28.6	22.2	8.2	4.5	2.0
	～500万円未満	58.3	39.7	32.9	19.5	10.5	5.3	1.9
	～600万円未満	61.4	37.7	36.2	17.9	11.3	3.3	1.5
	～800万円未満	61.5	36.0	43.1	12.6	10.5	3.0	1.7
	～1,000万円未満	63.1	39.5	38.4	17.7	9.0	3.5	2.0
	1,000万円以上	61.4	36.1	41.8	19.0	12.8	2.8	1.7

凡例： **第1位** 第2位 第3位

あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ) 問 2 2

➤ 地域の住みやすさ

お住まいの地域が住みやすいかについて質問したところ、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計した『肯定的回答』の割合が 82.2%で、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計した『否定的回答』の割合(13.5%)より 68.7 ポイント高くなっています。

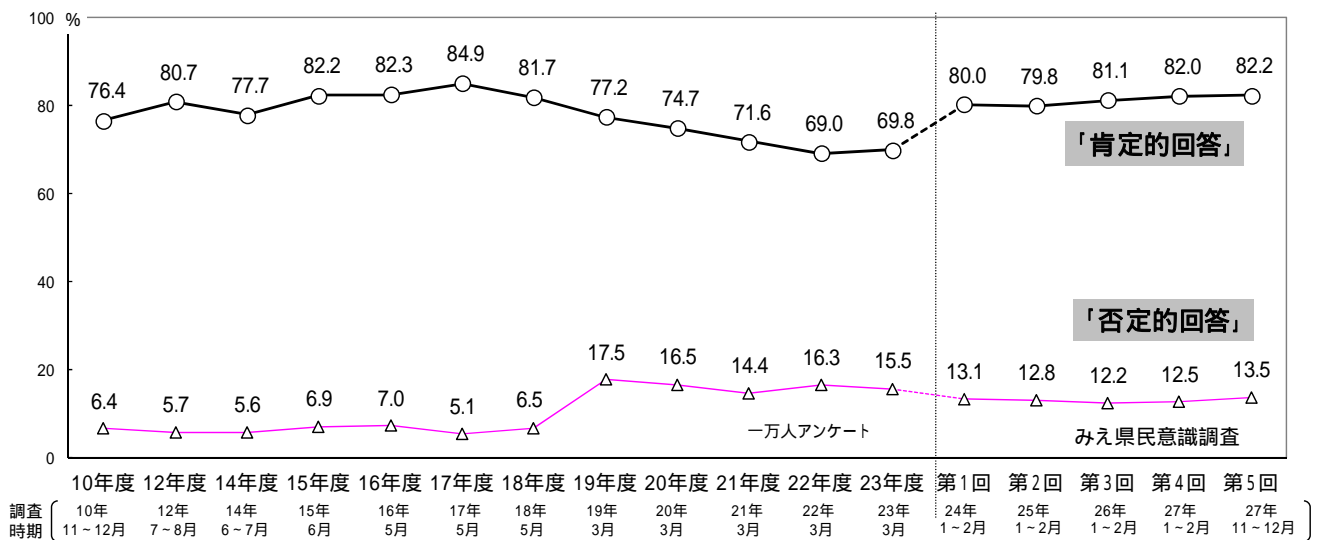
前回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 0.2 ポイント、『否定的回答』が 1.0 ポイントそれぞれ高くなっています。

第 1 回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 2.2 ポイント、『否定的回答』が 0.4 ポイントそれぞれ高くなっています。

➤ 一万人アンケートの結果を含む推移

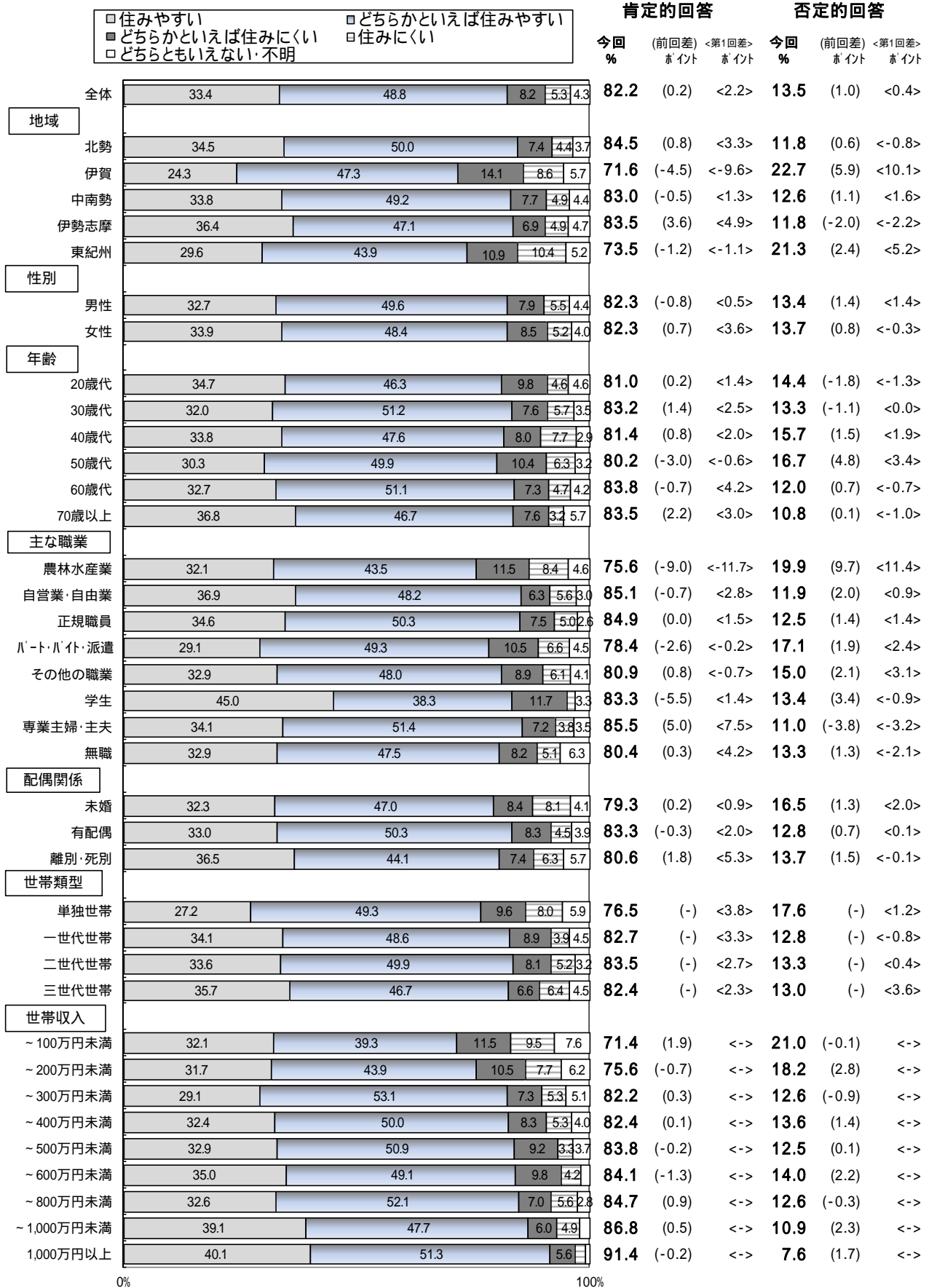
地域の住みやすさについての意識は平成 10 年度からの一万人アンケートから継続して調査しています。一万人アンケートの結果を含む推移は以下のとおりです。

図表 2-5-9 (参考)一万人アンケート(23年度まで)とみえ県民意識調査の「地域の住みやすさ」の推移



一万人アンケートの「肯定的回答」…「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計したもの。
 一万人アンケートの「否定的回答」…「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計したもの。

図表 2-5-10 地域の住みやすさ(属性別)



「肯定的回答」の割合・・・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「否定的回答」の割合・・・「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

あなたのお住まいの地域について、愛着を感じる要素として、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(はいいくつでも)

問 2 3

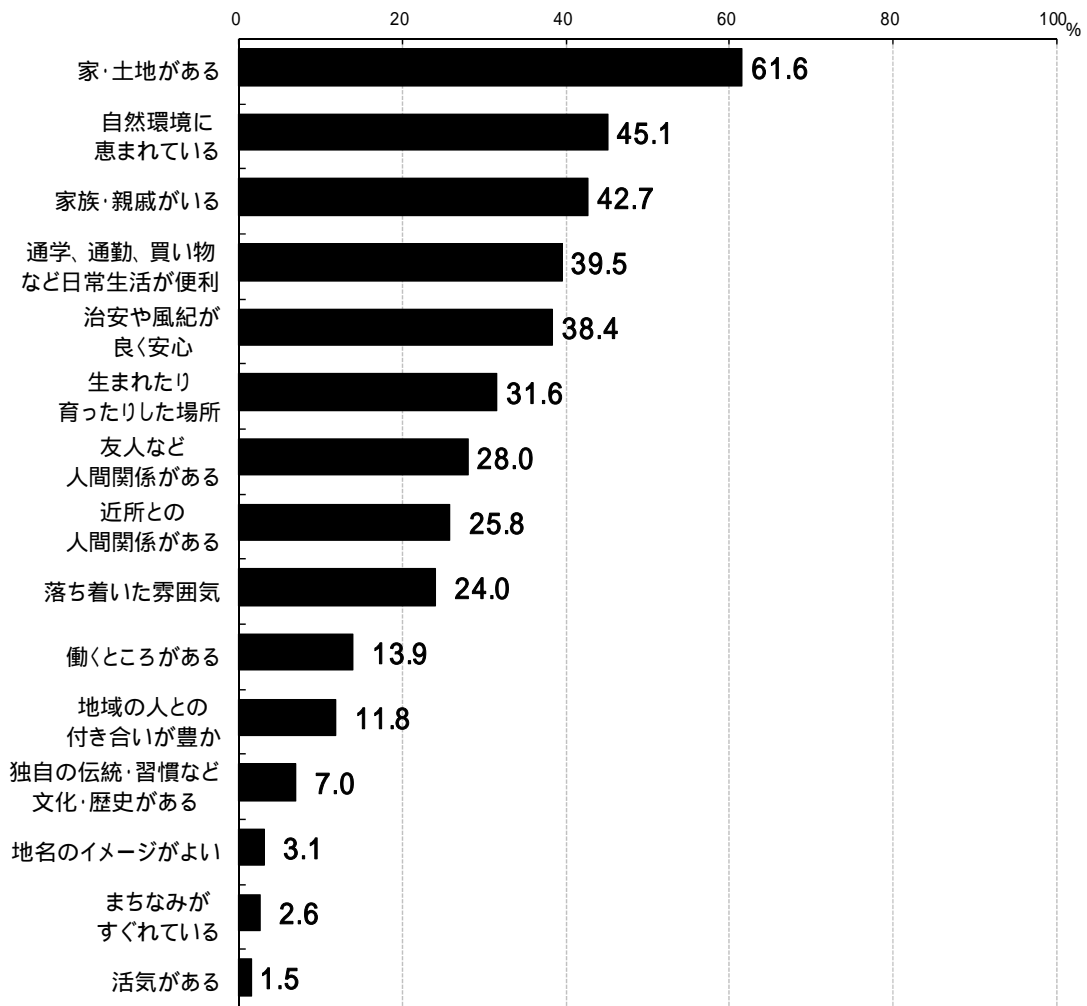
➤ 愛着を感じる要素とは

「家・土地がある」の割合が61.6%と最も高く、次いで「自然環境に恵まれている」(45.1%)、「家族・親戚がいる」(42.7%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・地域別では東紀州を除く全ての地域で「家・土地がある」が最も高く、東紀州では「自然環境に恵まれている」が最も高い。
- ・年齢(10歳階級)別では20歳代を除く全ての年代で「家・土地がある」が最も高く、20歳代では「家族・親戚がいる」が最も高い。
- ・主な職業別では学生を除く全ての職業で「家・土地がある」が最も高く、学生では「家族・親戚がいる」が最も高い。
- ・未婚は「生まれたり育ったりした場所」が最も高い。

図表 2-5-11 愛着を感じる要素とは



図表 2-5-12 愛着を感じる要素とは(属性別、全体の上位7項目)

		家・土地がある	自然環境に恵まれている	家族・親戚がいる	通学、通勤、買い物など日常生活が便利	治安や風紀が良く安心	生まれたり育ったりした場所	友人など人間関係がある
全体		61.6	45.1	42.7	39.5	38.4	31.6	28.0
地域	北勢	58.7	36.9	41.4	46.8	34.9	28.8	26.1
	伊賀	65.1	58.7	38.5	23.6	41.1	28.7	28.1
	中南勢	62.9	43.9	42.5	41.9	40.8	29.6	27.6
	伊勢志摩	66.8	57.6	48.1	29.3	41.6	42.5	31.3
	東紀州	59.4	68.3	51.3	14.7	43.3	45.5	38.8
性別	男性	62.3	43.1	40.0	38.8	40.1	37.4	22.3
	女性	60.7	46.2	44.8	40.4	37.2	27.2	31.7
年代	20歳代	41.1	38.4	54.2	42.5	29.2	48.0	33.2
	30歳代	45.9	32.5	43.8	44.6	32.5	36.5	29.3
	40歳代	50.5	39.8	43.6	45.0	33.3	31.5	25.5
	50歳代	64.0	44.3	42.6	40.8	39.3	30.1	24.3
	60歳代	72.8	52.0	40.5	38.3	42.8	26.4	27.1
	70歳以上	71.1	51.1	40.8	32.9	43.4	30.2	30.8
主な職業	農林水産業	73.2	61.4	43.3	20.5	37.8	59.8	30.7
	自営業・自由業	68.6	46.9	43.6	39.2	43.1	34.7	34.5
	正規職員	54.5	39.0	45.4	45.4	34.9	38.7	24.5
	パート・アルバイト派遣	56.9	43.7	42.4	40.9	34.9	26.6	27.0
	その他の職業	66.3	48.1	47.7	39.1	36.6	39.9	22.6
	学生	48.3	31.7	66.7	40.0	28.3	61.7	45.0
	専業主婦・主夫	64.8	47.0	42.2	43.9	42.2	19.0	32.9
	無職	66.4	48.5	37.8	31.8	42.1	28.3	25.4
配偶関係	未婚	48.8	39.3	45.1	38.3	32.0	49.8	28.3
	有配偶	64.2	46.2	42.6	41.2	40.4	27.4	27.0
	離別・死別	61.6	44.7	41.3	33.7	35.1	34.2	32.2
世帯類型	単独世帯	51.3	41.9	22.9	33.5	33.7	28.2	27.5
	一世代世帯	64.8	47.4	40.0	39.2	39.4	24.8	27.5
	二世帯世帯	59.3	42.2	44.9	42.1	37.6	33.2	27.1
	三世帯世帯	68.8	52.0	55.7	37.1	41.8	43.1	32.1
世帯収入	～100万円未満	55.0	47.1	30.4	26.3	29.2	30.8	26.7
	～200万円未満	62.6	43.4	38.4	34.8	33.3	29.4	29.5
	～300万円未満	65.1	46.9	39.5	37.7	39.0	29.7	25.5
	～400万円未満	63.8	51.1	39.6	38.9	42.5	28.8	27.1
	～500万円未満	57.8	45.0	42.7	42.4	37.7	29.9	27.8
	～600万円未満	59.9	43.2	40.4	45.2	39.2	30.4	29.1
	～800万円未満	60.3	42.2	47.5	41.7	38.6	35.4	28.2
	～1,000万円未満	61.0	42.8	50.6	42.8	41.9	33.8	28.6
	1,000万円以上	65.1	42.8	51.0	51.5	47.3	34.9	30.1

凡例： 第1位 第2位 第3位

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

県民の皆さんの安心な暮らしのために、また就労継続など個人の希望をかなえる観点から、仕事と介護が両立できる社会づくりが望まれますが、そのような社会づくりのために、あなたは、何が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。 **問24**

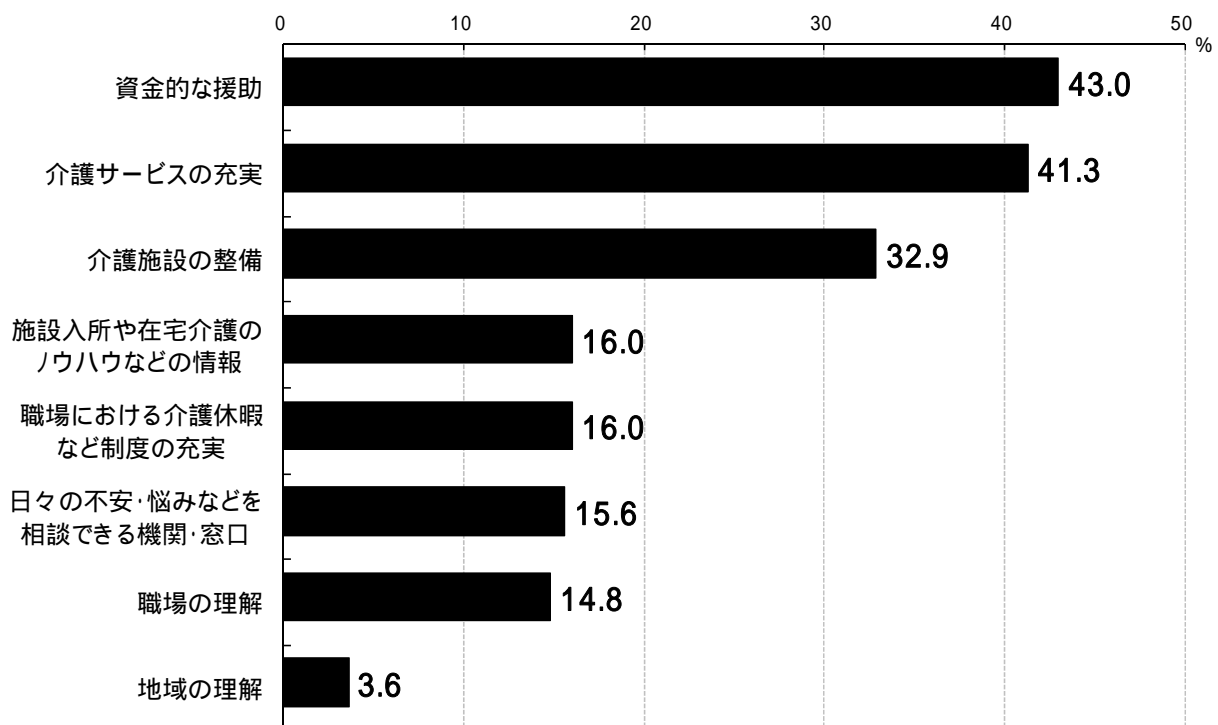
➤ 仕事と介護が両立できる社会づくりとして何が必要か

仕事と介護が両立できる社会づくりとして何が必要かについて質問したところ、「資金的な援助」の割合が43.0%と最も高く、次いで「介護サービスの充実」(41.3%)、「介護施設の整備」(32.9%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・地域別では、中南勢を除く全ての地域で「資金的な援助」が最も高く、中南勢では「介護サービスの充実」が最も高い。
- ・年齢(10歳階級)別では、20歳代~50歳代で「資金的な援助」が最も高く、60歳代以上では「介護サービスの充実」が最も高い。
- ・主な職業別では、自営業・自由業、正規職員、パート・バイト・派遣で「資金的な援助」が最も高く、学生、専業主婦・主夫は「介護サービスの充実」が最も高い。また、「資金的な援助」はパート・バイト・派遣の50.6%が最も高い。

図表 2-5-13 仕事と介護が両立できる社会づくりとして何が必要か



図表 2-5-14 仕事と介護が両立できる社会づくりとして何が必要か(属性別)

		資金的な援助	介護サービスの充実	介護施設の整備	施設入所や在宅介護のノウハウなどの情報	職場における介護休暇など制度の充実	日々の不安・悩みなどを相談できる機関・窓口	職場の理解	地域の理解
全体		43.0	41.3	32.9	16.0	16.0	15.6	14.8	3.6
地域	北勢	43.0	42.9	32.3	15.4	15.9	14.6	15.2	3.2
	伊賀	45.3	37.0	29.3	17.9	16.6	18.3	16.6	3.7
	中南勢	41.6	41.9	34.9	15.8	17.1	15.3	13.7	3.8
	伊勢志摩	42.2	40.9	30.7	16.7	14.3	17.7	14.6	5.0
	東紀州	50.0	31.4	41.4	17.1	13.3	14.8	13.3	2.9
性別	男性	43.9	39.9	37.7	14.7	14.0	15.0	13.4	4.0
	女性	42.5	42.3	29.6	16.8	17.5	16.0	15.7	3.4
年代	20歳代	49.5	36.3	20.8	6.3	25.1	12.6	30.3	4.1
	30歳代	49.3	34.0	22.0	8.5	29.2	10.3	26.1	3.1
	40歳代	52.3	39.3	25.1	11.3	20.4	13.4	23.0	2.3
	50歳代	43.6	43.2	35.8	16.6	16.2	15.2	14.2	3.2
	60歳代	38.6	45.7	37.7	19.7	11.8	17.7	8.8	4.1
	70歳以上	34.9	42.2	41.9	22.4	6.3	19.2	3.5	4.6
主な職業	農林水産業	40.0	47.2	38.4	24.0	7.2	16.0	5.6	7.2
	自営業・自由業	45.8	43.3	33.2	17.2	9.5	17.8	9.3	4.5
	正規職員	45.6	38.8	30.9	11.4	23.6	11.7	22.7	3.2
	パート・アルバイト派遣	50.6	40.3	26.9	13.3	19.5	14.0	19.1	2.2
	その他の職業	44.2	35.4	30.0	12.5	17.5	17.5	17.9	5.8
	学生	33.9	54.2	20.3	8.5	20.3	15.3	28.8	6.8
	専業主婦・主夫	37.1	46.6	33.5	19.2	16.2	17.0	12.1	3.4
配偶関係	無職	37.1	40.1	41.6	21.1	7.3	18.9	5.4	4.1
	未婚	42.9	35.0	24.9	11.5	21.3	16.2	24.8	4.4
	有配偶	43.9	43.5	34.4	16.1	15.9	15.0	13.7	3.3
世帯類型	離別・死別	39.9	36.8	32.7	19.7	11.3	17.8	10.6	4.8
	単独世帯	38.0	36.8	31.9	19.9	12.5	16.9	13.2	4.2
	一世代世帯	40.7	44.1	37.1	18.5	14.1	15.6	9.3	3.9
	二世代会世帯	46.0	40.0	31.3	13.6	18.1	14.6	17.6	3.4
	三世代会世帯	42.1	42.6	31.3	16.8	15.6	17.3	18.4	3.5
世帯収入	~100万円未満	42.3	38.7	36.9	17.6	9.5	18.0	6.3	4.1
	~200万円未満	46.0	37.4	31.6	21.6	8.6	19.0	8.4	3.6
	~300万円未満	43.1	38.2	33.8	17.7	12.3	20.1	12.0	4.4
	~400万円未満	42.2	44.2	33.2	16.3	16.8	14.0	14.0	3.9
	~500万円未満	43.0	43.6	29.6	15.5	21.2	15.0	15.5	3.0
	~600万円未満	44.7	42.8	30.5	14.8	19.6	13.5	18.9	3.7
	~800万円未満	47.7	41.9	33.4	12.2	19.7	11.8	18.9	2.9
	~1,000万円未満	40.4	46.6	36.0	13.6	16.5	13.3	19.8	2.9
	1,000万円以上	34.3	44.4	36.3	17.0	18.7	14.7	16.7	3.5

凡例： 第1位 第2位 第3位

あなたは、来年5月に開催される伊勢志摩サミットでどのようなことを期待していますか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいいくつでも) 問25

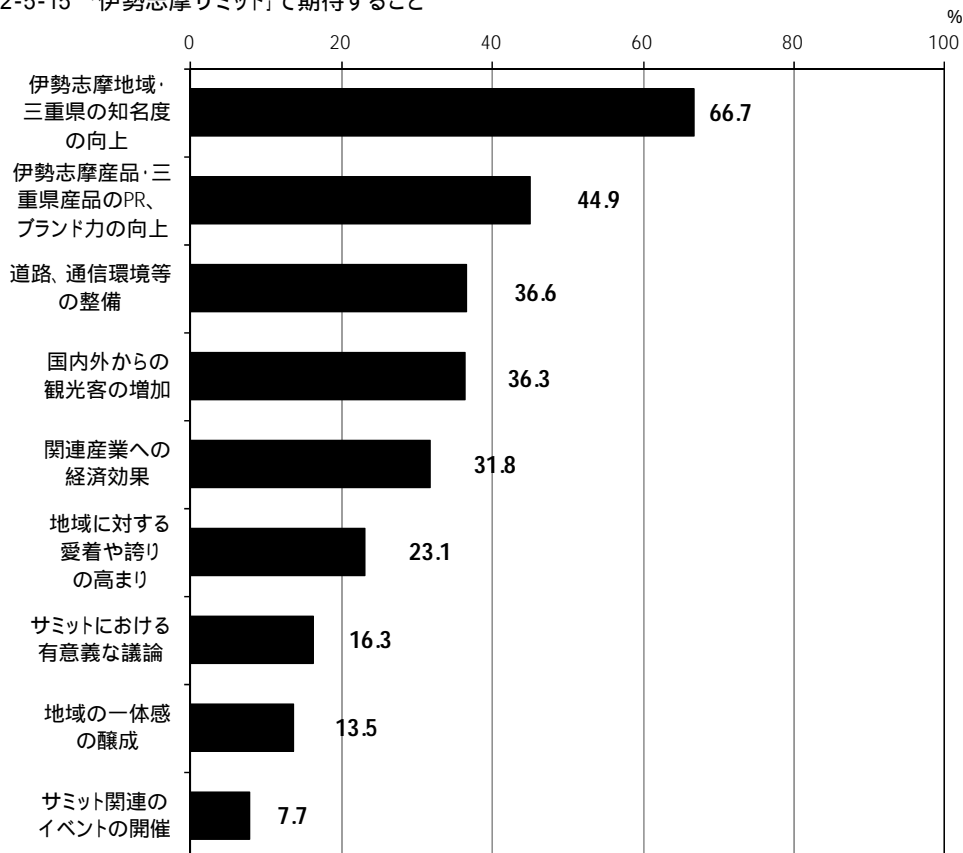
➤ 「伊勢志摩サミット」で期待すること

伊勢志摩サミットでどのようなことを期待するかについて質問したところ、「伊勢志摩地域・三重県の知名度の向上」の割合が66.7%と最も高く、次いで「伊勢志摩産品・三重県産品のPR、ブランド力の向上」(44.9%)、「道路、通信環境等の整備」(36.6%)、「国内外からの観光客の増加」(36.3%)の順となっています。

属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・地域別に見ると、「伊勢志摩地域・三重県の知名度の向上」、「地域に対する愛着や誇りの高まり」、「地域の一体感の醸成」については、サミットが開催される伊勢志摩がそれぞれ最も高くなっています。また、「伊勢志摩産品・三重県産品のPR、ブランド力の向上」は中南勢が最も高く、「道路、通信環境等の整備」、「国内外からの観光客の増加」は東紀州がそれぞれ最も高くなっています。
- ・主な職業別に見ると、「伊勢志摩地域・三重県の知名度の向上」については、農林水産業が最も高くなっています。また、「伊勢志摩産品・三重県産品のPR、ブランド力の向上」は専業主婦・主夫が、「道路、通信環境等の整備」は正規職員が、「国内外からの観光客の増加」は学生がそれぞれ最も高くなっています。

図表 2-5-15 「伊勢志摩サミット」で期待すること



図表 2-5-16 「伊勢志摩サミット」で期待すること(属性別)

		伊勢志摩地 域・三重県 の知名度の 向上	伊勢志摩産 品・三重県 産品のPR、 ブランド力の 向上	道路、通信 環境等の整 備	国内外から の観光客の 増加	関連産業へ の経済効果	地域に対す る愛着や誇 りの高まり	サミットにお ける有意義 な議論	地域の一体 感の醸成	サミット関連 のイベントの 開催
全体		66.7	44.9	36.6	36.3	31.8	23.1	16.3	13.5	7.7
地域	北勢	66.2	44.0	35.0	34.7	31.5	22.8	17.8	12.7	7.2
	伊賀	65.1	46.0	36.7	40.9	33.7	18.1	18.3	12.9	7.5
	中南勢	67.3	47.3	36.5	35.7	32.2	24.6	15.8	14.0	8.7
	伊勢志摩	67.9	44.6	40.3	36.8	30.7	26.1	12.1	16.4	8.6
	東紀州	67.8	36.4	43.0	44.4	31.3	17.8	12.6	11.2	4.7
性別	男性	66.0	42.8	41.5	36.4	31.2	22.3	17.5	13.6	7.0
	女性	67.3	46.5	33.2	36.1	32.3	23.5	15.5	13.4	8.2
年代	20歳代	59.3	42.5	35.0	38.5	33.9	20.3	9.2	9.2	6.0
	30歳代	59.9	43.6	35.7	34.4	34.7	21.3	14.0	10.5	7.3
	40歳代	60.6	41.6	38.3	32.7	32.7	19.6	17.6	11.4	8.0
	50歳代	63.6	45.7	37.5	30.0	34.5	20.3	14.8	12.1	6.5
	60歳代	73.2	47.9	35.9	38.5	31.3	24.4	17.5	15.7	7.5
	70歳以上	73.7	45.5	36.6	42.2	27.5	28.5	19.1	17.1	9.5
主な職業	農林水産業	75.4	50.0	36.9	37.7	23.1	27.7	18.5	17.7	6.2
	自営業・自由業	65.6	44.5	34.9	36.0	32.9	21.3	14.5	13.8	5.7
	正規職員	61.8	43.1	41.3	35.3	35.1	20.1	15.0	10.9	7.0
	パート・アルバイト派遣	66.4	44.9	34.5	33.6	34.9	21.6	15.6	12.6	7.4
	その他の職業	61.0	40.2	37.0	33.7	27.2	21.5	13.0	12.6	8.1
	学生	60.0	50.0	31.7	51.7	31.7	23.3	11.7	10.0	5.0
	専業主婦・主夫	71.8	52.2	33.9	37.0	33.0	27.0	19.0	15.5	8.6
	無職	70.3	42.4	36.2	39.2	26.3	25.2	18.3	15.3	9.1
配偶関係	未婚	56.8	42.2	35.7	34.0	33.1	20.7	14.6	10.1	6.6
	有配偶	68.2	45.7	38.0	36.3	32.6	23.4	17.2	14.1	7.8
	離別・死別	68.7	42.0	30.5	40.3	26.8	23.0	14.2	14.2	8.2
世帯類型	単独世帯	66.0	43.1	34.2	38.3	31.3	24.4	14.1	11.0	8.1
	一世代世帯	70.1	46.0	35.7	39.4	31.7	23.8	17.0	13.6	8.3
	二世帯世帯	65.0	43.7	38.1	34.0	32.1	21.6	16.6	13.2	6.8
	三世帯世帯	66.8	48.5	35.6	36.6	32.3	25.2	16.3	15.2	8.9
世帯収入	～100万円未満	65.8	36.8	32.9	31.2	23.5	24.8	16.2	13.7	9.4
	～200万円未満	67.1	45.0	33.3	37.2	24.2	25.1	12.7	12.5	7.2
	～300万円未満	66.8	44.7	36.9	37.2	31.6	24.0	17.6	15.6	6.9
	～400万円未満	69.7	45.3	35.2	40.9	32.7	23.2	18.3	13.5	7.5
	～500万円未満	69.5	45.4	38.5	36.2	35.5	22.5	17.5	13.3	9.0
	～600万円未満	66.9	43.3	37.3	36.0	32.9	22.1	15.9	12.1	6.9
	～800万円未満	65.7	45.2	38.4	34.0	35.4	21.9	17.5	14.4	7.9
	～1,000万円未満	64.6	51.9	39.7	35.1	35.1	22.6	18.8	15.9	8.1
1,000万円以上	67.3	50.9	40.9	37.8	35.8	22.2	12.5	11.4	6.8	

凡例： 第1位 第2位 第3位

その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数5,236人のうち、1,358人の方から自由意見が寄せられました。

いただいた自由意見について、調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の2つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見(194件)

今後できるだけ多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

目的や活用に関すること

- ・ 調査の集計だけに終わらず、県政に反映させて県民が安心して生活できる全国一番の県に近づくよう努力してほしい。
- ・ 過去4回の調査は本当に生かされているのか。
- ・ このようなアンケートは今後行ってほしい。日頃感じた事も、個人の意見として声が届くなら、そして少しでも発展に貢献できるならと思い、回答した。

調査票の内容や構成に関すること

- ・ 「幸福感」の定義は、人それぞれ解釈が異なるのではないか。意識調査をして数値化し、そこから具体的な対策が見つかるのか。
- ・ 若い世代に対する質問が多く、高齢者世代には答えにくかった。
- ・ 質問の内容が理解しにくいものがあり、答えにくかった。実感していないものは答えにくい。
- ・ 選択肢がどれもあてはまらず、無理に回答したものが多数あった。

その他(実施方法、分析、公表など)に関すること

- ・ インターネットによる回答にしても良いのではないか。
- ・ 集計結果はホームページではなく、協力者全員に書面で配付すべきである。
- ・ 調査は年末でない方が良い。
- ・ 住んでいる地域や三重県について考え直す良いきっかけとなった。

(2) 調査以外のことに関する御意見 (延べ 1 , 4 1 5 件)

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民カビジョン」における 15 の政策別、サミット関係、その他に分類した内訳は次のとおりです。

「みえ県民カビジョン」

01. 防災・減災	27 件
02. 命を守る	88 件
03. 共生の福祉社会	112 件
04. 暮らしの安全を守る	62 件
05. 環境を守る	22 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	18 件
07. 学びの充実	82 件
08. 希望がかなう少子化対策の推進	94 件
09. スポーツの推進	11 件
10. 地域の活力の向上	76 件
11. 農林水産業	26 件
12. 強じんて多様な産業	34 件
13. 世界に開かれた三重	47 件
14. 雇用の確保と多様な働き方	98 件
15. 安心と活力を生み出す基盤	134 件

サミット関係 152 件

その他(行政全般・知事に対して等) 332 件

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数(N) および回答率(P)によって決定されます。

標本誤差 $E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$	E : 標本誤差 N : 回答数(人) P : 回答率(%)
--	--------------------------------------

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,236件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad 1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 2

1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400

第5回みえ県民意識調査 調査票（アンケート用紙）

1. 日ごろ感じている幸福感についておききします

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけで囲んでください。（は1つだけ）

とても 不 幸											とても 幸 せ
0点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10点	

問1-2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。（はいくつでも）

1 家計の状況（所得・消費）	8 趣味、社会貢献などの生きがい
2 就業状況（仕事の有無・安定）	9 家族関係
3 健康状況	10 友人関係
4 自由な時間	11 職場の人間関係
5 充実した余暇	12 地域コミュニティとの関係
6 仕事の充実度	13 政治、行政
7 精神的なゆとり	

問1-3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまでをつけてください。（は2つまで）

1 自分自身の努力	4 社会（地域住民、NPO等）の助け合い
2 家族との助け合い	5 職場からの支援
3 友人や仲間との助け合い	6 国や地方の政府からの支援

2. 地域や社会の状況について、あなたの実感をおききします

問2 次の(1)から(15)までの15の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

	1 感じる	2 どちらかといえば感じる	3 どちらかといえば感じない	4 感じない	5 わからない
(1) 災害の危機への備えが進んでいると感じますか。	1	2	3	4	5
(2) 必要な医療サービスを利用できていると感じますか。	1	2	3	4	5
(3) 必要な福祉サービスを利用できていると感じますか。	1	2	3	4	5
(4) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らしていると感じますか。	1	2	3	4	5
(5) 身近な自然や環境が守られていると感じますか。	1	2	3	4	5
(6) 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じますか。	1	2	3	4	5
(7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。	1	2	3	4	5

	1 感じる	2 どちらかといえば感じる	3 どちらかといえば感じない	4 感じない	5 わからない
(8) 結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じますか。	1	2	3	4	5
(9) スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じますか。	1	2	3	4	5
(10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。	1	2	3	4	5
(11) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。	1	2	3	4	5
(12) 県内の産業活動が活発であると感じますか。	1	2	3	4	5
(13) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。	1	2	3	4	5
(14) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。	1	2	3	4	5
(15) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。	1	2	3	4	5

現在、三重県では今後4年間の取組を示す「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画（仮称）」を策定中ですが、次の問3から問10の施策は、県民の皆さんの実感や状況で成果を測る予定です。次の問3から問10の質問それぞれについて、ご回答ください。

問3 【人権が尊重される社会づくり】あなたは、県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっていると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

問4 【あらゆる分野における女性活躍の推進】あなたは、あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

問5 【多文化共生社会づくり】あなたは、外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっていると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

問6 【少子化対策を進めるための環境づくり】あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|---------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 どちらかといえば感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば感じない | |

問7 【地域スポーツと障がい者スポーツの推進】あなたは、1週間にどのくらい運動やスポーツを実施していますか。(○は1つだけ)

運動やスポーツの例：ラジオ体操、ストレッチ体操、腹筋・背筋など軽いトレーニング、ウォーキング、ランニング、水泳、ゴルフ、テニス、バレーボールなどのさまざまな運動やスポーツ(通勤方法に徒歩や自転車をいれるなど日常生活での工夫した運動も含む)

1 毎日	5 月に1~2回
2 週に5~6回	6 運動していない
3 週に3~4回	7 わからない
4 週に1~2回	

問8 【協創のネットワークづくり】あなたは、NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加されていますか。あなたの状況にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

1 している	4 していない
2 どちらかといえばしている	5 わからない
3 どちらかといえばしていない	

問9 【農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出】あなたは、魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

1 感じる	4 感じない
2 どちらかといえば感じる	5 わからない
3 どちらかといえば感じない	

問10 【広聴広報の充実】あなたは、得たいと思う県の情報が、得られていると感じますか。あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

1 感じる	4 感じない
2 どちらかといえば感じる	5 わからない
3 どちらかといえば感じない	

3. ご家族に関することなどについておききします

問11 あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。(は1つだけ)

- | | | |
|--------------------------|---|------|
| 1 未婚(結婚したことはない) | } | 問12へ |
| 2 既婚・死別(結婚したことはあるが、死別した) | | |
| 3 既婚・離別(結婚したことはあるが、離別した) | | |
| 4 既婚・配偶者あり(現在、夫または妻がいる) | → | 問13へ |

現在、夫または妻がいない方(問11で「1」~「3」を選んだ方)におききします。

問12 今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。(は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 いずれ結婚するつもり | 2 結婚するつもりはない |
|--------------|--------------|

すべての方におききします。

問13 日本では、「未婚」、「晩婚」が増えてきています。あなたは、未婚の人が結婚していない理由はどんなことだと思いますか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 結婚する気がない | 7 異性とうまく付き合えない |
| 2 結婚は遅くていいと思っている | 8 自由な生活を失いたくない |
| 3 出会いがない | 9 仕事が不安定 |
| 4 理想の相手に出会えていない | 10 仕事(または家業)に打ちこみたい |
| 5 収入が少ない | 11 その他() |
| 6 自分に自信が持てない | 12 わからない |

問14 あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。(は1つだけ。「1」に をつけた方は()に人数も記入してください。)

- | |
|---------------------|
| 1 ()人くらいほしい(ほしかった) |
| 2 ほしくない(ほしくなかった) |
| 3 わからない |

問15 お子さんは何人いらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。いない方は「0」とご記入ください。

人

お子さんがいらっしゃる方におききます。

問15-2 お子さんの年齢をご記入ください。なお、お子さんが5人以上いる場合は、年齢が上の4人についてお答えください。

また、現在在学中の学校に該当するものがあれば をつけてください。

一番上の子 () 歳	保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院
二番目の子 () 歳	保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院
三番目の子 () 歳	保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院
四番目の子 () 歳	保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、専門学校、短大・高専、大学・大学院

すべての方におききます。

問16 これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少なくなっています。あなたは、その理由はどんなことだと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまで をつけてください。(は2つまで)

1 子育てや教育にお金がかかり過ぎるから	8 健康上の理由から
2 家が狭いから	9 ほしいけれどもできないから
3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	10 夫の家事・育児への協力が得られないから
4 子どもがのびのび育つ環境ではないから	11 夫が望まないから
5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	12 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから
6 高年齢で生むのはいやだから	13 その他()
7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	

問17 現在、あなたをふくめて、ご家族のうち、介護が必要な方はいますか。(○は1つだけ)

1 介護が必要な人がいる	2 介護が必要な人はいない
--------------	---------------

4. 「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりについておききします

「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画（仮称）」では、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを進め、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」の実現につなげていくこととしています。

「新しい豊かさ」を、『経済的な豊かさ』、『精神的な豊かさ』、社会保障制度の充実や人とのつながりの再生などの『社会のシステムやつながりの豊かさ』の3つの豊かさ全てを高めていくことで得られるものにとらえ、地域の持続的な活性化とともに、県民の皆さんが希望を持って、希望がかなうような社会づくりをめざしていきます。

問18 あなたは、将来どんな暮らしができる社会（三重県）が望ましいと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。（は2つまで）

- 1 不安を感じることなく、安心して暮らすことができる。
- 2 自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を選択できる。
- 3 ライフステージに応じて多様な働き方ができる。
- 4 より高い目標に向けてチャレンジができ、失敗しても何度でも挑戦できる。
- 5 家族の絆や地域のつながりを感じ、支え合って暮らすことができる。
- 6 地域に、愛着や誇りを感じながら暮らすことができる。
- 7 さまざまな産業が発展する中で、いきいきと働くことができる。

問19 あなたの周りには、かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境が整っていると思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|----------------|---------|
| 1 思う | 4 思わない |
| 2 どちらかといえば思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば思わない | |

問20 あなたは、自分の意欲や努力以外に、かなえたい夢や希望にむけて挑戦できる環境として、何が**必要だ**と思いますか。次の中からあてはまるものに2つまで○をつけてください。（は2つまで）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 家族の理解や協力 | 5 実現のための方法や機会などの情報 |
| 2 資金的な援助 | 6 その他（ ） |
| 3 教育（スキルや知識を身につける学びの場） | 7 わからない |
| 4 相談できる人 | |

問2 1 あなたは、安心感のある暮らしを送るために必要な「人とのつながり」とはどのようなものだと思いますか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。(は2つまで)

- 1 職場におけるつながり
- 2 学校におけるつながり(同窓会も含む)
- 3 趣味のサークルなどにおけるつながり
- 4 近所づきあい
- 5 町内会・自治会などの地縁組織におけるつながり
- 6 NPO・ボランティア団体等におけるつながり
- 7 フェイスブック・ラインなどのソーシャルメディアにおけるつながり
- 8 その他()
- 9 わからない

問2 2 あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1 住みやすい | 4 住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば住みにくい | |

問2 3 あなたのお住まいの地域について、愛着を感じる要素として、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 自然環境に恵まれている | 10 家・土地がある |
| 2 治安や風紀が良く安心して暮らせる | 11 生まれたり育ったりした場所 |
| 3 働くところがある | 12 友人など人間関係がある |
| 4 通学、通勤、買い物など日常生活が便利 | 13 近所との人間関係がある |
| 5 独自の伝統・習慣など文化・歴史がある | 14 地域の人とのつきあいが豊かである |
| 6 まちなみがすぐれている | 15 地名のイメージがよい |
| 7 活気がある | 16 その他() |
| 8 落ち着いた雰囲気 | 17 わからない |
| 9 家族・親族がいる | |

問2 4 県民の皆さんの安心な暮らしのために、また就労継続など個人の希望をかなえる観点から、仕事と介護が両立できる社会づくりが望まれますが、そのような社会づくりのために、あなたは、何が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。(は2つまで)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 介護施設の整備 |
| 2 | 介護サービスの充実(デイサービス、ショートステイ、ヘルパー利用等) |
| 3 | 施設入所や在宅介護のノウハウなどの情報 |
| 4 | 日々の不安・悩みなどを相談できる機関・窓口 |
| 5 | 資金的な援助(介護費用の助成) |
| 6 | 職場における介護休暇など制度の充実 |
| 7 | 職場の理解 |
| 8 | 地域の理解 |
| 9 | その他() |
| 10 | わからない |

5 .「伊勢志摩サミット」についておききします

問2 5 あなたは、来年5月に開催される伊勢志摩サミットでどのようなことを期待していますか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。(はいくつでも)

- | | |
|----|--------------------------|
| 1 | 伊勢志摩地域・三重県の知名度の向上 |
| 2 | 地域に対する愛着や誇りの高まり |
| 3 | 地域の一体感の醸成 |
| 4 | 国内外からの観光客の増加 |
| 5 | 伊勢志摩産品・三重県産品のPR、ブランド力の向上 |
| 6 | 道路、通信環境等の整備 |
| 7 | サミット関連のイベントの開催 |
| 8 | 関連産業への経済効果 |
| 9 | サミットにおける有意義な議論 |
| 10 | その他() |
| 11 | わからない |

さいごに、ご自身の現在のことについておききします

三重県全体の分析のためには、回答者お一人おひとりについて、以下のような情報が欠かすことができません。無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので個人の情報が特定されることは一切ございません。ぜひご協力ください。

問26 あなたの性別を次の中から選んでください。(は1つだけ)

1 男性	2 女性
------	------

問27 あなたは現在、おいくつですか。

満 歳

問28 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

1	単身世帯(ひとり暮らしなど)
2	一世代世帯(夫婦のみなど)
3	二世帯世帯(親と子など)
4	三世帯世帯(親と子と孫など)
5	その他()

問29 あなたの主な職業は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

1	農林水産業(家族従事者も含みます)
2	自営業、自由業(家族従事者も含みます)
3	企業、役所、団体などの正規職員
4	パート、アルバイト、派遣社員など
5	その他、収入のある仕事
6	学生(アルバイト等をしている方も含みます)
7	専業主婦、専業主夫
8	無職

問30 あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。（ は1つだけ）

1	100万円未満	6	500万円～600万円未満
2	100万円～200万円未満	7	600万円～800万円未満
3	200万円～300万円未満	8	800万円～1,000万円未満
4	300万円～400万円未満	9	1,000万円以上
5	400万円～500万円未満	10	わからない

問31 あなたのお住まいの地域はどちらですか。1～5の地域に をつけてください。（ は1つだけ）

1	北勢地域	（ 桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市 木曾岬町・東員町・菰野町・朝日町・川越町 ）
2	伊賀地域	（ 伊賀市・名張市 ）
3	中南勢地域	（ 津市・松阪市 多気町・明和町・大台町 ）
4	伊勢志摩地域	（ 伊勢市・鳥羽市・志摩市 玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町 ）
5	東紀州地域	（ 尾鷲市・熊野市 紀北町・御浜町・紀宝町 ）

このたびのアンケート調査に対するご感想、または三重県政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書きください。今後の参考にさせていただきます。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
このアンケート用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。
ご回答いただいた内容については直ちに集計して分析し、県政を進めるための貴重な資料として活用させていただきます。
報告書は3月頃に公表し、県庁舎の受付などに配置するとともに、県ホームページにも掲載する予定です。

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki/>

▼ みえ意識

検索

